

令和7年度 多文化共生ふれあい事業 実施校一覧(2025.5.1)

	区	学校 番号	学校名	学年	人数	予算	実施希望の国	実施団体		区	学校 番号	学校名	学年	人数	予算	実施希望の国	実施団体
1	川崎	001	殿町小	3年	51		韓国・朝鮮	ふれあい館	44	高津	060	久本小	3年	126		韓国・朝鮮、複数国	KFV
2	川崎	002	四谷小	3年	66		韓国・朝鮮	ふれあい館	45	高津	061	下作延小	3年	95		韓国・朝鮮、フィリピン、複数国	KFV
3	川崎	005	川中島小	3年	131		韓国・朝鮮	ふれあい館	46	高津	062	高津小	3年	213		韓国・朝鮮、カンボジア、アメリカ、イギリス、オーストラリア	KFV
4	川崎	006	藤崎小	3年	103		韓国・朝鮮、ベトナム、中国、フィリピン	KFV	47	高津	064	西堀ヶ谷小	3年	108		韓国・朝鮮	ふれあい館
5	川崎	007	さくら小	1～3年	160		韓国・朝鮮、フィリピン	ふれあい館	48	高津	065	久末小	3年	111		韓国・朝鮮、フィリピン、スリランカ	KFV
6	川崎	008	大島小	3年	49		韓国・朝鮮	ふれあい館	49	高津	067	南原小	3年	33		韓国・朝鮮、ベトナム、フィジー、ルーマニア	KFV
7	川崎	009	渡田小	3年	120		韓国・朝鮮、フィリピン、ベトナム	KFV	50	高津	069	野川小	3年	146		韓国・朝鮮、フィリピン、ブラジル	KFV
8	川崎	010	東小田小	3年	49		韓国・朝鮮	ふれあい館	51	高津	070	西野川小	3年	62		韓国・朝鮮、中国、フィリピン、メキシコ	KFV・メキシコ大使館
9	川崎	011	小田小	3年	103		韓国・朝鮮	ふれあい館	52	高津	071	南野川小	3年(192名)、6年(173名)	135	夢教育	川崎市と関わりがある国	国際交流協会
10	川崎	012	浅田小	3年	54		韓国・朝鮮、フィリピン、ネパール、ブラジル	KFV	53	宮前	075	西有馬小	3年	134		韓国・朝鮮	ふれあい館
11	川崎	014	向小	3年	43		韓国・朝鮮、中国、フィリピン	KFV	54	宮前	076	富士見台小	4年	188		アジア圏、中東圏、フランス	国際交流協会
12	川崎	015	田島小	3年	80	夢教育	韓国・朝鮮	ふれあい館	55	宮前	077	宮前平小	3年	119		韓国・朝鮮	韓国総合教育院
13	川崎	016	新町小	3年	53		韓国・朝鮮	ふれあい館	56	宮前	079	向丘小	3年	101		韓国・朝鮮	韓国総合教育院
14	川崎	017	旭町小	3年	96		韓国・朝鮮	ふれあい館	57	宮前	080	平小	3年	76		韓国・朝鮮、中国、フィリピンなどのアジア圏	KFV
15	川崎	018	宮前小	3年	103		韓国・朝鮮	ふれあい館	58	宮前	081	白幡台小	2年	36		モンゴル	国際交流協会
16	川崎	019	川崎小	3年	85		韓国・朝鮮	ふれあい館	59	宮前	087	長尾小	2年	41		モンゴル	国際交流協会
17	川崎	020	京町小	3年	47		韓国・朝鮮、フィリピン、ネパール	KFV	60	宮前	088	宿河原小	3年	137		韓国・朝鮮、フィリピン、複数国	KFV
18	幸	021	幸町小	3年	101		中国以外の複数国、韓国・朝鮮	KFV	61	宮前	093	南管小	3年	43		韓国・朝鮮	ふれあい館
19	幸	022	南河原小	3年	84		フィリピン、中国	KFV	62	多摩	094	西管小	3年	40		韓国・朝鮮、フィンランド、中国、ドイツ、ケニア	KFV
20	幸	024	西御幸小	3年	53		韓国・朝鮮	ふれあい館	63	多摩	096	東生田小	3年	114		韓国・朝鮮	韓国総合教育院
21	幸	026	古川小	3年	143		韓国・朝鮮	ふれあい館	64	多摩	098	生田小	3年	57		韓国・朝鮮	ふれあい館
22	幸	027	東小倉小	3年	108		韓国・朝鮮、アメリカ	KFV	65	多摩	099	南生田小	3年	170		韓国・朝鮮	ふれあい館
23	幸	029	古市場小	3年	85	夢教育	韓国・朝鮮	ふれあい館	66	多摩	101	西生田小	3年	107		韓国・朝鮮	ふれあい館
24	幸	034	新小倉小	3年	83		韓国・朝鮮、中国、フィリピン、アメリカ	KFV	67	麻生	103	金程小	3年	61		韓国・朝鮮	ふれあい館
25	幸	035	下河原小	3年	45		韓国・朝鮮	韓国総合教育院	68	麻生	104	百合丘小	3年	118	夢教育	韓国・朝鮮	ふれあい館
26	中原	038	下沼部小	3年	128		ヨーロッパ	国際交流協会	69	麻生	105	南百合丘小	2年	136		モンゴル	国際交流協会
27	中原	040	木月小	3年	70		韓国・朝鮮	ふれあい館	70	麻生	108	王禅寺中央小	3年	76		韓国・朝鮮、アメリカ、トンガ	KFV
28	中原	041	東住吉小	3年	102		韓国・朝鮮、タイ、アメリカ、フィリピン	KFV	71	麻生	109	真福寺小	5年	45		韓国・朝鮮、複数国	KFV
29	中原	042	住吉小	3年	80		中国、韓国・朝鮮、その他アジアの国々	KFV	72	麻生	110	虹ヶ丘小	3年	27		韓国・朝鮮	韓国総合教育院
30	中原	043	井田小	3年	174		地域や国が違う複数国、韓国・朝鮮	KFV	73	麻生	112	岡上小	3年	40		韓国・朝鮮	韓国総合教育院
31	中原	044	今井小	3年	86		韓国・朝鮮	ふれあい館	74	麻生	113	片平小	3年	115	夢教育	韓国・朝鮮	ふれあい館
32	中原	045	上丸子小	3年	124		韓国・朝鮮、フィリピン	KFV	75	麻生	114	栗木台小	3年	100	夢教育	ブラジル、ヨーロッパ	国際交流協会
33	中原	046	西丸子小	3年	87		韓国・朝鮮	ふれあい館	76	中原	301	聾学校	3～6年	8		モンゴル	国際交流協会
34	中原	048	宮内小	3年	149		韓国・朝鮮	ふれあい館	77	川崎	303	田島支援（高）	高等部3学年	53		韓国・朝鮮、複数国	国際交流協会
35	中原	049	大戸小	5年	125		ヨーロッパ	国際交流協会	78	川崎	304	田島支援桜校	中学部1～3年	53		韓国・朝鮮	ふれあい館
36	中原	050	下小田中小	3年	190		韓国・朝鮮、フィリピン	KFV									
37	中原	051	新城小	3年	136		韓国・朝鮮、インドネシア、中国、ブラジル	KFV									
38	中原	052	大谷戸小	3年	139		韓国・朝鮮	ふれあい館									
39	中原	053	小杉小	3年	156		韓国・朝鮮、6大陸それぞれ	KFV									
40	高津	054	子母口小	3年	176		韓国・朝鮮	ふれあい館									
41	高津	055	橋小	3年	136		韓国・朝鮮	韓国総合教育院									
42	高津	057	新作小	2年	101		モンゴル	国際交流協会									
43	高津	059	坂戸小	3年	143	夢教育	韓国・朝鮮	ふれあい館									

2025 年 (令和 7 年) 12 月 2 日

001

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-266-4856/FAX 044-287-4053 学校名 (殿町小学校)

担当教諭名 (大串 楓) 校長名 紙屋 智子

1. 実施日時 : 2025 年 (令和 7 年) 12 月 11 日 (木 曜日)

実施時間帯 : 午前・午後 10 時 30 分 ~ 12 時 15 分

教科・単元名 (国語 3 年 3 単元)

2. 対象児童生徒 学年 (1 2 3 4 5 6 年) 約 51 名

その他 ()

3. 車の搬入口

幸楽苑側の東門

4. 活動のねらい (単元目標)

外国の語を読んで その国の文化を学ぶ

5. 活動の流れ (展開)

① (10 : 30 ~ 11 : 00) 全体会 場所 : 体育館

例 : 進行 (ふれあい事業実行委員)

・講師の方の自己紹介

・「三年とうげ」の読み聞かせ (TV・PCの準備)

② (11 : 00 ~ 11 : 25) コーナーにかかれてのワークショップ (前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	言葉	教室	8 ・ 10
	衣装	郷土資料室	9 ・ 9
	楽器	スタジオ	14 ・ 12
	遊び	体育館	19 ・ 19
			.
			.

③ (11 : 30 ~ 11 : 55) コーナーに分かれてのワークショップ (後半)

④ (12 : 00 ~ 12 : 15) 全体会 場所 : 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください (手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先 : 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025 年（令和 7 年）6 月 19 日

校種・学校番号

小学校・2

たぶんかきょうせい じぎょうけいかくしょ
多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ

電話 044-266-5883 /FAX 044-287-4055

がっこうめい

学校名 [川崎市立四谷小学校]

たんとうきょうゆめい

担当教諭名 [羽岡 優香]

こうちやうめい

校長名 川村 雅昭

1. 実施日時 : 2025 年（令和 7 年）7 月 11 日（金曜日）
実施時間帯 : 午前・午後 10 時 30 分 ~ 12 時 15 分
教科・単元名 [総合的な学習の時間・身近な国々について知ろう]

2. 対象児童生徒 学年 [1 2 3 4 5 6 年] 約 66 名
その他 []

くるま はんにゆうぐち せいもん しょくいんげんかん
3. 車の搬入口 正門・職員玄関

かつどう たんげんもくひやう
4. 活動のねらい（単元目標）

かんこく ちょうせん ぶんか じこく きやうつうてん さいてん みいだ きやうみ すずし
韓国・朝鮮の文化について、自国との共通点・差異点を見出し、興味をもって進んで知ろうとする。

かつどう なが てんかい
5. 活動の流れ（展開）

① (10:30 ~ 10:55) 全体会 場所 : 多目的室 (3 階) 進行 (代表児童)

・講師の方の自己紹介

・川崎市ふれあい館 大型紙芝居「あかてぬぐいのおくさんと七人の仲間」

② (11:00 ~ 11:25) コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

たんとう 講師のお名前	ない 内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	かつどうばしょ 活動場所 音楽室など	じどうせいとにんずう 児童・生徒人数 前半・後半
	音楽	音楽室	20・20
	伝承遊び	多目的室	20・20
	民族衣装	3-1 教室	20・20
	言葉	3-2 教室	20・20

じどうずう
児童数はまだ未定です。

③ (11:30 ~ 11:55) コーナーに分かれてのワークショップ (後半)

④ (12:00 ~ 12:15) 全体会 場所 : 多目的室 (3 階) 進行 (代表児童)

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

展開 活動の流れ

・事前の活動

探検バックにはさむワークシートに、自分の体験がわかるようにしておく。トイレをすませておく。

韓国・朝鮮の文化の特徴や、受け継がれてきた工夫などに注目しながら体験する。

・当日の活動

時間	活動の流れ (展開)	教師の支援と留意点
10:00	講師来校	来校対応 (教務 等 1～2人)
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。 【全体会：多目的室 (3階)】 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・大型紙芝居	・音楽室は 10:10 まで使用不可。 ・最初の出会いを大切にしたい。 ・代表児童が司会・進行する。
10:55	2. グループにわかれて活動する。 音楽グループ (担当:) 音楽室	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
11:00 ～11:25 (前半)	・民族楽器の名前・由来を知る。 ・4種類の民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 伝承遊びグループ (担当:) 多目的室 ・韓国の伝承あそびをやってみる。 民族衣装グループ (担当:) 3-1 教室 ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。	・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなという気持ちをもたせたい。
11:30 ～11:55 (後半)	ことばグループ (担当:) 3-2 教室 ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 3. 学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。	・資料の拡大コピー。ワークシートなどを準備する。 ・各グループでふりかえりをする。
12:00	4. 講師の先生方にお礼を伝える。 【全体会：多目的室 (3階)】 ・学年全体で質問タイム。 ・今日の発表について感想発表。 ・講師の方の話 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・代表児童の司会で、終わりの会をする。
12:15		・楽器を運ぶため、20人ほどの児童が手伝う。

・事後の活動

2025年（令和7年）6月6日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-288-3167 /FAX 044-287-4062 学校名〔 川中島小学校 〕

担当教諭名〔 小林 俊多 〕 校長名〔 後藤 美智子 〕

1.実施日時 : 2025年（令和7年）7月10日（木曜日）

実施時間帯 : 午前10時30分 ～12時20分

教科・単元名〔 外国語 〕

2.対象児童生徒 学年〔 3 年 〕 約 130 名

その他〔 〕

3.車の搬入口 川中島小学校 西門（体育館側） 10:00到着（案内・手伝い）

4.活動のねらい（単元目標）

体験や活動を通して、日本以外の国の文化や暮らしに親しみをもつ

5.活動の流れ（展開）

①（10:30～10:55）全体会 場所： 体育館

・講師の方の自己紹介 ・紙芝居の読み聞かせ（TV・PCの準備）：「あかてぬぐいのおくさんと七人のなかま」

（10:55～11:00）移動・トイレ

②（11:00～11:25）コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	伝承遊び（30人）	体育館	・
	ことば（30人）	集会室	・
	音楽（20人）	音楽室	・
	ユンノリ（30人）	図工室	・
	衣装（男女10人ずつ）	教室（3- ）	・

（11:25～11:30）移動・トイレ

③（11:30～11:55）コーナーにかれてのワークショップ(後半)

（11:55～12:00）体育館へ移動

④（12:00～12:15）全体会 場所： 体育館

・感想、質問 ・講師の方の話

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel. 200-3758

6 活動の流れ

●事前の活動

- (1) 外国語やローマ字の学習を通して様々な言語があることを知る。
- (2) そこから他の国の文化について考えて、ふれあい交流の学習へと繋げる。

●当日の活動

時間	活動の流れ(展開)	教師の支援と留意点
10:30 ~ 10:55	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ、講師の方の紹介 ・紙芝居「あかてぬぐいと七人のなかま」	・最初の出会いを大切にしたい。 ・司会進行は小林がする。
11:00 ~ 11:25	2. グループにわかれて活動する。 音楽グループ (担当: 小林) 音楽室 ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 衣装グループ (担当: 工藤) 寺子屋 ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ (担当: 小宮) 体育館 ・韓国の伝承あそびをやる。みる。 ことばグループ (担当: 飯泉) 集会室 ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ユンノリグループ (担当: 平木) 図工室 ・他国のすごろくを楽しむ。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。 ・児童が自分の姿をみれるように、ギガや鏡などを用意する。 ・ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。 ・集会室の机を前向きにし、活動に集中できるようにする。 ・図工室の机を端に寄せて、活動を楽しむようにする。 ・各グループでふりかえりをする。
11:30 ~ 11:55	3. 学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。 ・活動場所の移動 (移動時間は5分) ・後半グループで2~3を行う。	・たんけんバックに自分の活動場所が分かるようにし、スムーズに移動できるようにする。 ・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。
12:00 ~ 12:15	4. 学年全体で今日の発表について感想や質問を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・教員の司会で、終わりの会をする。

- ふり振り返りと感じたこと等を次の時間に共有し、外国の文化や遊びを体験してみてもの学んだことを考える。
また、それを今後の生活にどのように生かしていくかを考える。

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-288-2126 /FAX 044-287-4013 学校名〔 川崎市立藤崎小学校 〕

担当教諭名〔 鈴木梨花 〕 校長名 上野和美

1.実施日時 : 2025年（令和7年）7月 11日（金曜日）

実施時間帯 : 午前 10時35分 ～ 12時05分

教科・単元名〔 総合的な学習の時間 ・ 世界はひとつ 〕

2.対象児童生徒 学年〔 3年 〕 約103名

その他〔 〕

3.車の搬入口 東門（かんのん保育園前）

4.活動のねらい（単元目標）

他国の文化を知ったり、体験することを通して、違いに気づき、認め合うことの大切さを理解することができる。

5.活動の流れ（展開）

（9:35）学校到着 講師の先生の案内（佐々木）

①（10:35～10:50）全体会 場所：1階多目的ホール

・進行 実行委員

・講師の方の自己紹介

②（10:55 ～ 11:25 ）コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
担当（鈴木）講師の方	中国（国の紹介）	3-3 教室	34・34
担当（井上）講師の方	ベトナム（ダンス）	多目的	35・35
担当（小沢）講師の方	韓国（遊び）	3-1 教室	34・34
			・
			・
			・

③（11:30 ～ 12:00 ）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（12:05 ～ 12:15 ）全体会 場所：1階多目的ホール

6 活動の流れ（展開例）

【事前の活動】

総合的な学習の時間を通して、他国の言語や文字について知り、様々な文字で自分の名前や好きな言葉を書いたりした。そのような活動を通して、それぞれの国にはそれぞれの言語や文字があることに気づき、様々な文化があることを知ることができた。

今回の多文化ふれあい事業を通して、言語や文字だけではなく、遊びや歌など様々な文化の違いを知ってほしいと考えている。

【当日の活動】

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
9:35	学校到着 講師の先生の案内（佐々木）	
10:35 ~ 10:50	1. はじめの会 1階多目的ホール ・あいさつ（司会：実行委員） ・講師の方の紹介	・講師の先生方、そして文化との出会いを大切にしたい。
前半 10:55 ~ 11:25	2. グループにわかれて活動する。 中国（担当：鈴木） ・中国の国についての紹介を聞いたり、伝統的なうたを演奏してもらい、文化について知る。	・各グループに教師がつき、活動がスムーズに進むように声をかける。
	ベトナムグループ（担当：井上） ・ダンスの行い方を知り、講師の先生と一緒にダンスを行う。	
後半 11:30 ~ 12:00	韓国グループ（担当：小沢） ・韓国の伝承あそびを体験する。	
12:05 ~ 12:15	3. おわりの会 1階多目的ホール （司会進行 実行委員） ・講師の方へお礼の言葉 ・後期の方からのお話	・講師の先生方のお話を聞いて、「思い」を知る。

【事後の活動】

- ・身近な国の文化を体験したことで気づいたことや驚いたことなどを中心に振り返る。
- ・調べてみたい国や文化などについて調べ学習を行う。

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025年(令和7年)10月2日

校種・学校番号

小学校・07

たぶんかきょうせい じぎょうけいかくしよ 多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 電話 044 - 266 - 4601/FAX044 - 287 - 4067 学校名 [川崎市立さくら小学校]

たんとうきょうゆめい 担当教諭名 [今井 結] こうちようめい 校長名 治田直美

じっしにちじ 1. 実施日時 : 2025年(令和7年)11月28日(金曜日)

じっしじかんたい 実施時間帯 : 午前10時30分 ~ 12時15分

きょうが たんげんめい 教科・単元名 [総合的な学習の時間 外国の文化にふれよう「韓国・朝鮮となかよし」]

たいしょうじどうせいと 2. 対象児童生徒 学年 [3年] 約64名(支援級2名、分教室1名含む)

くるま はんにゆうぐち 3. 車の搬入口 正門

かつどう たんげんもくひょう 4. 活動のねらい(単元目標)

自分たちの住むさくらのまちが、韓国・朝鮮などの外国の文化を大切にしていることを知り、自分たちも地域の一員として外国の文化に触れ、大切にしていこうとする態度を育てる。

かつどう なが てんかい 5. 活動の流れ(展開)

①講師到着10:00 正門より車1台、楽器搬入(搬入補助:教頭、教務主任)

②全体会 10:30~10:55 場所:音楽ホール

・講師自己紹介、あいさつ→紙芝居(三年とうげ)→スケジュール確認

③(11:00~11:25)コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

たんとう	ないよう	かつどうばしょ	にんすう 人数 ぜんはん こうはん 前半・後半
今井	伝承遊び	ホール	27人・27人
島村	ことば	3-1	10人・10人
小島	打楽器体験	音楽室	17人・16人
今井	衣装	A棟3階 学習室	9人・9人

④(11:30~11:55)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

⑤(12:00~12:15)全体会 場所:音楽ホール

質疑応答、講師の先生からのメッセージ

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

6. 活動の流れ

時間	活動の流れ (展開)	教師の支援と留意点
10:20	1. 児童は音楽ホールに集合	・ 児童の誘導と整列を行う。
10:30	2. 全体会① (はじめの会) ・ 講師の方の紹介 ・ 紙芝居 (三年とうげ) ・ スケジュールの確認	・ スケジュールの確認 (今井)
10:55	《ワークショップ (前半) の場所に移動》 3. ワークショップ (前半) を開始	・ 児童の移動を確認し、必要に応じて対応する。
11:00	伝承遊びグループ ・ 韓国の伝承遊びをする。 ことばグループ ・ 韓国・朝鮮語であいさつを知る。 ・ ハングル文字を教わり、自分の名前を書く。 打楽器体験グループ ・ 民族楽器の演奏の仕方を知り、演奏する。 ・ 舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 衣装グループ ・ 民族衣装を着る。 ・ 日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。	・ 各グループに教師がつき活動がスムーズに進むように補助を行う。 ・ 各体験の場所 【伝承遊び】: 音楽ホール (今井) 【ことば】: 3-1 (島村) 【打楽器体験】: 音楽室 (小島) 【衣装】: PC ルーム (今井)
11:25	《ワークショップ (後半) の場所に移動》	・ 韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉をきっかけにほかの国についても調べてみたいなどという気持ちをもたせたい。
11:30	4. ワークショップ (後半) を開始 ※流れや留意点は、前半と同様。	・ 足りないものや必要なものがあつた場合には、各担当の教員が準備を行う。
11:55	《活動を終えて音楽ホールに移動》	
12:00	5. 全体会② (おわりの会)	
12:15	・ 質疑応答、講師の先生からのメッセージ 《活動終了》	・ 楽器の片づけを行う (級外対応)。

【事後の活動】

- ・ 活動のふり返し→当日もしくは後日、総合の学習にて行う。



多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-344-2424/FAX 044-333-6291 学校名〔 川崎市立大島小学校 〕

担当教諭名〔 平田 成正 〕 校長名 西村 和恵

1.実施日時 : 2025年(令和7年) 11月27日(木曜日)

実施時間帯 : 午前・午後 10時30分～12時15分

教科・単元名〔 道徳・国際理解、国際親善「他の国の人となかよくなるために」 〕

2.対象児童生徒 学年〔 1 2 3 4 5 6 年 〕 約 52 名

その他〔 〕

3.車の搬入口 体育館側通用門

4.活動のねらい(単元目標) 他国の人と仲よくなるために大切なことを考えさせ、他国のものに親しみ、関心をもとうとする心情を育てる。

5.活動の流れ(展開)

①(10:30 ～ 10:55)全体会 場所: 2F 多目的室

進行 児童、担任

・講師の先生の自己紹介

・「フンブとノルブ」の紙芝居

②(11:00 ～ 11:25)コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	伝承遊び	体育館	17・16
	ことば	3-1教室	13・14
	打楽器体験	スタジオ	13・13
	衣装	多目的室	9・9
			・
			・

③(11:30 ～ 11:55)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(12:00 ～ 12:15)全体会 場所: 多目的室

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6. 活動の流れ

○事前の活動

道徳の学習で国際理解、国際親善についての学習を行う。学習の中で「さまざまな人と共に生きる」ために大切なことを考えさせる中で、実際に他の国の人との関わりや文化との関わりについて関心をもたせ、当日につなげる。

○当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:00	ふれあい館の方到着(対応：教頭先生) 車1台、講師____名	
10:30 ～ 10:55	1. 全体会【場所…多目的室】 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・大型紙芝居「フンブとノルブ」 ～前半の場所に移動する。～	・最初の出会いの時間を大切にさせる。
11:00 ～ 11:25	2. 前半グループにわかれて活動する。 ○伝承遊びグループ【体育館】 ・ものの名前や遊び方を知る。 ・チェギなどで遊ぶ。（3種類） ○ことばグループ【3年1組教室】 ・韓国語であいさつをする。簡単なことばや会話を教わり、話をする。ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ○打楽器体験グループ【スタジオ】 ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ○衣装グループ【多目的室】 ・民族衣装を着る。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 ～後半の場所に移動～	・満足に活動ができるよう広い場所を確保して行う。 ・事前にハングル文字の拡大コピーと児童用のテキストを人数分用意しておく。 ・防音設備がある場所を確保する。 ・大きい音が苦手な児童を事前に把握しておく。
11:30 ～ 11:55	3. 後半グループにわかれて活動する。 （前半参照） ～終了次第、多目的室へ移動～	・スムーズに児童が動けるよう事前に流れと場所を確認しておく。
12:00 ～ 12:15	4. 全体会【場所…多目的室】 ・感想を発表する。 ・ふれあい館の方の話 ・あいさつ	・楽器グループの子どもたちは片づけを手伝う。 ・子どもたちのそれぞれの学びを共有する。 ・身の周りにはたくさんの外国にルーツがある人たちがいることを伝える。

○事後の活動

学級でふり返しを行いながら、実際に他の国の人との関わりや文化との関わりの中で感じたことや学びになったことを出し合い、自分たちの周りにいる「さまざまな人と共に生きる」気持ちを深めていく。

2025年(令和6年)6月 19日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-344-4932 /FAX 044-333-6217 学校名 [渡田小学校]

担当教諭名 [金内穂見生] 校長名 [仙田清孝]

1. 実施日時 : 2025年(令和7年) 7月 10日(木曜日)

実施時間帯 : 午前 10時 30分 ~ 午後 12時 15分

教科・単元名 [総合的な学習の時間 ・ 多文化共生]

2. 対象児童生徒 学年 [3年] 約 120名

その他 []

3. 車の搬入口 園芸門(体育館西側)

4. 活動のねらい(単元目標)

韓国の文化に触れ、韓国に対する理解を深める。

5. 活動の流れ(展開)

① (10:30 ~ 10:55) 全体会 場所: 体育館

・講師の方の自己紹介 ・紙芝居「小豆がゆおばあさんとトラ」の読み聞かせ ・活動の流れの説明

② (11:00 ~ 11:25) コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
金内(3-2担任)	伝承遊び	体育館	60名・60名
西村(3-1担任)	打楽器体験	3年1組	20名・20名
柴田(3-3担任)	民族衣装体験	少人数教室	20名・20名
田立(3-4担任)	言葉	3年4組	20名・20名

③ (11:30 ~ 11:55) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (12:00 ~ 12:15) 全体会 場所: 体育館

・講師の方へのお礼 ・講師の方からの言葉 ・学習の振り返り

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動

総合的な学習の時間で韓国の文化について知る。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	1. 全体会 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・紙芝居「小豆がゆおばあさんとトラ」 ・活動の流れの説明	・講師の方との挨拶をしっかりとる。 （・講師の方に名札をつけてもらう。）
11:00 ～ 11:25	2. コーナーごとのワークショップ【前半】 伝承遊び【体育館】（担当：金内） ・韓国の伝承あそびをやってみる。 打楽器体験【1階 3年1組】（担当：西村） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 民族衣装体験【2階 少人数教室】（担当：柴田） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 ことば体験【2階 3年4組】（担当：田立） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。	※各コーナーに担任がついて、活動や児童の補助をする。 ※活動の前後に挨拶をする。 ・打楽器体験と民族衣装体験の教室は、机を端に寄せてスペースを空ける。 ・教室の掃除をしっかりとる。 ・ギガ端末をカメラモードにしてテレビにつないで、見られるようにする。 ・体育着を着ておく。 （半袖・半ズボン） ・ハングル文字の拡大コピー、活動用プリントを用意する。
11:30 ～ 11:55	3. コーナーごとのワークショップ【後半】 （同上）	
12:00 ～ 12:15	4. 全体会 ・質問 ・活動の感想とお礼の言葉 ・講師の方からの言葉 ・あいさつ	

・事後の活動

活動を通して、外国の文化を知ることのよさが実感できるような振り返りをする。

国語の時間を使って、韓国・朝鮮の物語や、その他の外国の物語を読み、友達同士で紹介し合う。

提出書類②

韓国・朝鮮楽器等借用書

R7 年 7 月 8 日(火)

校種・学校番号

小 009

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 川崎市立渡田小学校

校長名 仙田 清孝

担当者名 金内 穂見生

借用期間	7 年 7 月 10 日(木) ~ 年 月 日()
借用希望日時	7 年 7 月 8 日(火) ~ 7 年 7 月 10 日(木)
返却希望日時	7 年 7 月 23 日(水) ~ 7 年 8 月 26 日(火)
借用物品 (品名・数量)	●楽器 ☐ チャンゴ <u>13</u> 台 ☐ ソゴ <u>3</u> 台 ☐ ブク <u>2</u> 台 ☐ チン <u>1</u> 台 ☐ ケンガリ <u>1</u> 台 ●遊び道具 ☐ コンギ、チェギ、ユンノリ、 ペンイ 1ケース ☐ トウホ <u>2</u> 台 ●衣装 ☐ 男子衣装 1ケース ☐ 女子衣装 2ケース ※ バチ(チェ)・矢等の数を事前にご確認ください。
使用目的	七夕文化共生ふれあい事業の体験で 使用するため
その他 特記事項 (他校との調整等)	琴田から 7/8(火)に直接本校に持参 してもらい使用する。 その後センターへ返却する。

※多文化交流KFV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要
提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

校種・学校番号

学校名 川崎市立渡田小学校

校長名 仙田清孝

担当者名 金内穂見生

借 用 期 間	令和7年 7月 8日（火）～令和7年 8月 5日（月）
返 却 日	令和7年 8月 5日（火）
借 用 物 品 （品名・数量）	●楽器 ☒ チャンゴ 13 台 ☒ ソゴ 3 台 ☒ プク 2 台 ☒ チン 1 台 ☒ ケンガリ 1 台 ●遊び道具 ☒ コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1 ケース ☒ トゥホ 2 台 ●衣装 ☒ 男子衣装 1 ケース ☒ 女子衣装 2 ケース ※ バチ（チェ）の数を事後にご確認ください。
使 用 物 品 の 状 況	☒ 異常なし ☐ 異常あり…☐ 破損 ☐ 汚れ ☐ 紛失 ☐ その他（ ） それは…☐ 最初からあった ☐ 今回生じた 対処は…☐ 修繕した（クリーニングした） ☐ その他（ ）
そ の 他 特 記 事 項 （他校との調整等）	7月8日幸町小から受け取り

※多文化交流 KFV・川崎市国際交流協会を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

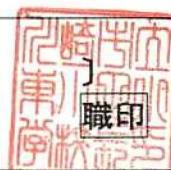
提出書類①

SAINS-WEBに掲載しています。ご活用ください。

2025 年（令和 7 年） 7 月 24 日

校種・学校番号
小学校・10

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-333-2122 /FAX 044-344-3804 学校名〔 東小田小学校 〕
担当教諭名〔 古川 潤治 〕 校長名 坂東 修1. 実施日時 : 2025 年（令和 7 年） 9 月 4 日（ 木曜日 ）
実施時間帯 : 午前 10 時 30 分 ～ 午後 12 時 15 分
教科・単元名〔 総合的な学習の時間・多様な文化にふれよう 〕2. 対象児童生徒 学年〔 1 2 ③ 4 5 6 年 〕 約 49 名
その他〔 〕

3. 車の搬入口 東門（先に正門のインターホンでお知らせください）

4. 活動のねらい（単元目標）

- ・身近な国である韓国の文化にふれ、その良さに気付く。
- ・韓国の文化と日本の文化を比較して、違いや共通点を理解する。

5. 活動の流れ（展開）

①（ 10:30～10:55 ）全体会 場所： オープンスペース
自己紹介
川崎市ふれあい館 大型紙芝居
（あかてぬぐいの奥様と 7 人のなかま）

②（ 11:00～11:25 ）コーナーに分かれてのワークショップ（前半）

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	楽器	放送室	12・12
	遊び	オープンスペース	13・13
	言葉	3-1	12・12
	衣装	3-2	12・12
			10～14人で 調整

③（ 11:30～11:55 ）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（ 12:00～12:15 ）全体会 場所： オープンスペース

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の 3 週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の 3 週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

2025年(令和7年) 7月 24日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-333-3300 / FAX 344-3296 学校名 [川崎市立小田小学校]

担当教諭名 [平野 理紗] 校長名 関口 真弓

1. 実施日時 : 2025年(令和7年) 9月 11日(木曜日)

実施時間帯 : 午前 ・ 午後 10 時 30分 ~ 12 時 15分

教科・単元名 [総合的な学習の時間 ・ 世界の人とつながろう]

2. 対象児童生徒 学年 [1 2 3 4 5 6 年] 約 96名

その他 []

3. 車の搬入口 ○東門(バス通りローソン前の門)
(正門のインターホンを鳴らすか、学校番号に電話して門を開けてもらってください)

4. 活動のねらい(単元目標)

異文化交流を通して、諸外国の文化や人柄に触れ、その国に親しみを感じたり、互いの文化を尊重したりする。

5. 活動の流れ(展開)

① (10:30 ~ 12:15) 全体会 場所: 2階多目的ホール

・講師の方の自己紹介

・「フンブとノルブ」の読み聞かせ

② (11:00 ~ 11:30) コーナーにかかれてのワークショップ(前半)

(校内担当) 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
(森)	遊び	体育館	28前後
(学年)	楽器	ミーティング	最大20
(坂本)	言葉	視聴覚室	28前後
(平野)	衣装	2階多目的	最大男10・女10

③ (11:30 ~ 12:00) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (12:05 ~ 12:15) 全体会 場所: 2階多目的ホール

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

【活動の流れ】

- ・事前の活動 道徳「マサラップ」や外国語「世界のあいさつ」をきっかけに、世界の文化に触れてみようという気持ちにつなげる。
- ・事前の準備 ☐ 児童のグループ決め ☐ 来客カード ☐ 教室手配 ☐ 校内周知（休み時間に多目的×）
☐ 各グループの名簿作成・拡大掲示・講師の方へ配布分印刷
☐ 紙芝居の鬼役・鬼のお面 ☐ ことばグループ（ワークシート印刷・ハングル拡大表示）
- ・当日の活動
○10時に講師の方々がいらっしゃるので、級外の先生に案内を頼んでおく。
○10時20分に児童は2階多目的に待機しておく。
○体育館が暑いようなら、室内に変更するか検討しておく。

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・大型紙芝居「フンプとノルプ」 教室移動	・総合学習実行委員会が司会・進行していく。 ・教員が「鬼役」をする。（鬼のお面を用意する。）
11:00	2. グループにわかれて活動する。 音楽グループ （ミーティングルーム：学年） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏したり、舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしたりする。 民族衣装グループ （2階多目的：平野） ・民族衣装を着させていただき、どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ （体育館：森） ・チャギチェギ（一人で蹴ってあそぶ）・ノリ（おはじき）・ペンイ（たたきごま）	・各グループに教師が付き活動がスムーズに進むようにアドバイスする。音楽グループは担当がいないので、前半移動は平野が担当する。
11:30 移動 開始	民話・ことばグループ （視聴覚室：坂本） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいでみる。（筆記具・探検バッグ必要）	・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなどという気持ちをもたせたい。
後半	2階多目的に集まる。	
12:00 移動 開始	3. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・ふれあい館の方からのお話 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。 ☆楽器後半チームは楽器運搬の手伝いをする。	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

・事後の活動

グループごとに振り返りをして、気付いたことや疑問を話し合う。
もっと知りたいと思ったことをつなげていき、世界の文化に目を向けさせられるようにする。

提出書類①

SAINS-WEBに掲載しています。ご活用ください。

2025年(令和7年)11月20日

校種・学校番号
小学校・12

たぶんかきょうせい

じぎょうけいかくしよ

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ

電話 044-333-5966/FAX 044-344-3793

がっこうめい

学校名 [川崎市立浅田小学校]

たんとうきょうゆめい

担当教諭名 [関義徳 中元優萌]

こうちょうめい

校長名 堀江広志

職印

1. 実施日時 : 2025年(令和7年)11月20日(木曜日)

実施時間帯 : 午前・午後9時45分～12時00分

教科・単元名 [総合・ほかの国はどんな国?]

2. 対象児童生徒 学年 [1 2 3 4 5 6 年] 約 52 名

その他 [52名のうち、支援級3名]

3. 車の搬入口 浅田幼稚園側(南側)に車両門があります。

4. 活動のねらい(単元目標)
韓国・朝鮮の文化に触れよう。

5. 活動の流れ(展開)

- ① (9:45～10:15) 全体会 場所: 体育館
・ 講師の方の自己紹介
(・「三年とうげ」の読み聞かせなど(TV・PCの準備)
・ 伝承遊び体験

② (10:25～10:55) コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

③ (10:05～11:35) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	衣装	教室(多目的)	26・26
	言葉	教室(3-2)	26・26

④ (11:45～12:00) 全体会 場所: 体育館

・ おわりの会 感想発表 お礼

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
8:45	・ 事前に3階多目的・相談室を準備 ・ 体育館にテレビ マイクを準備	
9:45	講師到着⇒控室（相談室）に案内 - 今日の時間、活動を確認する。 ・ あいさつ ・ 講師の方の紹介 ・ 伝承遊び（こま）	・ 講師の先生は女性3名 ・ 最初の出会いを大切にしたい。 ・ 実行委員会が司会・進行していく。
10:15	グループにわかれて活動する。	
前半	民族衣装グループ ・ 民族衣装を着させていただく。 ・ どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。	・ 各グループに教師が見回りながら、活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
10:25 ～ 10:55		
後半	民話・ことばグループ ・ 韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。	・ 韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなどという気持ちをもたせたい。
11:05 ～ 11:35		・ ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。 ・ 筆記用具を用意する
11:45 ～ 12:00	- 終わりの会 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・ お礼の言葉とお別れのあいさつ。 <学習後> - 学習のふりかえりをする。 ・ ふりかえりカードに記入する。	・ 実行委員会の司会で、終わりの会をする。 ・ 各グループでふりかえりをする。

韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

校種・学校番号

小学校・12

学校名 川崎市立浅田小学校

校長名 堀江 広志

担当者名 関 義徳

借 用 期 間	令和7年11月17日(月)～令和7年11月25日(火)
返 却 日	令和7年11月21日(金)
借 用 物 品 (品名・数量)	●楽器 ☐ チャンゴ _____ 台 ☐ ソゴ _____ 台 ☐ プク _____ 台 ☐ チン _____ 台 ☐ ケンガリ _____ 台 ●遊び道具 ■ コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1 ケース ■ トゥホ 2 台 ●衣装 ■ 男子衣装 1 ケース ■ 女子衣装 2 ケース ※ バチ(チェ)の数を事後にご確認ください。
使 用 物 品 の 状 況	■ 異常なし ☐ 異常あり…☐ 破損 ☐ 汚れ ☐ 紛失 ☐ その他 () それは…☐ 最初からあった ☐ 今回生じた 対処は…☐ 修繕した(クリーニングした) ☐ その他 ()
そ の 他 特 記 事 項 (他校との調整等)	特になし

※多文化交流 KFV・川崎市国際交流協会を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

提出書類①

SAINS-WEBに掲載しています。ご活用ください。

2025年(令和7年)11月20日

校種・学校番号
小学校・12たぶんかきょうせい じぎょうけいかくしよ
多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 電話 044-333-5966/FAX 044-344-3793 がっこうめい 学校名 [川崎市立浅田小学校]

たんとうきょうゆめい 担当教諭名 [関義徳 中元優萌] こうちょうめい 校長名 堀江広志 職印

じっしにちじ 1. 実施日時 : 2025年(令和7年)11月20日(木曜日)

じっしじかんたい 実施時間帯 : 午前・午後 10時00分 ~ 12時15分

きょうか たんげんめい 教科・単元名 [総合・ほかの国はどんな国?]

たいしやうじどうせいと 2. 対象児童生徒 学年 [1 2 3 4 5 6 年] 約 52 名

その他 [52名のうち、支援級3名]

くるま はんにゆうぐち 3. 車の搬入口 浅田幼稚園側(南側)に車両門があります。

かつどう 4. 活動のねらい(単元目標)
韓国・朝鮮の文化に触れよう。

かつどう なが てんかい 5. 活動の流れ(展開)

- ① (10:00~10:30) 全体会 場所: 体育館
・講師の方の自己紹介
(・「三年とうげ」の読み聞かせなど(TV・PCの準備))
・伝承遊び体験

② (10:40~11:10) コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

③ (11:20~11:50) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

たんとう 講師のお名前	ないよう 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	かつどうばしょ 活動場所 音楽室など	じどうせいとにんずう 児童・生徒人数 前半・後半
	衣装	教室(多目的)	26・26
	言葉	教室(3-2)	26・26

- ④ (12:00~12:15) 全体会 場所: 体育館
・おわりの会 感想発表 お礼

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

提出書類③

SAINS-WEBに掲載しています。ご活用ください。

校種・学校番号
小学校・12

2025年（令和7年）11月25日

多文化共生ふれあい事業報告書

電話 044-333-5966/FAX044-344-3793 学校名〔 川崎市立浅田小学校 〕

担当教諭名〔関 義徳〕 校長名 堀江 広志

職印

1. 実施日時 : 2025年（令和7年）11月20日（木曜日）

実施時間帯 : (午前) 午後 9時45分 ~ 12時00分

教科・単元名 :〔 総合・もっと身近な国を知ろう 〕

2. 対象児童生徒 学年〔 1 2 (3) 4 5 6 年 〕 約 52 名
その他〔 52名のうち支援級3名 〕

3. 活動場所

川崎市立浅田小学校

体育館・教室・音楽室

4. 活動のねらい（単元目標）

韓国・朝鮮の文化に触れよう。

5. 活動内容

①（9:45~10:15）全体会 韓国のあそび 場所：体育館

②（10:15~11:35）コーナーに分かれてのワークショップ（前半・後半）

④（11:45~12:00）全体会 場所：体育館

6. 招請した民族文化講師名

講師名	国名	講師名	国名
	韓国		
	韓国		
	韓国		

7. 実施しての感想・意見

子ども達は、韓国・朝鮮の文化に触れることができ生き生きとした表情で学ぶことができました。講師の先生には、計画の段階から親身になって話を聞いて下さり、とても助かりました。また、子どもたちへも優しく丁寧に教えてくださったので、韓国・朝鮮文化に興味を持つことができました。

※実施1週間後までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当に原本を提出してください。

※児童生徒の感想等がありましたら、参考に一緒に送付してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL200-3758

6 活動の流れ（展開例）

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
9:00	・ 事前に3階多目的・相談室を準備 ・ 体育館にテレビ マイクを準備	
10:00	講師到着⇒控室（相談室）に案内 1. 今日の時間、活動を確認する。 ・ あいさつ ・ 講師の方の紹介 ・ 伝承遊び(こま)	・ 講師の先生は女性3名 ・ 最初の出会いを大切にしたい。 ・ 実行委員会が司会・進行していく。
10:30	2. グループにわかれて活動する。	
前半 10:40 ～ 11:10	民族衣装グループ ・ 民族衣装を着させていただく。 ・ どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。	・ 各グループに教師が見回りながら、活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
後半 11:20 ～ 11:50	民話・ことばグループ ・ 韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。	・ 韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなという気持ちをもたせたい。 ・ ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。 ・ 筆記用具を用意する
12:00 ～ 12:15	3. 終わりの会 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・ お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・ 実行委員会の司会で、終わりの会をする。 ・ 各グループでふりかえりをする。
	<学習後> 4. 学習のふりかえりをする。 ・ ふりかえりカードに記入する。	

韓国・朝鮮楽器等借用書

川崎市教育委員会事務局教育政策室
人権・多文化共生教育担当課長 様

校種・学校番号
小学校・12

学校名 浅田小学校

校長名 堀江 広志

担当者名 関 義徳

借用期間	7年11月17日（月）～ 7年11月25日（火）
借用希望日時	7年11月17日（月）～ 7年11月19日（木）
返却希望日時	7年11月20日（木）～ 7年11月25日（火）
借用物品 （品名・数量）	●楽器 ☐ チャンゴ _____ 台 ☐ ソゴ _____ 台 ☐ プク _____ 台 ☐ チン _____ 台 ☐ ケンガリ _____ 台 ●遊び道具 ☒ コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1 ケース ☒ トゥホ _____ 2 台 ●衣装 ☒ 男子衣装 1 ケース ☒ 女子衣装 2 ケース ※ パチ（チェ）の数を事前にご確認ください。
使用目的	多文化共生ふれあい事業のため
その他 特記事項 （他校との調整等）	特になし

※多文化交流 KfV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

2025年(令和 7年) 8月 21日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-233-6936 /FAX 044-211-1189 学校名〔 川崎市立向小学校 〕

担当教諭名〔 荒川大樹・清水彩花・小城友乃 〕 校長名 若狭 美加

1.実施日時 : 2025 年(令和 7年) 9月 11日(木曜日)

実施時間帯 : 午前 10時 50分 ~ 12時 20分

教科・単元名〔総合・KAWASAKI100+1プロジェクト〕

2.対象児童生徒 学年〔 3 年 〕 43 名 その他〔 〕

3.車の搬入口 正門 (講師の先生は到着開始10時頃到着 校長室を着替え、控室として利用)

4.活動のねらい(単元目標)

外国文化への理解を深めることで、国籍問わず違いを認め合い、理解し合おうとする心を育む。

5.活動の流れ(展開)

① (10:50 ~ 10:55) 全体会 場所:図書室

進行(ふれあい事業実行委員) ・講師の方の自己紹介 ・流れの確認

② (11:00 ~ 11:30) コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
(小城 友乃) 先生	中国の文化や習慣の紹介と 質疑応答(オルガン用意)	図書室	15・15
(清水 彩花) 先生	フィリピンの文化や習慣の 紹介と質疑応答	3-1教室	15・15
(荒川 大樹) 先生	韓国の文化や習慣の紹介と 質疑応答(ギガ端末・テレ ビ用意)	3-2教室	15・15

③ (11:35 ~ 12:05) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (12:10 ~ 12:20) 全体会 場所:図書室

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先:教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（展開）

・事前の活動

外国語の学習を通して、外国語文化への興味・関心を高める。

総合的な学習を通して、川崎には外国にルーツをもつ人が多く暮らしていることを知る。

※事前に使用教室の清掃を行う。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：50	1. 図書室に集合し、今日の活動を確認する。 ・あいさつ ・今日の流れの確認 ・講師の先生の紹介	・最初の出会いを大切にする。 ・実行委員会が司会・進行していく。
10：55	《各教室へ移動》	
11：00	2. （学習前半）1つ目の国の講演を聞く。 各国の文化についてのお話を聞き、日本の生活文化との違いを知る。 ◎中国グループ（担当：小城） GIGA端末とテレビを活用し、中国の衣食住について紹介する。オルガンを使用し中国の歌に親しむ。質疑応答 ◎フィリピングループ（担当：清水） GIGA端末とテレビを活用し、フィリピンの衣食住、学校の様子について紹介する。質疑応答 ◎韓国グループ（担当：荒川） GIGA端末とテレビを活用し、韓国の衣食住、学校の様子について紹介する。質疑応答	・15名程度（児童の希望でグループ分けをするため人数が前後する可能性有）の3グループに別れて学習する。 ・講師の先生に20分間講演して頂き、その後10分間は教師の進行で質疑応答を行う。 ・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・教師も一緒に活動に参加し児童と共に楽しめるようにする。 ・各国の文化を学び、日本との文化のちがいに気がつくようにする。
11：30	《各教室へ移動》	
11：35	3. （学習後半）2つ目の国の講演を聞く。	・活動ごとに感想を伝え合うなど、ふりかえりをする。
12：05	《図書室へ移動》	・実行委員の司会で、終わりの会をする。
12：10	4. 全体で今日の活動について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	
12：20		

・事後の活動

外国の文化への理解を深め、国語や外国語の学習に広げていく。

総合の学習として様々な国の文化をもつ人が混じり合う町の中で生きていくために必要なことを考える。

多文化共生ふれあい事業計画書

電話(044) 333-8436/FAX 333-617 学校名〔 川崎市立田島小学校 〕

担当教諭名〔 河野 良子 〕 校長名 中原義郎

1.実施日時 : 2025 年(令和 7 年) 10 月 9 日(木曜日)

実施時間帯 : 午前 10 時 30 分 ~ 12 時 15 分

教科・単元名〔 総合 ・「体験しよう・伝えよう～フィリピンの文化」 〕

2.対象児童生徒 学年〔 1 2 3 4 5 6 年 〕 約 89 名

その他〔 〕

3.車の搬入口 正門

4.活動のねらい(単元目標) 単元名「体験しよう・伝えよう ～フィリピンの文化」

フィリピン文化を体験することで、異文化に対する理解や共生の態度を育てる。

5.活動の流れ(展開)

①(10 : 30 ~ 10 : 55) 全体会 場所: 体育館

進行(多文化共生実行委員)

・講師の方の自己紹介

②(11 : 00 ~ 11 : 25) コーナーにわかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
河野	遊び	体育館	30・30
前田	衣装	音楽室	30・30
高山	言葉	3-1	30・30

③(11 : 30 ~ 11 : 55) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(12 : 00 ~ 12 : 15) 全体会 場所: 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・実行委員あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。 ・総合学習実行委員会が司会・進行していく。
10:55 ～ 11:25	2. グループにわかれて活動する。 ○民族衣装グループ（担当： 前田 ） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 ○伝承遊びグループ（担当： 河野 ） ・フィリピンの伝承あそびをやってみる。 ○ことばグループ（担当： 高山） ・タガログ語であいさつをする。簡単なことばを教わる。 ・自分たちで調べた民話の紹介。民話を聞かせていただく。 ・学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 もちもの：探検バック えんぴつ ・フィリピンの遊び、衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなという気持ちをもたせたい。 ・タガログ語の拡大コピーなど、準備する。児童へは、A3ハングル表。 ・各グループでふりかえりをする。
11:25 ～ 12:00	3. 活動場所の移動（移動時間は5分） ・後半グループで2～3を行う。	・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。（シール表示）
12:05 12:15	4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

・事後の活動

時間	学習目標	活動内容
7 時間目	多文化体験をふりかえろう (フィリピン)	体験シートに「楽しかったこと」「おどろいたこと」「気づいたこと」を記入。友達と共有して発見を広げる。
8・9 時間目	気づいたことを友達に発表しよう	韓国・フィリピングループごとに模造紙やスライドにまとめて発表する。「○○ってすてき!」「ちがいがあっていいね!」違いを認め合うことの良さに気づくとともに、
10 時間目	ともに生きていくために、どんなことが大切なのか考えよう	「言葉・生活様式・考え方など文化のちがいがあっても仲よくするために、わたしにできること」をテーマに考えていく。 まちづくり・文化の伝承・その他子どもたちの言葉でまとめていく。 (まとめ) 「文化の違うわたしたちが共に生きていくためには、相手の文化とのちがいを知り、認め合い、尊重しあうことが大切」というメッセージで締めくくり 多様な文化があることを知り、それぞれが尊重しあいながら生きていくことの大切さや素晴らしさに気付かせる。

6 活動の流れ

・事前の活動

時間	学習目標	学習活動
1・2時間目	「世界の国を知ろう」	知っている国を発表し、他にどんな国があるのか調べ発表する。
3時間目	「となりの国の友達を知ろう」	絵本や写真、動画資料を用いて、韓国・朝鮮の日常や家族、学校の様子を紹介。気づいたことをワークシートに記録、発表する。
4時間目	「日本とくらべてみよう」	衣食住・学校・あいさつ・言葉などを日本と比較してみる。「ちがっていいねカード」を使って気づきや感想を共有。
5時間目	「フィリピンのことをもっと調べてみよう」	遊び・ことば・衣装の3グループに分かれ、それぞれテーマについて事前調べや質問づくりを行う。多文化共生ふれあい事業で来てくださる講師に聞きたいことを考える。

2025年(令和 7 年) 7 月 24 日

多文化共生ふれあい事業計画書

15

電話(044)333-8436/FAX 333-617 学校名〔川崎市立田島小学校〕

担当教諭名〔河野 良子〕 校長名 中原義郎

1.実施日時 : 2025年(令和 7 年) 9 月 18 日(木曜日)

実施時間帯 : 午前 10 時 30 分 ~ 12 時 15 分

教科・単元名〔総合 ・「体験しよう・伝えよう~韓国 朝鮮の文化」〕

2.対象児童生徒 学年〔1 2 3 4 5 6 年〕 約 89 名

その他〔 〕

3.車の搬入口 正門

4.活動のねらい(単元目標) 単元名「体験しよう・伝えよう ~韓国朝鮮の文化」

韓国朝鮮の文化を体験することで、異文化に対する理解や共生の態度を育てる。

5.活動の流れ(展開)

①(10 : 30 ~ 10 : 55)全体会 場所: 体育館

進行(多文化共生実行委員)

・講師の方の自己紹介

・「あかてぬぐいのおくさんと七人のなかま」の読み聞かせ(TV・PCの準備)

②(11 : 00 ~ 11 : 25)コーナーにわかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
西川	音楽	図工室	20・20
前田	伝承遊び	体育館	24・24
高山	民族衣装	3-1	20・20
河野	民話・言葉	3-3	25・25

③(11 : 30 ~ 11 : 55)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(12 : 00 ~ 12 : 15)全体会 場所: 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先:教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ

・事前の活動

時間	学習目標	学習活動
1・2時間目	「世界の国を知ろう」	知っている国を発表し、他にどんな国があるのか調べ発表する。
3時間目	「となりの国の友達を知ろう」	絵本や写真、動画資料を用いて、韓国・朝鮮の日常や家族、学校の様子を紹介。気づいたことをワークシートに記録、発表する。
4時間目	「日本とくらべてみよう」	衣食住・学校・あいさつ・言葉などを日本と比較してみる。「ちがっていいねカード」を使って気づきや感想を共有。
5時間目	「もっと調べてみよう」	音楽・遊び・ことば・衣装の4グループに分かれ、それぞれテーマについて事前調べや質問づくりを行う。多文化共生ふれあい事業で来てくださる講師に聞きたいことを考える。

提出書類①

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・実行委員あいさつ ・講師の方の紹介 紙芝居	・最初の出会いを大切にしたい。 ・総合学習実行委員会が司会・進行していく。
10:55 ～ 11:25	2. グループにわかれて活動する。 ○音楽グループ（担当：西川） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 ○民族衣装グループ（担当：高山） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ（担当：前田） ・韓国の伝承あそびをやってみる。 民話・ことばグループ（担当：河野） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・自分たちで調べた民話の紹介。民話を聞かせていただく。 .学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 もちもの：探検バック えんぴつ ・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。 ・ハングル文字の拡大コピーなど、準備する。児童へは、A3ハングル表。 ・各グループでふりかえりをする。
11:25 ～ 12:00	3. 活動場所の移動（移動時間は5分） ・後半グループで2～3を行う。	・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。 ・実行委員会の司会で、終わりの会をする。
12:05	4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	
12:15		

・ 事後の活動

時間	学習目標	活動内容
7 時間目	多文化体験をふりかえろう	体験シートに「楽しかったこと」「おどろいたこと」「気づいたこと」を記入。友達と共有して発見を広げる。
8・9 時間目	気づいたことを友達に発表しよう	グループごとに模造紙やスライドにまとめて発表する。「○○ってすてき!」「ちがいがあっていいね!」違いを認め合うことの良さに気づくとともに、
10 時間目	ともに生きていくために、どんなことが大切なのか考えよう	「言葉・生活様式・考え方など文化のちがいがあっても仲よくするために、わたしにできること」をテーマに考えていく。 まちづくり・文化の伝承・その他子どもたちの言葉でまとめていく。 (まとめ) 「文化の違うわたしたちが共に生きていくためには、相手の文化とのちがいを知り、認め合い、尊重しあうことが大切」というメッセージで締めくくり 多様な文化があることを知り、それぞれが尊重しあいながら生きていくことの大切さや素晴らしさに気付かせる。

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-322-2495 /FAX 044-344-1436 学校名〔川崎市立新町小学校〕

担当教諭名〔井尻 佐登美〕 校長名 楠田 典子

1. 実施日時 : 2025年(令和 7年) 12月 12日(金曜日)

実施時間帯 : 午前・午後 10時 30分 ~ 12時 15分

教科・単元名〔総合的な学習の時間・「I LOVE 新町」～新町のいいところ伝えなきゃ!～〕

2. 対象児童生徒 学年〔1 2 ③ 4 5 6 年〕 約 50名

その他〔 〕

3. 車の搬入口 正門

4. 活動のねらい(単元目標)

韓国・朝鮮の言葉や文化にふれることで、色々な国の人との違いを認め合いながら、互いを尊重する態度を育てる。

5. 活動の流れ(展開)

① (10:30 ~ 10:55) 全体会 場所: プレイルーム

・進行(ふれあい事業実行委員様)

・講師の方の紹介

・「あかてぬぐいのおくさんと七人のなかま」読み聞かせ

② (11:00 ~ 11:25) コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	音楽・楽器	音楽室	13・13
	民族衣装	プレイルーム	13・13
	伝承遊び	体育館	13・13
	民話・言葉	3年2組	13・13
			.
			.

③ (11:30 ~ 11:55) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (12:00 ~ 12:15) 全体会 場所: プレイルーム

6 活動の流れ

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・読み聞かせ 「あかてぬぐいのおくさんと七人のなかま」	・最初の出会いを大切にしたい。 ・児童が司会・進行していく。 ・グループがわかるように胸に養生テープにグループを書いてはる。
①部 11:00 ～ 11:25 (水飲み・移動も含む)	2. グループにわかれて活動する。(2回) 音楽グループ(音楽室) 河合 奈月 ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。	・グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
②部 11:30 ～ 11:55 (水飲み・移動も含む)	民族衣装グループ(プレイルーム) 田口 友梨香 ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ(体育館) 井尻 佐登美 ・韓国の伝承あそびをやる。	・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちを持たせたい。 ・姿見鏡を用意する。 ※女子更衣室にある姿見鏡を使用 ・体操着を着るようにする。
	民話・ことばグループ(3年2組) 教室 鶴川 由美子 ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばや会話を教わり話をする。ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・自分たちで調べた民話の紹介。民話を聞かせていただく。	・ハングル文字の拡大コピー1部、テキストを印刷し、講師の方に手渡しをする。
12:00	3. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・児童の司会で、終わりの会をする。

全体会の場所は
プレイルーム

提出書類①

SAINS-WEBに掲載しています。ご活用ください。

令和7年

9月 5日

校種・学校番号

小学校・17

民族文化講師ふれあい事業実施計画書

電話 233-4712 /FAX 211-1289

学校名〔旭町小学校

担当教諭名〔阿部 愛未〕

校長名 山口 嘉徳



1. 実施日時 : 令和7年 9月 5日 (金曜日)

実施時間帯 午前・午後 10時 30分 ~ 12時 15分

教科・単元名〔 道徳 ・ マサラップ 〕

2. 対象児童生徒 学年〔 3 年 〕 約96名

3. 車の搬入口 わくわく門

4. 活動のねらい (単元目標)

- ・ 韓国、朝鮮や他の国について、体験して理解を深める。
- ・ 自分が体験したこと分かりやすく伝える力を伸ばす。

5. 活動の流れ (展開) 別紙参照

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所	児童・生徒人数
	遊び	多目的ホール	30
	楽器	音楽室	20
	民族衣装	2階女子更衣室	20
	言葉	3年3組	30

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください (手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

前日までの準備

- ☐ 教頭先生、用務員の方に搬入を伝える
- ☐ 特別教室抑える (音楽室・多目的室・女子更衣室)
- ☐ 言葉プリント印刷
- ☐ 音楽室のいすを片付ける
- ☐ 体験したいものアンケート
- ☐ 感想プリント準備

当日準備

- ☐ 衣装を体験する児童は体操着に着替える
- ☐ 事前にトイレに行くことを伝える
- ☐ 流れの説明

5 活動の流れ

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:00	楽器20（音楽室）・衣装20（南校舎2階女子更衣室）・遊び道具（多目的室）多数搬入	・駐車場に車1台停める。特別活動室の裏口から楽器を搬入。エレベーターで3階へ。
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。（多目的室） ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・紙芝居「フンプとノルブ」	・司会・進行は児童がしていく。
11:00	2. グループにわかれて活動する。 <u>遊びグループ 多目的室（担当：安西）</u> ・韓国の伝承遊びをやってみる。	・コンギ、ペンイ、チェギ
	<u>楽器グループ 音楽室（担当：安西）</u> ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。	・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなという気持ちを持たせたい。
11:30 (交代)	<u>民族衣装グループ 女子更衣室（担当：山下）</u> ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。	・各グループに教師がつき、活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・活動前にトイレに向かわせる
	<u>言葉グループ 3年3組（担当：阿部）</u> ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばや会話を教わり、話す。ハングル文字を教わり、自分の名前を書いてみる。	・ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。
	3. 学習のふりかえりをする。（感想交流） ・ふりかえりカードに記入する。 →後半へ 2, 3の繰り返し	・グループごとにふりかえりカードを書く。 (時間がなければ、午後に各教室で書く。)
12:00	4. 多目的室 集合→終わりの会 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。 ・学年全体で今日の体験について感想を出し合う。 ・講師の方のお話	・感想、お礼の言葉は児童から伝える。

ていしゅつしよるい
提出書類①

2025年(令和7年)

10月27日

こうしゅ がかうばんごうしょうがっこう
校種・学校番号小学校・18

たぶん かきょうせい じぎょうけいかくしよ
多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ
電話 044-233-2043 / FAX 044-211-1334

がかうめい [かわさきしりつみやまえしょうがっこう]
学校名 [川崎市立宮前小学校]

たんとうきょうゆめい [やとう ゆきまさ]
担当教諭名 [矢頭 幸昌]

こうちやうめい いがらし さとし
校長名 五十嵐 聡

じっしにちじ : 2025年(令和7年) 11月20日(木曜日)

じっしじかんたい : 午前10時30分 ~ 午後12時15分

きょうか たんげんめい こくご みねん
教科・単元名 : [国語「三年とうげ」]

たいしょうじどうせいと ねん がくねん
2. 対象児童生徒 学年 [1 2 3 4 5 6 年] やく 103名
その他 []

くるま はんにゅうぐち たいいくかんよこ みずいろ もん
3. 車の搬入口 : 体育館横 水色の門より

かつどう たんげんもくひやう
4. 活動のねらい(単元目標)
登場人物の行動や気持ちをとらえて、えらんだ民話を紹介しよう。

かつどう なが てんかい
5. 活動の流れ(展開)

① (10:30~11:00) 全体会 場所: 体育館

- ・しんこう 進行
- ・こうし かた じ こしょうかい 講師の方の自己紹介
- ・「3年とうげ」のよみき 読み聞かせ

② (11:00~11:30) コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

たんとう 講師のかた なまふ 担当/講師の方のお名前	ない よう 内 容	かつどうばしょ 活動場所	じどうすう 児童数 ぜんはん こうはん 前半 後半
わたなべ 渡邊/	がっき 楽器	スタジオ	(20・20)
おおば 大場/	いしやう 衣装	しゅうかいしつ 集会室	(20・20)
やまね 山根/	ことば 言葉	3-3 きょうしつ 教室	(23・23)
やとう 矢頭/	あそ 遊び	たいいくかん 体育館	(20・20)
/	ユンノリ	たもくてき 多目的ホール	(20・20)

③ (11:30~12:00) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (12:00~12:15) 全体会 場所: 体育館

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL200-3758

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-233-2812 /FAX 044-211-1436 学校名 (川崎小学校)

担当教諭名 (折田 将崇) 校長名 山川 佳美

1.実施日時 : 2025 年 (令和 7 年) 10 月 24 日 (金 曜日)

実施時間帯 : 午前 ・ 午後 10 時 30 分 ~ 12 時 15 分

教科・単元名 (総合 ・ 世界の国となかよくなるう)

2.対象児童生徒 学年 (1 2 3 4 5 6 年) 約 88 名
その他 ()

3.車の搬入口 西門 体育館横

4.活動のねらい (単元目標)

世界には様々な国があり、それぞれの文化があることを理解し、調べていく活動を通して自分の考えを持つ。異文化を理解し、尊重する態度を持つ。

5.活動の流れ (展開)

① (10 : 30 ~ 10 : 55) 全体会 場所: 体育館

・進行 (世界の国となかよくなるう実行委員)

・講師の方の自己紹介

・大型紙芝居「あかてぬぐいのおくさんと七人のなかま」

② (11 : 00 ~ 11 : 25) コーナーにかれたのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	楽器	音楽室	20・20
	衣装	3-2	20・20
	遊び	体育館	24・24
	言葉	3-1	24・24
			.

③ (11 : 30 ~ 11 : 55) コーナーに分かれたのワークショップ (後半)

④ (12 : 00 ~ 12 : 15) 全体会 場所: 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください (手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・大型紙芝居 「あかてぬぐいのおくさんと七人のなかま」	・世界の国となかよくなろう実行委員会 が司会・進行していく。
11:00 ～ 11:55	2. グループにわかれて活動する。 音楽グループ（担当： ） ・民族楽器の演奏の仕方を知り、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を知り、リズムに合わせて体を動かす。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
前半 11:00 ～ 11:25	民族衣装グループ（担当： ） ・民族衣装を着る。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。	
	伝承遊びグループ（担当： ） ・韓国の伝承あそびをやる。	
	民話・ことばグループ（担当： ） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを知る。また、ハングル文字を知り、自分の名前をかく。 ・民話を聞く。	
後半 11:30 ～ 11:55	○活動場所の移動（移動時間は5分） ・後半グループで「2」を行う。	・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。
12:00	4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・体育館に集まる ・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

提出書類①

・事後の活動

- ①多文化ふれあい教室で学んだことをグループごとにわかれてまとめる。（3時間）
- ②発表する。
- ③他の国の文化について調べてまとめる。（調べる5時間＋まとめる4時間）
- ④調べたことを発表する（2時間）

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025 年（令和 7 年）10 月 7 日

校種・学校番号

小・20

たぶんかきょうせい

じぎょうけいかくしよ

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ

電話 044-322-2410 /FAX 044-322-2411

がっこうめい

学校名 [川崎市立京町小学校]

たんとうきょうゆめい

担当教諭名 [渡邊 康一]

こうちようめい

校長名 佐藤 茂樹

1. 実施日時 : 2025 年（令和 7 年）12 月 18 日（木曜日）

実施時間帯 : 午前・午後 1 時 30 分 ~ 3 時 00 分

教科・単元名 [総合・世界の国の宣伝部長になろう]

2. 対象児童生徒 学年 [1 2 3 4 5 6 年] 約 47 名

その他 []

3. 車の搬入口 本校正門

4. 活動のねらい（単元目標）

身近な生活や文化を手掛かりに、外国の人々の暮らしや考え方にふれ、世界には様々な文化や生活があることを知るとともに、違いを受け入れ、他者を尊重する心を育てる。

5. 活動の流れ（展開）

①（13:30 ~ 13:45）全体会 場所：3 階 多目的ホール

<進行>（多文化共生 実行委員） <内容>・あいさつ・講師の方の自己紹介

②（13:50 ~ 14:10）コーナーに分かれてのワークショップ（前半）

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	中国の衣食住、漢字クイズ、小学校の様子など	3-1 教室	16 人・16 人
	バンラデシュの紹介	3-2 教室	16 人・16 人
	韓国の言葉、伝承遊び、文化などについて	3 階学習ルーム	15 人・15 人
			.
			.
			.

③（14:15 ~ 14:35）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（14:35 ~ 14:45）グループごとにふりかえり

⑤（14:50 ~ 15:00）全体会 場所：3 階 多目的ホール

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の 3 週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の 3 週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

2025年(令和7年)6月16日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044 (522) 0388 /FAX 044 (511) 2394 学校名〔 幸町小学校 〕

担当教諭名〔 伊藤 光輝 〕 校長名 筒井 愛子

1.実施日時 : 2025 年(令和7年) 7月 7日(月曜日)
実施時間帯 : ○午前 ・ 午後 10時 45分 ~ 12時 15分
教科・単元名〔 総合「世界と仲良し」 〕

2.対象児童生徒 学年〔 1 2 ③ 4 5 6 年 〕 約 101 名
その他〔 〕

3.車の搬入口 小学校校舎裏給食搬入門、スタッフは幸稻荷神社の横(正門)からお入りください

4.活動のねらい(単元目標)

外国の生活や文化などを体験したり、調べたりするなどの学習を通して世界には多様な考え方や価値が存在することを実感すること。

5.活動の流れ(展開)

①(10:30~11:00)全体会 場所: 体育館(多目的教室)

※あいさつ、講師紹介、「三年とうげ」読み聞かせ、「幸せなら手をたたこう」

②(11:05~11:30)コーナーにかかれたのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	楽器	体育館	・
	衣装	ステップ2 (3階教室)	・
教職員	遊び	多目的教室	・
	言葉	図工室	・
			・
			・

③(11:35~12:00)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(12:05~12:15)全体会 場所: 体育館(多目的教室)

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

＜事前の活動＞

「世界と仲良し」（総合）：世界にたくさんの国があり、興味を持った国について調べる。

フィリピン・中国で生活していた教職員にインタビュー活動を通して、国について多様な文化について知る。

「三年とうげ」（国語）：日本から近い国の韓国の民話に親しむ。

＜当日の活動＞

時間	活動の流れ（展開）				教師の支援と留意点
9：30頃	0. 講師来校（担当：伊藤） 控室：会議室				・総合学習実行委員会が司会・進行していく。
10：30 ～ 11：00	1. はじめの会（場所：体育館） ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・「三年とうげ」読み聞かせ ・楽器演奏 ・「幸せなら手をたたこう」				
11：05 ～ 11：30	2. グループにわかれて活動する。（前半）				・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
	音楽 （体育館）	衣装 （ステップ2）	遊び （多目的教室）	言葉 （図工室）	
	楽器体験 ・チャンゴ ・ソゴ など ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてください、リズムに合わせて体を動かしてみる。	衣装体験 ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。	遊び体験 ・チェギ ・コンギ ・ユンノリ など ・韓国の伝承あそびをやってみる。	・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・自分たちで調べた民話の紹介。民話を聞かせていただく。	・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなどという気持ちをもたせたい。 ・ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。 ・各グループでふりかえりをする。
	・活動場所の移動（移動時間は5分）				
	3. グループにわかれて活動する。（後半）				・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。
11：35 ～ 12：00	音楽 （体育館）	衣装 （ステップ2）	遊び （多目的教室）	言葉 （図工室）	
	楽器体験 ・チャンゴ ・ソゴ など	衣装体験	遊び体験 ・チェギ ・コンギ ・ユンノリ など	ハングルで名前を書こう	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。
12：05 ～ 12：15	4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。				

＜事前の活動＞

「世界と仲良し」（総合）：多文化共生ふれあい事業の体験を通し、日本から近い国について調べて発表する。

韓国・朝鮮楽器等借用書

校種・学校番号
小学校・21

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 幸町小学校

校長名 筒井 愛子

担当者名 伊藤 光輝

借用期間	R7年 7月 3日(木) ~ R7年 7月 7日(月)
借用希望日時	R7年 7月 3日(木)
返却希望日時	R7年 7月 7日(月)
借用物品 (品名・数量)	●楽器 ☐ チャンゴ 13台 ☐ ソゴ 3台 ☐ プク 2台 ☐ チン 1台 ☐ ケンガリ 1台 ●遊び道具 ☐ コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース ☐ トウホ 2台 ●衣装 ☐ 男子衣装 1ケース ☐ 女子衣装 2ケース ※ バチ(チェ)・矢等の数を事前にご確認ください。
使用目的	多文化共生ふれあい事業での体験で使用するため
その他 特記事項 (他校との調整等)	

※多文化交流KFV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要
提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

韓国・朝鮮楽器等借用書

校種・学校番号
小学校・21

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 幸町小学校

校長名 筒井 愛子

担当者名 伊藤 光輝

借用期間	R7年 7月 3日 (木) ~ R7年 7月 7日 (月)
借用希望日時	R7年 7月 3日 (木)
返却希望日時	R7年 7月 7日 (月)
借用物品 (品名・数量)	●楽器 ☐ チャンゴ 13台 ☐ ソゴ 3台 ☐ プク 2台 ☐ チン 1台 ☐ ケンガリ 1台 ●遊び道具 ☐ コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース ☐ トゥホ 2台 ●衣装 ☐ 男子衣装 1ケース ☐ 女子衣装 2ケース ※ バチ (チェ) ・矢等の数を事前にご確認ください。
使用目的	多文化共生ふれあい事業での体験で使用するため
その他 特記事項 (他校との調整等)	

※多文化交流KFV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要
提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

校種・学校番号

小・21

学校名 川崎市立幸町小学校

校長名 筒井 愛子

担当者名 伊藤 光輝

借用期間	2025年7月3日(木)～2025年7月7日(月)
返却日	2025年7月7日(月)
借用物品 (品名・数量)	●楽器 ☐ チャンゴ 13 台 ☐ ソゴ 3 台 ☐ プク 2 台 ☐ チン 1 台 ☐ ケンガリ 1 台 ●遊び道具 ☐ コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1 ケース ☐ トウホ 2 台 ●衣装 ☐ 男子衣装 1 ケース ☐ 女子衣装 2 ケース ※ パチ(チェ)の数を事後にご確認ください。
使用物品 の状況	☒ 異常なし ☐ 異常あり…☐ 破損 ☐ 汚れ ☐ 紛失 ☐ その他() それは…☐ 最初からあった ☐ 今回生じた 対処は…☐ 修繕した(クリーニングした) ☐ その他()
その他 特記事項 (他校との調整等)	2025年7月8日(火)次校実施の渡田小学校へ引き渡し済み

※多文化交流 KfV・川崎市国際交流協会を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

2025年(令和 7年) 10月 10日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-522-2573 /FAX 044-511-2494 学校名〔 南河原小学校 〕

担当教諭名〔 工藤 大輝 〕 校長名 宝谷 拓之

1.実施日時 : 2025年(令和 7年) 11月 14日(金曜日)

実施時間帯 : 午前 8 時 50 分 ~ 10 時 30 分

教科・単元名〔 総合的な学習の時間 ・ 世界の国と手をつなごう 〕

2.対象児童生徒 学年〔 1 2 3 4 5 6 年 〕 約 84 名

その他〔 〕

3.車の搬入口 正門

●活動のねらい(単元目標)

世界には様々な国とそれぞれの文化があることを知り、興味をもって調べたり日本と比べたりして理解する。

5.活動の流れ(展開)

①(8 :50 ~ 9:00)全体会 場所: 多目的室

- ・はじめのことば
- ・講師の方の自己紹介

②(9: 05~ 9:30)コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
中国 [REDACTED]	中国の衣食住 漢字のクイズ 小学校の様子	3年3組	30・30
タイ [REDACTED]	国の紹介 文化、食べ物、ダンス	3年2組	30・30
韓国 [REDACTED]	言葉	3年1組	30・30

③(9: 35~ 10:00)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(10:05 ~ 10:20)全体会 場所: 多目的室

- ・感想
- ・おれいのことば
- ・先生の話 ・終わりの言葉

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
8:00	更衣室準備@教育相談室	担当：向野（案内） 担当：工藤・実行委員 ・実行委員が司会進行をする ・講師の先生に自己紹介をしていただく ・それぞれの場所によって活動することを確認する ・児童はあらかじめ2つ選んでおく ・1組：工藤 2組：砂本 3組：向野 ・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・教室移動を行う ・実行委員が司会進行を行う
8:50	全体会 ・はじめの言葉 ・講師の方の自己紹介	
9:05	各グループに分かれてのワークショップ（前半） 中国（3年3組） タイ（3年2組） 韓国（3年1組）	
9:30	前半のワークショップ終了	
9:35	各グループに分かれてのワークショップ（後半） 中国（3年3組） タイ（3年2組） 韓国（3年1組）	
10:00	後半のワークショップ終了	
10:05	全体会 ・感想タイム ・御礼の言葉 ・先生の話 ・終わりの言葉	
事後	体験活動をもとに、自分の調べた国について 情報収集→整理分析→まとめ	・体験した言葉や衣食住を軸として情報収集を行い、日本の文化と比較しそれぞれの特徴をまとめていく。

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025年(令和 7年) 6月13日

校種・学校番号

小学校・24

たぶんかきょうせい

じぎょうけいかくしよ

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ

電話 522-2419 /FAX 511-2742

がっこうめい

学校名 [川崎市立西御幸小学校]

たんとくきょうゆめい

担当教諭名 [榎本 正和 ・ 仲田 智美]

こうちようめい

校長名 柴田 薫

じっしにちじ

1. 実施日時 : 2025年(令和 7年) 6月13日(金曜日)

じっしじかんたい

実施時間帯 : 午前10時15分 ~ 12時05分

きょうか たんげんめい

教科・単元名 [総合的な学習の時間 ・ 韓国朝鮮となかよし]

たいしょうじどうせいと

2. 対象児童生徒

がくねん

学年 [3 年]

ねん

約 53 名

やく

約 53 名

その他 [

その他 [

くるま

3. 車の搬入口

はんにゅうぐち

正門

かつどう

4. 活動のねらい(単元目標)

たんげんもくひよう

単元目標

韓国・朝鮮の文化に触れ、国によって生活様式や文化に違いがあることに気づき、それぞれの国のよさを感じる。また、色々な国の方たちと仲良く触れ合おうとする心をはぐくむ。

かつどう

5. 活動の流れ(展開)

なが

なが

てんかい

展開

① (10:15 ~ 10:40) 全体会 場所 : 2階 アクティビティルーム

・進行(総合学習実行委員子どもたち)

・講師の方の自己紹介

・大型紙芝居(あかてぬぐいの奥様と7人のなかま)

② (10:45 ~ 11:15) コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

担当 講師のお名前	内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	民族楽器の紹介・演奏	アクティビティルーム(2階)	14名・14名
	韓国・朝鮮の遊び	図工室・多目的室(1階)	14名・14名
	民族衣装	3-1教室(1階)	14名・14名 (最大男女10ずつ)
	文字・挨拶・言葉など	3-2教室(1階)	14名・14名
			子どもたちの希望から調整する。

③ (11:20 ~ 11:50) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (11:55 ~ 12:10) 全体会 場所 : 2階 アクティビティルーム

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

6 活動の流れ

- ・事前の活動：韓国朝鮮が日本に近い国であることや旅行などの交流がさかんであることを知る。
- ・当日の流れ

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：15	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。
10：40	・あかてぬぐいの奥様と7人のなかま	・総合学習実行委員会が司会・進行していく。
10：45 (前半)	2. グループにわかれて活動する。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
11：15	音楽グループ ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。	<仲田> 前半 音楽・衣装 後半 遊び・ことば
	民族衣装グループ ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。	<榎本> 前半 遊び・ことば 後半 音楽・衣装
11：20 (後半)		<小川・小此木> センタ級の児童と共に。
11：50	伝承遊びグループ ・韓国の伝承あそびをやってみる。	・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国について調べてみたいなという気持ちをもたせたい。
	ことばグループ ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・自分たちで調べた民話の紹介。民話を聞かせていただく。	・ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。
11：55	3. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。
12：10		

- ・事後の活動：新聞づくりや図書資料・インターネットを活用して、調べ学習をする。文化を知る。

提出書類①

2025年（令和7年）10月24日

校種・学校番号

小・26

たぶんかきょうせい じぎょうけいかくしよ 多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 電話533-1524/FAX511-3154 学校名 [川崎市立古川小学校]

たんとうきょうゆめい 担当教諭名 [杉田 高志] こうちようめい 校長名 石塚 全

じっしにちじ 1. 実施日時 : 2025年（令和7年）12月18日（木曜日）

じっしじかんたい 実施時間帯 : 午前10時15分 ~ 12時00分

きょうか 教科・単元名 [国語・三年とうげ]

たいしょうじどうせいと 2. 対象児童生徒 学年 [3年] 143名 [内センター級児童6名]

くるま はんにゆうぐち 3. 車の搬入口 給食搬入口

かつどう もくひよう 4. 活動のねらい（目標）

身近な国の文化を体験することを通して、他国の文化に対する興味・関心を高め、他者と認め合うことの大切さを感じ取る。

かつどう なが てんかい 5. 活動の流れ（展開）

①（はじまりの）全体会 場所：体育館

10:15~10:40 自己紹介

おおがたかみしばい 大型紙芝居（三年とうげ）

②（4つの）コーナーに分かれてのワークショップ（前半）

10:45~11:10

たんとう 講師のお名前	ないよう 内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	かつどうばしょ 活動場所 音楽室など	じどうせいとにんずう 児童・生徒人数 前半・後半
前田先生	楽器	音楽室	20・20
神保先生	衣装	第2多目的	20・20
杉田先生	言葉	3-3	35・35
大島先生	遊び	体育館	36・36
杉田先生	ユンノリ	3-1	32・32

③（6つの）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

11:15~11:40

④（おわりの）全体会 場所：体育館

11:45~12:00

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ

時間	活動の流れ (展開)	教師の支援と留意点
10:15	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・大型紙芝居【体育館】	・講師の方の名前を覚えられるようにする。 ・3年生担任が司会・進行していく。
10:45	2. 5グループにわかれて活動する。 楽器グループ (音楽室) ※10時に搬入 ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 衣装グループ (第2多目的) ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 遊びグループ (体育館) ・韓国の伝承あそびをやってみる。 言葉グループ (3-3) ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ユンノリグループ (3-1) ・韓国のすごろくをやってみる。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・各グループに分かれて活動する。 ・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉を知ること体験することをきっかけにして他の国も調べたいという動機づけとしたい。 ・事前に床を清掃しておく ・衣装グループは体操着着用、G I G A端末を持参する。 ・周囲に気を付けながら3つの遊びを体験させる。 ・テキストの拡大やコピーを準備する。 ・言葉グループは筆箱を持参する。 ・机椅子を片側に寄せて、事前に床を清掃しておく。
11:45	3. 学習のふりかえりをする。 4. 学年全体で今日の体験について感想を出し合う。 ・質問コーナー ・講師の先生からの話を聞く ・お礼の言葉とお別れのあいさつ	・3年生担任が司会で、終わりの会をする。

提出書類①

SAINS-WEBに掲載しています。ご活用ください。

2025年

校種・学校番号

小学校・27

たぶんかきようせい

じぎょうけいかくしよ

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 電話 044-511-5201/FAX 044-511-3495

がっこうめい

学校名〔

川崎市立東小倉小学校

たんとうきようゆめい

担当教諭名〔

安井由季子

こうちようめい

校長名

安藤 勉



1. 実施日時 : 2025 年 (令和 7 年) 7 月 15 日 (火 曜日)

実施時間帯 : 午前 10 時 40 分 ~ 12 時 00 分

きょうか たんげんめい

教科・単元名〔

総合

〕

2. 対象児童生徒

がくねん

学年〔

1

2

③

4

5

6

年

〕

ねん

109

めい

くるま はんにゆうぐち

3. 車の搬入口

西門 (横須賀線側)

かつどう

4. 活動のねらい (単元目標)

たんげんもくひよう

・他国のことを知り興味をもつ。

・それぞれの違いをよさと感じ、いろいろな国の人と仲良くなろうという気持ちをもつ。

かつどう

5. 活動の流れ (展開)

なが

てんかい

① (10 : 40 ~ 10 : 45)

ぜんたいかい

自己紹介

ばしよ

場所 : 各教室 (meet)

② (10 : 45 ~ 11 : 15)

わ

コーナーに分かれてのワークショップ (前半)

移動時間※ 11 : 15 ~ 25

たんとう こうし おなまえ 講師のお名前	ない よう 内容 がっき いしやう あそび こたば こうえん 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	かつどうばしよ おんがくしつ 活動場所 音楽室など	じどう せいとにんずう せいはん こうはん 児童・生徒人数 前半・後半
	韓国について	3-1	37・37
	パラグアイについて	3-2	36・36
	タイ	3-3	36・36

※人数は、多少前後することもあります。

③ (11 : 25 ~ 11 : 55) コーナーに分かれてのワークショップ (後半)

④ (11 : 55 ~ 12 : 05) ぜんたいかい ばしよ 各教室

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください (手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先 : 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

事前の活動 総合の学習「もっと知りたい世界の国」で、世界の国の子どもたちの映像を見たり、色々な国について本で調べたりする。

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10 時 ごろ	※講師到着。 →案内（藤城）	※講師の方を案内する。 （更衣室→バックヤード）
10 : 40	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	※出会いを大切にできるような声かけをする。
10 : 45	2. グループにわかれて活動する。 【前半】：10時45分～11時15分 【移動】：11時15分～11時25分 【後半】：11時25分～11時55分 （3-1） 韓国 持ち物 筆箱 ※廊下・流し前も使う。 （3-2） パラグアイ 持ち物 なし （3-3） タイ 持ち物なし ※机をさげておく	※移動がスムーズにできるようにするために事前に教室を伝える。 ※担当 （3-1）安井 （3-2）森本 用意するもの ・CD プレーヤー ・世界地図 ・地球儀 （3-3）藤城 ・TV ・chromebook
11 : 55	3. 今日の学習について感想を出し合い、講師の話（はなし）を聞く。（各教室） ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	※始めと終わりの挨拶をしっかりとる。
12 : 05	4. 学習のふり返りを教室でする。	※次回の学習につなげられるようにする。

提出書類①

2025年(令和7年)10月2日

校種・学校番号

小学校・29

たぶんかきょうせい

じぎょうけいかくしよ

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ

電話 044-522-0281 / FAX 044-511-3924

がっこうめい

川崎市立古市場小学校

たんとうきょうゆめい

担当教諭名 [小沢 さくら]

こうちようめい

こいかり

さなま

校長名 小碓 早苗

1. 実施日時 : 2025年(令和7年)12月5日(金曜日)、2025年(令和8年)1月15日(木曜日)

実施時間帯 : 午前 10時 30分 ~ 12時 15分

教科・単元名 [道徳 ・ 国際理解]

2. 対象児童生徒 学年 [3 年] 約 86 名

その他 []

3. 車の搬入口 多摩川側 裏門

4. 活動のねらい(単元目標)

韓国の伝統文化に親しむ。

5. 活動の流れ(展開)

① (10:30 ~ 10:55) 全体会 場所 : 体育館

進行(文化体験実行委員)

・講師の方の自己紹介

・「三年とうげ」読み聞かせ(TV・PCの準備)

・「三年とうげ」読み聞かせ(TV・PCの準備)

② (11:00 ~ 11:25) コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

担当 講師のお名前	内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	衣装	3-2	21・22
	遊び	体育館	22・21
	言葉	3-3	21・22
	楽器	スタジオ	22・21

③ (11:30 ~ 11:55) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (12:00 ~ 12:15) 全体会 場所 : 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

民族文化講師ふれあい事業流れ

12月5日(金)

	3-2	アリーナ (体育館)	3-3	スタジオ
	衣装	遊び	言葉	楽器
10:30~ 10:55	アリーナへ集合 全体会 紙芝居①(三年とうげ)			
11:00~	A	B	C	D
11:30~	D	A	B	C
12:00~	アリーナへ集合 全体会			

1月15日(木)

	3-2	アリーナ (体育館)	3-3	スタジオ
	衣装	遊び	言葉	楽器
10:30~ 10:55	アリーナへ集合 全体会 紙芝居①(あかてぬぐいのおくさんと七人のなかま)			
11:00~	C	D	A	B
11:30~	B	C	D	A
12:00~	アリーナへ集合 全体会			

体育館に準備するもの マイク ワイヤレスアンプ

言葉:全員分のワークシート ハングル表(拡大印刷) えんぴつ、けしごむを使う。

衣装 :体操着を着ておく。

テレビのモニター(自分の姿が見えるように)、撮影したい子はGIGA端末、トイレをすませておく。

楽器 :特に準備するものはなし 楽器によっては音が大きいため、びっくりしないように言うておく

遊び :特に準備するものはなし

※事前にしておくこと

学年を4グループに分ける(Aグループ、Bグループ、Cグループ、Dグループ)

かつどう なが
活動の流れ

・事前の活動

★道徳の学習で、まずは日本の衣装、遊び、言葉、楽器について調べ学習をする。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点★事前準備
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・大型かみしばい (1回目) 三年とうげ (2回目) あかてぬぐいのおくさんと七人のなかま	・最初の出会いを大切にしたい。 ・総合学習実行委員会が司会・進行していく。
11:00 ～11:25 (1回目)	2. グループにわかれて活動する。(途中で交代) 音楽グループ（スタジオ） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。	・活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ★ホワイトボード、ペンを準備しておく。
11:25 移動	民族衣装グループ（3-2） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。	・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなという気持ちをもたせたい。
11:30 ～11:55 (2回目)	伝承遊びグループ（体育館） ・韓国の伝承あそびをやってみる。 (チェギチャギなど) 言葉グループ（3-3） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。	★机をさげ、衣装をおける場所をつくる。掃き掃除をしておく。 ★ハングル文字の拡大コピー、プリントを用意準備しておく。

12 : 00	3. 終わりの会 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・ お礼の言葉とお別れのあいさつ	・ 実行委員会の司会で、終わりの会をする。
---------	--	---

・ 事後の活動

★道徳の学習で、教えてもらった韓国の学習を活かしながら、他のアジアの国々について調べてまとめる。

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044 (588) 1201 学校名 [川崎市立新小倉小学校]

担当教諭名 [齋藤 照哉] 校長名 田中 康子

1. 実施日時 : 2025年(令和 年) 11月 13日(木曜日)

実施時間帯 : 午前 11時 05分 ~ 12時 35分

教科・単元名 [総合的な学習の時間 ・ 世界の国とこんにちは]

2. 対象児童生徒 学年 [3年] 約 82名

3. 車の搬入口

本資料3枚目参照

4. 活動のねらい(単元目標)

身近な地域や世界に目を向け、様々な文化や価値観をもつ人々が共に生きていることを知り、違いを尊重しながら暮らしていこうとする意欲をもつ。

5. 活動の流れ(展開)

① (11:05 ~ 11:15) 全体会 場所: みらいホール

例: 進行(齋藤)

・講師の方の自己紹介

② (11:15 ~ 11:40) コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	中国の衣・食・住 漢字クイズ	みらいホール	28・29
	ベトナムの文化	多目的室	21・21
	韓国の文化	図工室	29・28
			.
			.
			.

③ (11:45 ~ 12:10) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (12:15 ~ 10:35) 全体会 場所: みらいホール

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ

・事前の活動（具体的に、単元構想等も入れてください）

①スーパーには色々な国から食材が運ばれてきていたことを振り返る。

②世界の文化や童話などを扱った本を読む。

③世界の文化について学ぶ（当日の活動）

④自分の調べたい国の文化について調べる。めあて：自分が推したい国を選び、それを友達に紹介し、してもらおう。

⑤調べたことをまとめて発表する。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
11：05	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	（事前）講師の方の控室の準備 ・教員による司会・進行。
11：15 ～	【前半の活動】 2. グループにわかれて活動する。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
11：40	中国グループ（担当：田中） ・中国の衣・食・住について ・漢字のクイズ	【準備物】 ☐ GIGA端末 ☐ TV ☐ ホワイトボード ☐ マグネット
	ベトナムグループ（担当：石田こ） ・ 国の紹介 ・ バンブーダンス （トラパー 5セット）	☐ GIGA端末 ☐ TV
	韓国グループ（担当：齋藤） ・ 文化の紹介	☐ GIGA端末 ☐ TV
11：45 ～ 12：10	3. 学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。	・各グループでふりかえりをする。
	【後半の活動】 ・活動場所の移動（移動時間は5分） ・後半グループで2～3を行う。	・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。
12：15 ～ 12：35	4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・教員による司会で、終わりの会をする。

・事後の活動（振り返りや共有、まとめの学習等を具体的に）

GIGAたんまつを使つての振り返りの共有、調べたことをまとめて発表する。

2025年(令和7年)

8月 22 日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-522-0158 /FAX 044-556-3803 学校名〔 下河原小 〕

担当教諭名〔 鈴木 伸章 〕 校長名 菊地 美和子

1.実施日時 : 2025 年(令和 7 年) 10 月 7 日(火曜日)

実施時間帯 : 午前 10時 30分 ~ 12時 20 分

教科・単元名〔 総合的な学習の時間 ・ 世界の国とあくしゅ 〕

2.対象児童生徒 学年〔 3 年 〕 45 名

その他〔 〕

3.車の搬入口 東側緑門

4.活動のねらい(単元目標)

朝鮮・韓国の文化に触れ、国によって生活様式や文化に違いがあることに気づき、それぞれの国の良さを感じる。また、色々な国の方たちと仲良く触れ合おうとする心を育む。

5.活動の流れ(展開)

① (10 : 30 ~ 10 : 55) 全体会 場所: 体育館

・講師の方の自己紹介

・「三年とうげ」の読み聞かせ(TV・PCの準備)

② (11 : 00 ~ 11 : 25) コーナーにかれたのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	言葉	教室	11・11
	楽器	音楽室	12・12
	衣装	教室	11・11
	遊び	体育館	11・11
			・
			・

③ (11:30 ~ 11 : 55) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (12:05 ~ 12 : 20) 全体会 場所: 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

6 活動の流れ（展開例）

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30 ～ 10:55	1. 今日の時間、活動を確認する。（体育館） ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・三年とうげの読み聞かせ （PC・プロジェクター準備）	・最初の出会いを大切にしたい。 ・総合学習実行委員会が司会・進行していく。
11:00 ～ 11:25 前半	2. グループにわかれて活動する。 音楽グループ（担当： ） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。	・担任は活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉をきっかけに、他の国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。
11:30 ～ 11:55 後半	民族衣装グループ（担当： ） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ（担当： ） ・韓国の伝承あそびをやってみる。 民話・ことばグループ（担当： ） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・自分たちで調べた民話の紹介。民話を聞かせていただく。	・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。 ・衣装を着るグループの人は体操着に着替えておく。 ・ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。
12:05	3. 学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。 ・活動場所の移動（移動時間は5分） ・今日の活動のふりかえり、質問 4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・各グループでふりかえりをする。 ・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

・事後の活動（振り返りや共有、まとめの学習等を具体的に）

提出書類②

7年 9月 10日(水)

韓国・朝鮮楽器等借用書

校種・学校番号

小・035

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 下河原小学校

校長名 菊地 美和子

担当者名 鈴木 伸章

借用期間	7年 9月30日(火)～ 7年10月8日(水)
借用希望日時	7年9月30日(火)～ 午後15時～17時頃
返却希望日時	7年10月8日(水) 午後16時～17時頃
借用物品 (品名・数量)	●楽器 □チャンゴ <u>13</u>台 □ソゴ <u>3</u> 台 □プク <u>2</u> 台 □チン <u>1</u> 台 □ケンガリ <u>1</u> 台 ●遊び道具 □コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース □トゥホ <u> </u> 台 ●衣装 □男子衣装 1ケース □女子衣装 2ケース ※ バチ(チェ)・矢等の数を事前にご確認ください。
使用目的	多文化共生ふれあい事業実施のため (韓国・北朝鮮の文化体験の一環として使用)
その他 特記事項 (他校との調整等)	

※多文化交流KFV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要
提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

7年 10月 7日 (火)

韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 下河原小学校

校長名 菊地 美和子

担当者名 鈴木伸章

借用期間	7年9月30日(火) ~ 7年10月8日(水)
返却日	7年10月8日(水)
借用物品 (品名・数量)	●楽器 ☐ チャンゴ 13 台 ☐ ソゴ 3 台 ☐ プク 2 台 ☐ チン 1 台 ☐ ケンガリ 1 台 ●遊び道具 ☐ コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース ☐ トゥホ 台 ●衣装 ☒ 男子衣装 1ケース ☒ 女子衣装 2ケース ※ バチ(チェ)・矢等の数を事後にご確認ください。
使用物品 の状況	☒ 異常なし ☐ 異常あり… ☐ 破損 ☐ 汚れ ☐ 紛失 ☐ その他 () それは… ☐ 最初からあった ☐ 今回生じた 対処は… ☐ 修繕した(クリーニングした) ☐ その他 ()
その他 特記事項 (他校との調整等)	

※多文化交流KFV・川崎市国際交流協会を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

2025年(令和 7年) 11月 7日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 411-2933 /FAX 411-9597 学校名〔 川崎市立下沼部小学校 〕

担当教諭名〔 四宮 誠 〕 校長名 清水 弘彦

1.実施日時 : 2025年(令和 7年) 11月 20日(木曜日)

実施時間帯 : 午前 ・ 午後 10時40分 ~ 12時15分

教科・単元名〔 総合 ・ 外国の文化にふれよう 〕

2.対象児童生徒 学年〔 1 2 ③ 4 5 6 年 〕 約 130名

その他〔 〕

3.車の搬入口

正門から入って左手の池横をお願いします。到着したら3年生担任まで連絡してください。

4.活動のねらい(単元目標)

海外の様々な遊びにふれて、興味をもち、自ら進んで異文化と関わろうとする素地を培う。

5.活動の流れ(展開)

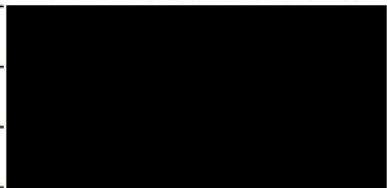
①(10:40~ 10:50)全体会 場所: 2棟多目的室

進行(3年教職員)

・講師の方の自己紹介

・本授業のめあての確認と連絡事項(3年教職員)

②(10:55~11:25)コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	モンゴル	3棟空き教室①②	約50・50
	ブラジル	3棟空き教室③	約40・40
	ベトナム	2棟多目的室	約40・40

③(11:30 ~ 12:00)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(12:05 ~ 12:15)全体会 場所: 2棟多目的室

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先:教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ

・事前の活動

3カ国についての基本的な情報（位置・使用言語・有名な観光地など）をクイズ形式で出すなど、興味をもたせておく。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:40	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。 ・3年担任が司会・進行する。
10:50	ワークショップ会場に向けて移動開始	
10:55 ～11:25	2. グループにわかれて活動する。 <u>モンゴルグループ（担当：四宮）</u> ・モンゴルの生活習慣を紹介してもらう。 ・モンゴルの遊び（すごろく）を体験する。 <u>ブラジルグループ（担当：由川・久保田）</u> ・ブラジルの生活習慣を紹介してもらう。 ・ブラジルの踊りを体験する。 <u>ベトナムグループ（担当：仲村）</u> ・ベトナムの生活習慣を紹介してもらう。 ・ベトナムの遊びを体験する。	【モンゴル】 ・机2つにつき、児童5人が囲むように座る。10グループ分用意する。講師の話を書くときには、1つの教室、遊びの体験の際に2教室に分かれる。 ・テレビ1台・モンゴルについてのデータを入れたGIGA端末を用意する。 【ブラジル】 ・講師がパソコン持参のため、タイプCコードとテレビ1台を準備する。 【ベトナム】 ・テレビ1台、GIGA端末1台 ・1グループにつき、以下の物を用意。 模造紙の半分の大きさの紙1枚 小石50個、大きい石10個 （これを10グループ分用意する）
11:25	2つ目のワークショップ会場に移動する。	
11:30 ～12:00	3. 2つ目のワークショップを体験する。	
12:00	全体会会場（多目的室）に移動する。	
12:05 ～12:15	4. 全体会を行う。 ・児童代表が日本の遊びを紹介する。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつをする。	・3年担任が司会・進行する。 ・3年生の実行委員から講師の先生方に、日本の遊びやあいさつを伝えられるように準備しておく。

・事後の活動

参加したワークショップで、興味をもった国について、図書室やGIGA端末を用いて、さらに調べ学習を行い、レポートにまとめて伝え合う。

提出書類①

SAINS-WEBに掲載しています。ご活用ください。

2025 年（令和7年） 1 月 18 日

校種・学校番号諸
小学校・040たぶんかきょうせい じぎょう けいかくしょ
多文化共生ふれあい事業実施計画書でんわ
電話 044-433-3286

/FAX 044-411-9537

がっこうめい
学校名【川崎市立木月小学校】たんとうきょうゆめい
担当教諭名【小磯基道】こうちやうめい
校長名 二川 義明

職印

じっしにちじ
1. 実施日時 : 2025 年（令和8年）1 月 30 日（金曜日）じっしじかんたい
実施時間帯 : 午前 10 時 30 分 ~ 12 時 15 分きょうか たんげんめい
教科・単元名【学級活動・「Colors, Future! いろいろって未来。」】たいしやうじどうせいと
2. 対象児童生徒 学年【3 年】約 68 名
その他【】くるま はんにゆうぐち
3. 車の搬入口 正門かつどう たんげんもくひやう
4. 活動のねらい（単元目標） 世界にはさまざまな文化があることを知り、周りにいる人
たちと共に生きていくための理解を深める。韓国・朝鮮の文化にふれ、親しみをもつ。かつどう なが てんかい
5. 活動の流れ（展開）

①（10:30 ~ 10:55）全体会 場所：体育館

じ こしやうかい
自己紹介かわさきし かん おおがたかみしばい
川崎市ふれあい館 大型紙芝居（赤てぬぐいのおくさんと七人のなかま）

②（11:00 ~ 11:25）コーナーに分かれてのワークショップ（前半）

たんとう 講師のお名前	ないよう 内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	かつどうばしょ 活動場所 音楽室など	じどう せいとにんずう 児童・生徒人数 前半・後半
杉本	ことば	3-1（2 階）	20・21
小磯	民族衣装	3-2（2 階）	14・12
杉本	打楽器体験	PC ルーム（2 階）	10・7
小磯	伝承遊び	体育館（1 階）	24・28

③（11:30 ~ 11:55）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（11:00 ~ 12:15）全体会 場所：体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:00	・正門に講師の車到着 ・インターフォンで職員室に連絡後、 ・講師の先生方は校長室で待機していただく。	3年担任（小磯）が職員玄関に向かう。 楽器…杉本、1組児童でPCルームへ 衣装…小磯、2組児童で2組教室へ 遊び道具…校長室で保管（小磯）
10:20	・講師の先生、体育館へ移動、準備開始	
10:30	1. はじめの会 ・今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・大型紙芝居	・最初（さいしょ）の出会いを大切にしたい。 ・総合学習実行委員会（そうごうがくしゅうじっこういんかい）が司会（しかい）・進行（しんこう）していく。
11:05 前半	2. グループにわかれて活動（かつどう）する。 音楽（おんがく）グループ ・民族楽器（みんぞくがっき）の演奏（えんそう）の仕方を教えてもらい、一緒に演奏（えんそう）する。 ・舞踊（ぶよう）の方法（ほうほう）を教えてもらい、リズム（リズム）に合わせて体（からだ）を動か（うご）かしてみる。 民族衣装（みんぞくいしやう）グループ ・民族衣装（みんぞくいしやう）を着（き）させていただく。 ・どんな時（とき）にこの衣装（いしやう）を着（き）るのか、日常生活（にちじょうせいかつ）の様子（ようす）や年中行事（ねんじゅうぎょうじ）などの話（はなし）を聞く。 伝承（でんしょう）遊び（あそび）グループ ・韓国（かんこく）の伝承（でんしょう）あそび（あそび）をやってみる。	・各（かく）グループに教師（きょうし）が付き活動（かつどう）がスムーズに進（すす）むようにアドバイスする。 ・体育館（たいいくかん）の前半（まへはん）分（ぶん）が音楽（おんがく）グループ、後ろ（うしろ）半分（はんぶん）が民族衣装（みんぞくいしやう）グループとする。 ・韓国（かんこく）・朝鮮（ちょうせん）の音楽（おんがく）や衣装（いしやう）、言葉（ことば）がきっかけになりほかの国（くに）についても調（しら）べてみたいという気持ち（きもち）をもたせたい。 ・ハングル文字（もじ）の拡大（かくだい）コピー（コピー）など、用意（ようい）できる範囲（はんい）で準備（じゅんび）する。
11:35 後半	民話（みんわ）・ことばグループ ・韓国（かんこく）・朝鮮語（ちょうせんご）であいさつ（あいさつ）をする。簡単（かんたん）なことばを教（おし）わる。また、ハングル文字（もじ）を教（おし）わり、自分の名前（なまえ）をかいてみる。 ・自分（じぶん）たちで調（しら）べた民話（みんわ）の紹介（しょうかい）。民話（みんわ）を聞（き）かせていただく。 ・学習（がくしゅう）のふりかえり（ふりかえり）をする。 ・ふりかえりカード（きんぎょう）に記入（きい）する。	・各（かく）グループでふりかえり（ふりかえり）をする。
12:00	3. 終わりの会 ・感想（かんさう）発表（はつぷつ） ・お礼（れい）の言葉（ことば） ・講師（こうし）の先生（せんせい）からお話（お話を） ・お別（わか）れのあいさつ	・実行委員会（じっこういんかい）の司会（しかい）で、終わりの会（かい）をする。



多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-422-1402/FAX 044-411-8495 学校名〔川崎市立東進住吉小学校〕

担当教諭名〔矢島 正基〕 校長名 伊藤 和江

1. 実施日時 : 2026年(令和8年)1月19日(月曜日)

実施時間帯 : (午前) ・ 午後 10時40分 ~ 12時10分

教科・単元名〔国語・三年とうげ〕

2. 対象児童生徒 学年〔1 2 (3) 4 5 6 年〕 約 99 名

その他〔 〕

3. 車の搬入口 正門 (綱島街道沿い)

4. 活動のねらい(単元目標)

三年とうげの学習に取り組むとともに、韓国の文化に興味を持つ。

5. 活動の流れ(展開)

①(10:40~10:50)全体会 場所:新多目的室 (3クラスとも)

- ・進行(ふれあい事業実行委員)
- ・講師の方の自己紹介
- ・活動の流れの確認 (10:50~10:55 移動)

②(11:00~11:30(前半))

前半と後半に分かれ、コーナーに分かれてのワークショップ

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半ともに
	韓国の文化(文化紹介ゲーム)	図工室	30名前後
	フィリピンの文化(国の紹介)	新多目的室	30名前後
	中国の文化(衣食住)	多目的室	30名前後

③(11:35~12:05(後半))

④ 体験が終わったあとは、多目的室に集まり、全体会を行う。

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先:教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

展開例

6 活動の流れ（展開例）

- ・事前の活動
 - ・三年とうげの学習を深めるとともに、他国の文化に親しむ。
- ・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:40 10:50	1. 新多目的室で全体会を行う。 (3クラスとも) ・あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。 ・各クラスの代表が司会・進行していく。 (移動: 10:50~10:55) ・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
11:00~ 11:30 (前半)	2. 自分が選んだところに 分かれて活動する。 回るようにする。(3つの中から2つを選んでおく) ・韓国グループ(前半: 清水迫 後半: 山田) 韓国の文化について教えてもらう。 (言葉・遊び・韓国の学校の様子など) ・フィリピングループ (前半: 山田 後半: 矢島) フィリピンの文化について教えてもらう。 (国・言葉・遊びなど) ・中国グループ(前半: 矢島 後半: 清水迫) 中国の文化について教えてもらう。 (歌・言葉・遊びなど)	(活動場所) ・韓国グループ: 図工室 ・フィリピングループ: 新多目的室 ・中国グループ: 多目的室 ・今回の活動をきっかけに他国の文化にも興味をもたせるようにする。
11:35 ~ 12:00 (後半)		・後半の活動が終わり次第、その場でお礼のあいさつをして教室に戻る。(時間があれば、そのグループで質疑応答の時間をとる)

- ・事後の活動 各グループで教えてもらったことを交流する。

2026年(令和8年) 1月 26日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話044-422-5444/FAX044-411-9728 学校名〔 川崎市立住吉小学校 〕

担当教諭名〔 鈴木 雅美 〕 校長名 近藤 由起子

1.実施日時 : 2026年(令和8年) 1月26日(月曜日)

実施時間帯 : 午前 10時30分 ~ 12時00分

教科・単元名〔 総合的な学習の時間 〕

2.対象児童生徒 学年〔 3年 〕 約 78名

その他〔 特別支援学級在籍児童3名 〕

3.車の搬入口

なし

4.活動のねらい(単元目標)「住吉のまちのキラびと発見!」

地域に暮らす様々な個性や特徴をもつ人を調べ、共に生きていく存在として「キラびと」を紹介しよう!

5.活動の流れ(展開)

①(10:30~ 10:40)全体会 場所: 各教室(Google meet)

進行(ふれあい事業実行委員)

- ・講師の方の自己紹介
- ・活動の流れの説明

②(10:40~ 11: 10)コーナーにかかれたのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
[REDACTED]	ラオス文化の紹介	3-1	26人程度
	フィリピン文化の紹介	3-2	25人程度
	韓国文化の紹介	3-3	26人程度

③(11:15 ~11:45)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(11:50 ~12 :00)全体会 場所: 各教室(Google meet)

●進行(ふれあい事業実行委員)

- ・実行委員によるふりかえりの発表
- ・講師の方によるまとめ(代表1名)

講師のみなさんへ

★講師の方の控室—家庭科室（2棟3階）

★衣装への着替え—職員更衣室（女性用）または家庭科室をご利用ください。

★授業会場は、各教室です。教室は、2棟3階にあります。

★各教室には、GIGA端末（PC）と50インチTVがあります。※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

提出書類①

6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動

学年総合で、自分たちが選んだ「キラびと」以外のキラびとに目を向けることを説明し、「外国の方」という視点で考えるようにする。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	1. 全体会を行う。 ●進行（ふれあい事業実行委員） ・実行委員によるめあての発表 ・講師の方による自己紹介	・最初の出会いを大切にしたい。 ・総合学習実行委員会が司会・進行していく。
10:40 ～ 11:10	2. グループにわかれて活動する。（前半） ○それぞれの国の文化紹介を通して、相手の国の言葉や習慣などを理解する。 ●ラオス文化の紹介（場所:3-1）（担当：鈴木） ●フィリピン文化の紹介（場所:3-2）（担当：山島） ●韓国文化の紹介（場所:3-3）（担当：湯浅）	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・学習して気づいたことは、「調べカード」に適宜メモを取るよう促す。 <u>※持ち物：プリント、筆記用具</u>
5分間	児童は、自分の選んだ2つ目の国の教室に移動する。	・言葉や習慣がきっかけになり、ほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。
11:15 ～ 11:45	3. グループにわかれて活動する。（後半） ○それぞれの国の文化紹介を通して、相手の国の言葉や習慣などを理解する ●ラオス文化の紹介（場所:3-1）（担当：鈴木） ●フィリピン文化の紹介（場所:3-2）（担当：山島） ●韓国文化の紹介（場所:3-3）（担当：湯浅）	・○○文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。 ・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。
5分間	児童は自分のクラスに移動する。	・実行委員会の司会で、始めと終わりの全体会をする。
11:50 ～ 12:00	4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ●進行（ふれあい事業実行委員） ○実行委員によるふりかえりの発表 ○講師の方によるまとめ（代表1名）	

・事後の活動（振り返りや共有、まとめの学習等を具体的に）

○ふれあい交流会で学んだことを、これまでの「キラびとに関する学習」と関連してまとめを行う。そして、これからの100年に向けた「多くの人が幸せに暮らせる社会」の実現のアイデアをまとめていく。

提出書類①

SAINS-WEBに掲載しています。ご活用ください。

2025年(令和7年) 11月 4日

校種・学校番号

小・43

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-766-3992 /FAX 044-766-6819 学校名〔 川崎市立井田小学校 〕
担当教諭名〔 根葉 龍也 〕 校長名 松原 晴美

1. 実施日時 : 2025年(令和7年) 11月 4日(火曜日)
実施時間帯 : 午前・午後 10時 50分 ~ 12時 20分
教科・単元名〔 総合的な学習の時間・『世界ふしぎ発見!』 〕

2. 対象児童生徒 学年〔 1 2 ③ 4 5 6 年 〕 約 181名
その他〔 〕

3. 車の搬入口 正門 (7:00~9:00・13:00~15:00は車両進入禁止)

4. 活動のねらい(単元目標) 世界の様々な国の文化を身近に感じ、進んで楽しく交流していこうとする気持ちを育てる。

5. 活動の流れ(展開)

①(10:50~11:00)全体会 場所: 体育館

進行(多文化共生実行委員(児童))

- ・学習のねらい確認
- ・講師の方の自己紹介

②(11:05~11:30)コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	中国の文化	3階ホール	60・60
	パラグアイの文化	特別活動教室	60・60
	タイの文化+踊り	2階ホール	60・60

③(11:35~12:00)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(12:05~12:20)全体会 場所: 3階ホール

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

・事前活動

来てくださる講師の方の名前と国名を確認しておく

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:50	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 自己紹介で <u>あいさつの言葉</u> を入れて話す。	・最初の出会いを大切にしたい。 ・多文化交流実行委員会が司会・進行していく。
11:05 ～ 11:30	2. グループにわかれて活動する。 <u>中国グループ（3階ホール）</u> ・中国語であいさつをする。 ・日常生活の様子や文化の話を聞く。 ・同じ漢字でも意味が違う漢字のクイズ。 ・民話の紹介 <u>パラグアイグループ（特別活動教室）</u> ・パラグアイ語であいさつをする。 ・衣食住など日常生活の様子や文化の話 ・歌を歌う。 ・民話の紹介 <u>タイグループ（2階ホール）</u> ・タイ語であいさつをする。 ・日常生活の様子や文化の説明をクイズ形式で話す。（位置、食べ物、あいさつや宗教） ・盆踊りを教えてもらい、一緒に踊る。 ↓ 前半… 11:05～11:30 後半… 11:35～12:00	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・中国・パラグアイ・タイの日常生活の様子や文化がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなどという気持ちをもたせたい。
12:05 ～ 12:20	3. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・ <u>お礼とお別れのあいさつの言葉</u> を知り、あいさつをする。 ・次の時間に各クラスで振り返りをする。	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。 ・各クラスでふりかえりをする。

・事後の活動

学習したことをもとにして、その後の学習計画を考えていく。

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-722-5507 /FAX 044-722-6194 学校名〔 川崎市立今井小学校 〕

担当教諭名〔 田中 奈央 〕 校長名 梶 康子

1.実施日時 :2025年(令和7年) 10月 2日(木曜日)

実施時間帯 :午前 10時 30分 ~ 12時 20分

教科・単元名〔 総合 ・いろいろな国の文化を知ろう 〕

2.対象児童生徒 学年〔 3年 〕 約 87名

その他〔 〕

3.車の搬入口 東門

4.活動のねらい(単元目標)

(総合) いろいろな国の文化を知る

5.活動の流れ(展開)

① (10:30 ~ 10:55) 全体会 場所: 体育館

例:進行(ふれあい事業実行委員)

・講師の方の自己紹介

・「フンブとノルブ」の読み聞かせ

② (11:00 ~ 11:25) コーナーにかかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	音楽	音楽室(3階)	20・20
	民族衣装	研修室(3-3 の隣の教室)	20・20
	言葉	3-3(3階)	20・20
	遊び	体育館	27・27
			.

③ (11:30 ~ 11:55) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (12:00 ~ 12:15) 全体会 場所: 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先:教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

- ・ **事前の活動** 近くの国について調べ学習をし、国によって、様々な文化があることを知る。
韓国について知っている。

・ 当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・ あいさつ ・ 講師の方の紹介 ・ 「フンブとノルブ」の紙芝居を聞く	・ 最初の出会いを大切にしたい。 ・ 総合学習実行委員会が司会・進行していく。
10：45 ～ 11：20	2. グループにわかれて活動する。 音楽グループ（担当： ） ・ 民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・ 舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 民族衣装グループ（担当： ） ・ 民族衣装を着させていただく。 ・ どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ（担当： ） ・ 韓国の伝承あそびをやってみる。 民話・ことばグループ（担当： ） ・ 韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・ 自分たちで調べた民話の紹介。民話を聞かせていただく。	・ 各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・ 児童一人ひとりがどのグループで活動するか一目で分かるようにする。 ・ 参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。 ・ 韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなという気持ちをもたせたい。
11：25 ～ 12：00	3. ・ 活動場所の移動（移動時間は5分） ・ 後半グループで2～3を行う。 4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・ お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・ 各グループでふりかえりをする。
12：05		・ 実行委員会の司会で、終わりの会をする。

提出書類①

- ・事後の活動（振り返りや共有、まとめの学習等を具体的に）
- ・韓国文化体験で学んだことをまとめる。
- ・自分が体験してないところについても、友だちの発表等を通して知る。
- ・他にも興味を持った国について調べてまとめる。
(新聞、模造紙、他のクラスの人に発表等、児童から出たまとめの仕方でまとめていく。)
- ・まとめるときは、日本や韓国との比較ができるように、テーマをしぼる。
(言葉、遊び等)

提出書類①

2025年（令和7年） 11月20日 現在

校種・学校番号

小・45

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 電話044 (422) 2221/FAX 044 (422) 7902 学校名 [川崎市立上丸子小学校]
 たんとくきょうゆめい 担当教諭名 [近藤 裕樹] こうちやうめい 校長名 横山 里恵

1. 実施日時 : 2025 年（令和 7 年） 12月15日（月曜日）
 実施時間帯 午前 8 時 40 分 ~ 10 時 5 分
 教科・題材名 [道徳 共にいきる~世界のさまざまな文化に触れよう~]

2. 対象児童生徒 学年 [3 年] 120 名

3. 車の搬入口 学校の体育館裏（新幹線門）

4. 活動のねらい（単元目標）

さまざまな国の文化に触れ、さまざまな人と仲よく協力し合っているための素地をつくる。

5. 活動の流れ（展開）

①（8:40~8:50）全体会 場所：体育館

・講師の方の自己紹介

②（8:55~9:20）コーナーに分かれてのワークショップ（前半）

担 当 講師のお名前・国	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	国の紹介・歌・クイズ	特別活動室	40人・40人
	ケニアの紹介・スペイン語を使ったあいさつや歌	1階ホール	40人・40人
	韓国の伝承遊び (韓国の伝統的な遊び)	体育館	40人・40人

③（9:25~9:50）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（10:05 ~ 10 : 20 ）全体会 場所：体育館

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。
 実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

展開例 6 活動の流れ

- ・事前の活動 道徳 「マサラップ」でフィリピンやほかの国の言葉や文化・食について触れる。
 国語 「三年とうげ」で、韓国の民話について知る。
 中国 「故事成語」で、中国から生まれた言葉について知る。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
8:40	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。 ・学年担任の先生が司会で、はじめの会をする。
8:55～	2. グループにわかれて活動する。 韓国グループ 場所：体育館（担当：近藤） ・韓国の遊びについて、教えてもらい、ルールを守りながら楽しくあそぶ。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
9:25～	ケニアグループ 場所：1階ホール（担当：北村・山下） ケニアの紹介を聞いたり、スペイン語を使った歌やあいさつを言ったりする。	・韓国・ケニア・パラグアイの遊びやダンス、文化がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなという気持ちをもたせたい。
	パラグアイグループ 場所：特別活動室（担当：蓮田） ・国の紹介を聞いたり、歌を歌ったりする。	
	3. 学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。	
	場所を移動し、後半グループで2～3の活動を行う。	・各グループでふりかえりをする。
9:55～	4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・学年担任の先生が司会で、終わりの会をする。
10:05	終了	

・事後の活動

- ・各クラスで振り返りをし、それぞれの国について交流をする。

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-733-4413 /FAX 044-722-7142 学校名〔 川崎市立西丸子小学校 〕

担当教諭名〔 内元 亮太 〕 校長名 吉村 あかね

1.実施日時 : 2026 年（令和8年） 1月 9日（ 金曜日 ）

実施時間帯 : 午前 10 時 30 分 ～ 12 時 15 分

教科・単元名〔 総合的な学習の時間・世界の文化を調べよう〕

2.対象児童生徒 学年〔 1 2 ③ 4 5 6 年 〕 約 83 名

その他〔 〕

3.車の搬入口 西門より搬入可

4.活動のねらい（単元目標）

自分たちの住んでいる日本とは異なる国の文化に触れることで、海外への関心を高める

5.活動の流れ（展開）

①（ 10 : 30 ～ 10 : 45 ）全体会 場所： 第2音楽室

例：進行（ふれあい事業実行委員）

- ・講師の方の自己紹介
- ・「あかてぬぐいのおくさんと七人のなかま」の読み聞かせ（TV・PCの準備）

②（ 10:50～11:25 ）コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
内元T	伝承あそび	第2音楽室	24・17
土屋T	ことば	3年1組教室	24・25
加藤T	衣装	第2図書室	20・21
橋本T	打楽器体験	環境学習室	21・22
			・
			・

③（ 11:30～ 11:55 ）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（ 12:00～ 12:15 ）全体会 場所： 第2音楽室

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ

・事前の活動

韓国の文化について調べ学習をして、韓国への関心を高める

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：30	1. はじめの会 ・あいさつ ・めあての確認 ・講師の方の紹介・読み聞かせ	・総合学習実行委員会が司会・進行していく。 ・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
10：50 ～ 11：25	2. 前半グループにわかれて活動する。 打楽器グループ（担当：橋本T） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 衣装グループ（担当：前半加藤T・後半内元T） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ（担当：内元T） ・韓国の伝承あそびをやる。やる。 ことばグループ（担当：土屋T） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・自分たちで調べた民話の紹介。民話を聞かせていただく。	・移動はコーナーの担当の教師が引率 ・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。 ・第2図書室の暖房を入れておく ・体験する子どもには朝のうちに体育着に着がえるように声を掛ける。 ・ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。
11：30 ～ 11：55	3. 後半の活動場所に移動し、体験を行う ・活動場所の移動（移動時間は5分） ・後半グループで2～3を行う。	・後半グループの活動場所への移動は子どものみで。
12：00 ～ 12：15	4. 学年全体で体験についての振り返り。 ・講師の反省のお話。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・時間に余裕がある場合は感想を募る。 時間がなさそうな場合は、代表して実行委員が感想を言って挨拶をする。

・事後の活動

自分の体験したことをスライドにまとめ、クラスで共有する。海外の文化が日本とは異なることを確認し、それぞれの子どもが関心のある国について調べる活動につなげる。

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025 年（令和 7 年）10 月 6 日

校種・学校番号

小学校・48

たぶんかきょうせい

じぎょうけいかくしよ

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ

電話 044 (766) 4769 / FAX 044 (766) 7049

がっこうめい

学校名 [川崎市立宮内小学校]

たんとうきょうゆめい

担当教諭名 [乙崎 聡子]

こうちょうめい

校長名 陸田 由喜子

1. 実施日時 : 2024 年（令和 7 年）10 月 31 日（金曜日）

実施時間帯 : 午前・午後 10 時 30 分 ~ 12 時 15 分

教科・単元名 [国語「3年とうげ」]

2. 対象児童生徒 学年 [1 2 ③ 4 5 6 年] 約 146 名

その他 []

3. 車の搬入口 : 北門から

4. 活動のねらい（単元目標）：韓国の楽器や民族衣装にふれること、言葉や遊びなどの違いを知る体験を通して、日本と韓国の文化の相違に気づき。それぞれの文化の良さについて考える。

5. 活動の流れ（展開）

①（ 10:30 ~ 10:55 ）全体会 場所： 体育館

例：進行（ふれあい事業実行委員）

・講師の方の自己紹介

・「フンブとノルブ」の読み聞かせ

②（ 11:00 ~ 11:25 ）コーナーに分かれてのワークショップ（前半）

担当 講師のお名前	内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
乙崎（おとぎき）	言葉	3年4組	35・35
澤谷（さわや）	衣装	3年5組	20・20
野口（のぐち）	楽器	特別活動室	20・20
黒川（くろかわ）	遊び	体育館	35・35
池山（いけやま）	ユンノリ	学年ホール	35・35

③（ 11:30 ~ 11:55 ）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（ 12:00 ~ 12:15 ）全体会 場所： 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

多文化共生ふれあい事業 韓国ふれあい体験

川崎市立宮内小学校 第3学年

1. 日時：令和7年10月31日（金）10：30～12：15
2. 場所：言葉（乙崎）、衣装（澤谷）、楽器（野口）、遊び（黒川）、ユンノリ（池山）
3. 参加者：講師 名、コーディネーター 名、委員会 名
3年児童（139人＋7人）、教員（担任5人、学習室2人）

時間	活動の流れ（展開）					教師の支援と留意点
事前指導	・国語「3年とうげ」の学習から、韓国で親しまれてきた民話であることを理解し、韓国への関心をもてるきっかけをつくる。 ・「3年とうげ」に出てきた民族衣装や楽器に目を向けさせ、韓国の文化について興味をもたせる。					【用意する物】
10：00	講師の先生 来校（北門：車で用具の搬入あり） ※衣装体験児童は、体育着に着替える。					控室：特活室 → 案内（乙崎） → 楽器運び（野口） → 児童管理 （黒川・池山・澤谷）
10：20	体躯官へ移動 ＜持ち物＞探検バッグ、筆記用具、ワークシート					
10：30	●はじめの会（体育館） 担当：乙崎？黒川T？、実行委員 ・あいさつ ・講師紹介 ・大型紙芝居「フンプとノルプ」？・・・教師が鬼役で登場する。					【用意する物】 ・マイク ・長机 ・お面、金棒
10：55						○担当者が各活動場所へ誘導
11：00	●グループ活動①（11：00～11：25）					○後半の場所へ移動する。
	言葉（3年4組） 35名 乙崎	衣装（3年5組） 20名 澤谷	楽器（特活室） 20名 野口	遊び（体育館） 35名 黒川	ユンノリ（多目的ホール） 35名 池山	
11：25	・ハングル文字について知る体験	・民族衣装（チマチョゴリ・パチチョゴリ）を着る体験	・韓国朝鮮の打楽器演奏	・韓国朝鮮の昔のあそび体験		
11：30	●グループ活動②（11：30～11：55）					
	言葉（3年4組） 35名 乙崎	衣装（3年5組） 20名 澤谷	楽器（特活室） 20名 野口	遊び（体育館） 35名 黒川	ユンノリ（多目的ホール） 35名 池山	
11：55	・ハングル文字について知る体験	・民族衣装（チマチョゴリ・パチチョゴリ）を着る体験	・韓国朝鮮の打楽器演奏	・韓国朝鮮の昔のあそび体験		

12:00	●おわりの会（体育館） 担当：乙崎？黒川 T？、実行委員 ・ 感想発表 ・ 講師の先生からの言葉（メッセージ） ・ お礼のことば ・ あいさつ	
12:15		
事後指導	・ 体験学習で学んだことを、体験していない児童に伝える。（伝え合う） ・ 国語で他国民話のポップ作り？（色々な国の民話や昔話のおもしろさを友達に紹介する）	

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 /FAX 学校名 [川崎市立大戸小学校]

担当教諭名 [花村 奈三恵] 校長名 滝澤 純子

1. 実施日時 : 2025 年(令和 7 年) 10 月 17 日(金曜日)

実施時間帯 : 午前 10 時 50 分 ~ 11 時 35 分

教科・単元名 [総合的な学習の時間 ・ みんなに届け!これが大戸の菊だ!!]

2. 対象児童生徒 学年 [5 年] 約 126 名

その他 []

3. 車の搬入口 正門

4. 活動のねらい(単元目標)

いろいろな国ではどのように菊と関わっているのか比べながら、大戸の菊の魅力を探究する。

5. 活動の流れ(展開)

① (10 : 50 ~ 10 : 53) 全体会 場所 : 4階ホール

進行(総合実行委員)

・ 講師の方の自己紹介

② (10 : 53 ~ 11 : 13) コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
担当 田中 雄大	フランス	5-2 教室	・
担当 徳田 恭子	ベトナム	5-3 教室	・
担当 松木 隆幸	マレーシア	5-4 教室	・
			・
			・
			・

③ (11 : 15 ~ 11 : 35) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④それぞれの場所で御礼の言葉、おわりの挨拶

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動

地域に住んでいる菊花会（菊を育てている方々）に、菊の育て方を教えてもらいながら、なぜ、菊花会の皆さんは、菊を育てているのか、地域の人に菊を見てどう思っしてほしいのかを探求している。その中で、11月にある菊花展に人を呼んで、菊の魅力を知ってもらいたいという思いが生まれ、菊花展に人を呼ぶためのPR動画を作成した。いろいろな立場の人に動画を見ていただき、菊の魅力を伝えたいという思いをもっている。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:50	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。 ・総合実行委員会が司会・進行していく。
10:53 ～ 11:13	2. グループにわかれて活動する。 ①フランスグループ（担当：田中） ②ベトナムグループ（担当：徳田） ③マレーシアグループ（担当：松木） ・自分たちが作った菊花展（大戸神社で行われている菊の展覧会）についての菊の動画を見てもらう（8分程度） ・動画の感想をいただきながら、講師の方の国では、菊とどんな関わりがあるのかのお話を聞く。 ・活動場所の移動（移動時間は2分）	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
11:15 ～ 11:35	・後半グループで2～3を行う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

・事後の活動

各クラスで、教えてもらったことを共有し、大戸の菊と他国の菊を比べながら、魅力を伝えるうえで何が大切かを考え、たくさんの人に知ってもらうために、大戸の菊のPR動画（第2弾）を作っていく。

2025年(令和7年) 月 日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-777-5103 /FAX 044-799-9319 学校名〔川崎市立下小田中小学校〕

担当教諭名〔和田 英子〕 校長名 安斎 陽子

1.実施日時 : 2026年(令和8年) 1月 22日(木曜日)

実施時間帯 : 午前 10時 45分 ~ 12時 15分

教科・単元名〔総合 ・ ぼくのわたしの知らない世界 ~世界の国を調べよう~ 〕

2.対象児童生徒 学年〔3年〕 約190名

その他〔 〕

3.車の搬入口 下小田中小学校 西門

4.活動のねらい(単元目標)

- ・世界の国々について、教科の学習や体験をふまえて自分なりの課題を設定することができる。
- ・自分の課題について調べたり、体験したりして解決することができる。
- ・友達と協力して取り組んだり、まとめた内容をわかりやすく伝えたりすることができる。
- ・他国の文化について知り、日本の文化、生活について考えをもつことができる。

5.活動の流れ(展開)

①(10:45 ~ 10:50)全体会 場所: 体育館

・講師の方の自己紹介

②(10:55 ~ 11:25)コーナーにかかれたのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
講師	音楽(楽器)	視聴覚室	39・39
講師	民族衣装	パンジー1	25・25
	遊び	体育館	31・31
	遊び	体育館	31・31
	遊び	体育館	32・32
講師	言葉	特別活動室	32・32

③(11:30 ~ 12:00)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(12:05 ~ 12:15)全体会 場所: 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先:教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動

国語で「三年とうげ」を学習し、他国の民話に興味をもっているいろいろな国の民話読む活動をする。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：45	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・総合実行委員会が司会・進行していく。
10：55 ～ 11：25	2. グループにわかれて活動する。 音楽グループ（担当：和田） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 民族衣装グループ（担当：中臣・中村） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ（担当：石崎・西方・小山） ・韓国の伝承あそびをやってみる。 民話・ことばグループ（担当：原） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・民話を聞かせていただく。	・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。 ・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。
(5分間)	3. 学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。	・各グループでふりかえりをする。
11：30 ～ 12：00	・活動場所の移動（移動時間は5分） ・後半グループで2～3を行う。	・移動で困っている児童はいないか確認する。
12：05	4. 学年全体で今日の感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

・事後の活動

提出書類①

世界の国々について知りたいことなど、教科の学習や体験をふまえて自分なりの課題を設定する。その後、調べ学習をし、まとめ、友達に伝合う。

提出書類②

2026年1月22日(木)

韓国・朝鮮楽器等借用書

校種・学校番号
小学校・50

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 川崎市立下小田中小学校

校長名 安齋 陽子

担当者名 和田 英子

借用期間	2026年1月21日(水)～2026年1月22日(木)
借用希望日時	2026年1月21日(水)～ 年 月 日()
返却希望日時	2026年1月22日(木)～ 年 月 日()
借用物品 (品名・数量)	●楽器 ■チャンゴ 13 台 ■ソゴ 3 台 ■ブク 2 台 ■チン 1 台 ■ケンガリ 1 台 ●遊び道具 ■コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース ■トゥホ 全て 台 ●衣装 ■男子衣装 1ケース ■女子衣装 2ケース ※ バチ(チェ)・矢等の数を事前にご確認ください。
使用目的	子ども達が、他国の音楽や遊び、文化にふれることで、世界の国々について興味をもち、教科の学習や体験をふまえて自分なりの課題を設定すること。
その他 特記事項 (他校との調整等)	高津小(1/20 使用)⇒借りる 持って行く⇒橘小(1/26 使用)

※多文化交流KFV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要
提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書

校種・学校番号

小学校・50

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 川崎市立下小田中小学校

校長名 安齋 陽子

担当者名 和田 英子

借用期間	2026年1月21日(水)～2026年1月22日(木)
返却日	2026年1月22日(木)
借用物品 (品名・数量)	●楽器 □チャンゴ 10 台 □ソゴ 3 台 □プク 2 台 □チン 1 台 □ケンガリ 1 台 ●遊び道具 □コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース □トゥホ 2 台 ●衣装 □男子衣装 1ケース □女子衣装 2ケース ※ バチ(チェ)・矢等の数を事後にご確認ください。
使用物品 の状況	■ 異常なし □ 異常あり...□破損 □汚れ □紛失 □その他 () それは...□最初からあった □今回生じた 対処は...□修繕した(クリーニングした) □その他 ()
その他 特記事項 (他校との調整等)	チャンゴは13台かりる予定だったが、前の学校から届いた数が10だったため借用書とは異なる台数になっています。

※多文化交流KFV・川崎市国際交流協会を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025年(令和7年) 10月 23日

校種・学校番号

小・51

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ
電話 766-2236 / FAX 799-9316がっこうめい
学校名 [川崎市立新城小学校]たんとうきょうゆめい
担当教諭名 [浦 順子] こうちやうめい
校長名 [辰口 直美]じっしにちじ
1. 実施日時 : 2025年(令和7年) 10月 23日 (木曜日)じっしじかんたい
実施時間帯 : 午前 10時 30分 ~ 12時 10分きょうか たんげんめい
教科・単元名 [総合的な学習の時間 ・ 世界となかよし]たいしょうじどうせいと
2. 対象児童生徒 学年 [1 2 ③ 4 5 6 年] 約 135名
その他 []くるま はんにゆうぐち
3. 車の搬入口 正門かつどう たんげんもくひょう
4. 活動のねらい(単元目標)いろいろな国の生活や文化について知ることそれぞれの国のよさに気づき、その国の文化を大切にする
ことができるようにする。かつどう なか てんかい
5. 活動の流れ(展開)

① (10:30~10:40) 全体会 場所: 体育館 ・進行(おもてなし実行委員)

こうし かな じ こうしょうかい
・講師の方の自己紹介

による中国の民謡鑑賞 ※ピアノの準備(小寺)

② (10:40~11:15) コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

たん どう 担当 講師のお名前	ない よう 内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	かつどうばしょ 活動場所 音楽室など	じどう せいとにんすう 児童・生徒人数 前半・後半
	かんこく ちょうせん 韓国・朝鮮(あいさつ・遊び)	たいいくかん 体育館	45人 ぜんはん こうはん 前半・後半
	ちゅうごく 中国(あいさつ・衣食住)	とくべつかつどうしつ 特別活動室	45人 ぜんはん こうはん 前半・後半
	ブラジル(あいさつ・衣食住)	3年4組教室	45人 ぜんはん こうはん 前半・後半
			.
			.
			.

③ (11:20~11:55) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (12:00~12:10) 全体会 場所: 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

・事前の活動

・道徳「マサラップ」（国際理解）

⇒他国の人と仲良くなるために大切なことを考え、他国のものに親しみ、関心をもとうとする。

・給食の他国文化の献立スライド

・社会「店ではたらく人と仕事」（商品はどこから）

⇒スーパーの食べ物がどこの国から来たのかを調べ、地図で国の場所を確認していくことで、日本とのつながりに気付く。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30 ～ 10:35	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・ による中国の民謡を鑑賞	・最初の出会いを大切にする。 ・おもてなし実行委員が司会・進行をする。 ・ピアノの準備
10:40 ～ 11:15	2. グループにわかれて活動する。 前半 韓国・朝鮮グループ【体育館】（担当：小寺） ・韓国・朝鮮のあいさつの言葉を教わる。 ・伝承遊び3種類（コンギ、チェギ、ユンノリ）をやってみる。 中国グループ【特別活動室】（担当：浦） ・中国のあいさつの言葉を教わる。 ・衣食住についての話を聞く。 ブラジルグループ【3年4組】（担当：村田） ・ブラジルのあいさつの言葉を教わる。 ・衣食住についての話を聞く。 ※グループの入れ替え（5分） 後半 前半と同じの流れ	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 韓国・朝鮮 ・体育館を遊びごとに3つのコーナーに分ける。 ・コーナー名を貼ったコーンを置く。 中国 ・テレビ、GIGA 端末を準備し、スライドが使えるようにしておく。 ・ホワイトボード、マグネット10個くらい準備 ブラジル ・テレビ、GIGA 端末を準備し、スライドが使えるようにしておく。 ・地図・地球儀の準備
11:20 ～ 11:55		・ワークシートを準備し、必要なときにメモがとれるようにする。
12:00	3. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・実行委員の司会で終わりの会をする。 ・今日学んだ他国の言葉のあいさつで「ありがとう」「さようなら」が言えるようにしたい。
12:10		

・事後の活動

- ・各クラスでふり返りをし、体験していない友達に学んだことを教えて興味・関心を広げられるようにする。
- ・この体験をきっかけに、その国のことをもっと知りたい、他の国のことも知りたいという思いをもち、探究活動につなげていく。

提出書類①

2025年(令和 7 年) 11 月 5 日

校種・学校番号

小学校・52

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ
電話 044-777-6412 /FAX 044-799-9318

がっこうめい
学校名〔 川崎市立大谷戸小学校 〕

たんとうきょうゆめい
担当教諭名〔 竹井 麻衣 〕

こうちょうめい
校長名 緑川 葉子

じっしにちじ
1. 実施日時 : 2025 年(令和 7 年) 12 月 4 日(木曜日)

じっしじかんたい
実施時間帯 : 午前・午後 10 時 30 分 ~ 12 時 15 分

きょうか たんげんめい
教科・単元名〔 総合的な学習の時間・世界の国へ こんにちは 〕

たいしょうじどうせいど
2. 対象児童生徒 学年〔 1 2 ③ 4 5 6 年 〕 約 140 名
その他〔 〕

くるま はんにゆうぐち
3. 車の搬入口 東門

かつどう たんげんもくひょう
4. 活動のねらい(単元目標)

日本と身近な国々に関心をもち、その国の文化に触れる中で、楽しみながら異文化への理解を深める。

かつどう なか てんかい
5. 活動の流れ(展開)

① (10 : 30 ~ 10 : 55) 全体会 場所 : アリーナ

進行(「総合的な学習の時間」実行委員)

じこしょうかい
・講師の方の自己紹介

さんねん よ き じゅんび
・「三年とうげ」の読み聞かせ(TV・PCの準備)

② (11 : 00 ~ 11 : 25) コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

たん どう 講 師 講師のお名前	ない よう 内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	かつどうばしょ 活動場所 音楽室など	じどう せいとにんずう 児童・生徒人数 前半・後半
担当 : 鈴木	伝承遊び	アリーナ	35・35
担当 : 新井	打楽器体験	視聴覚室	20・20
担当 : 坂井	衣装	多目的教室	20・20
担当 : 田中	ことば	3-1	30・30
担当 : 竹井	ユンノリ	特別活動室	35・35
			.

③ (11 : 30 ~ 11 : 55) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (12 : 00 ~ 12 : 15) 全体会 場所 : アリーナ

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先 : 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

展開例 6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動

国語の「三年とうげ」を読み、韓国の物語の面白さを知る。

韓国、朝鮮について調べる。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。
11:00	2. グループにわかれて活動する。（前半） 音楽グループ （担当：新井） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 民族衣装グループ （担当：坂井） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ （担当：鈴木） ・韓国の伝承あそびをやってみる。 ことばグループ （担当：田中） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ユンノリグループ （担当：竹井） ・韓国式のすごろくの遊び方を知り、日本で遊ばれるすごろくとの違いを感じる。	・総合学習実行委員会が司会・進行していく。 ・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・視聴覚室で活動する。 ・多目的室で活動する。 ・アリーナで活動する。 ・3-1の教室で活動 ・特別活動室で活動する。
11:30	3. グループに分かれて活動する。	
12:00	4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

・事後の活動

体験したり、調べたりしたことから発表のテーマを決める。グループごとに発表する内容を決め、計画・準備を行う。発表会を行う。

提出書類①

校種・学校番号
小・53

2025年(令和7年)6月 12日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-711-5553 /FAX 044-711-5554 学校名〔 川崎市立小杉小学校 〕

担当教諭名〔 名取 春来 〕 校長名 山田 朗生

1.実施日時 : 2025年(令和7年) 7月 3日(木曜日)

実施時間帯 : 午前 10時30分 ~ 12時05分

教科・単元名〔 外国語活動 ・ Let's Try 1 I like blue. すきなことをつたえよう 〕

2.対象児童生徒 学年〔 3 年 〕 158 名

その他〔 〕

3.車の搬入口 正門側

4.活動のねらい(単元目標)

いろいろな国の人となかよくなって、多文化を楽しもう。

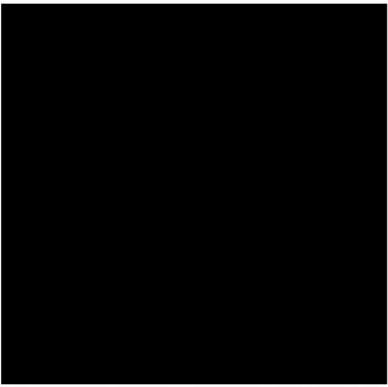
5.活動の流れ(展開)

①(10:30~10:32)全体会 場所: 3-5(リモート)

進行(ふれあい事業実行委員) 講師の紹介(詳しい紹介は、各コーナーで行います。)

・講師の紹介を担当から行います。子ども一人ひとりが講師の方に自己紹介することを考えているので、各コーナーに行ったら自己紹介をさせていただきます。

②(10:35~11:15)コーナーにかてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	子どもたちとの自己紹介 タイム 文化紹介と遊び	3-3 廊下	52・52 ※多少の増減があります。
	子どもたちとの自己紹介 タイム 文化紹介と遊び	3-2	52・52 ※多少の増減があります。
	子どもたちとの自己紹介 タイム 衣食住と遊び	3-4	52・52 ※多少の増減があります。

③(11:20~12:00)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(12:00~12:05)全体会 場所: 3-5(リモート)

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先:教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ

・事前の活動

第3学年指導案 Let's try 1

Unit4 I like blue. すきなものをつたえよう

日時: 令和7年6月11日

場所: 小杉小学校 小杉ホール

2025.6.5公開【2025.6.9一部更新（ の箇所）】

1. 単元について

本単元のゴールは「いろいろな国の人到自己紹介をして、なかよくなる」と設定した。多文化共生事業を活用して、最終時には実際に様々な国籍の講師に自己紹介を行い、互いに仲良くなるために、いろいろな国の人と親しみをもって交流し、多文化を楽しむ心を育成したいと考えている。

また、主体的に活動ができるように、個別最適な学びと協働的な学びの展開を取り入れ、よりよい自己紹介を作ることができるようにした。そのために、これまで学習してきたことを活用できるようにすること、目的意識をしっかりともたせることが必要だと考え、その一助としてクラスルームを活用した。自己紹介については、クラスの友達に向けて行うものと、いろいろな国の人に対して行うものの2回の場面を設定した。

2. 単元の目標

いろいろな国の人となかよくなって多文化を楽しむために、色の言い方や好きなものについての話を聞いたり、自分の好み相手が伝わるように工夫したりしながら話したりする。

<関係する「TRY (CAN-DO) リストの形での学習到達目標>

聞くこと イ好きなものや、色、形の言い方などを聞いて、イラストや写真とむすびつけようとする。

話すこと 発表 イ好きな色や場所について、相手につたわるように工夫しながら友だちに紹介しようとする。

3. 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	色の言い方や好きなものについて、I like (blue)., Do you like (blue) ?, Yes, I do. / No, I don't., I don't like (blue). などの表現を聞くことに慣れ親しんでいる。	いろいろな国の人となかよくなって多文化を楽しむために、色の言い方や好きなものについての話を聞いて意味が分かっている。	いろいろな国の人となかよくなって多文化を楽しむために、色の言い方や好きなものについての話を聞いて意味を分かろうとしている。
話すこと 発表	色の言い方や好きなものについて、I like (blue)., Do you like (blue) ?, Yes, I do. / No, I don't., I don't like (blue). などをを用いて、話すことに慣れ親しんでいる。	いろいろな国の人となかよくなって多文化を楽しむために、自分の好み相手が伝わるように工夫しながら話している。	いろいろな国の人となかよくなって多文化を楽しむために、自分の好み相手が伝わるように工夫しながら話そうとしている。

4. 主な言語材料

主な語彙: like, do, not, don't, too, 色(red, blue, green, yellow, pink, black, white, orange, purple, brown), スポーツ(soccer, baseball, dodgeball, swimming), 飲食物(ice cream, pudding, milk, orange juice), 果物・野菜(onion, green pepper, cucumber, carrot), rainbow

主な表現: I like (blue)., Do you like (blue) ?, Yes, I do. / No, I don't., I don't like (blue).

[既出] 挨拶・自己紹介, 状態・気持ち

提出書類①

5. 各単位時間の目標と主な言語活動

時	目標◆ 主な活動内容○	評価		
		知	思	態
第1時	いろいろな国の人となかよくなるために、じこしょうかいをつくろう ◆本単元の見通しをもち、色の言い方に慣れ親しみ、好きなものを表す表現を知る。 ○初めて会う人にどのようなことを話すとよいか考える。 ○好きなものを伝える学習計画を立てる。 ○絵本「I Like It When...」の読み聞かせを聞いて、好きなものを表す表現に慣れ親しむ。 ○【Let's Chant】 【The Rainbow Song】 ○【Let's Listen 1,2】			
第2時	◆友達と好きかどうかを尋ねたり答えたりする活動を通して、好みを聞くことに慣れ親しんでいる。 ○絵本「THE VERY HUNGRY CATERPILLAR」の読み聞かせを聞いて、色や食べ物の言い方を知る。 ○スポーツや食べ物の言葉を知る。 ○【The Rainbow Song】 【Let's Chant】 ○【Let's Play】 友だちと好きかどうかを尋ねたり答えたりする。	聞		
第3時	◆友達に好みを伝える活動を通して、好みを紹介する表現の意味が分かり、自分の好みを紹介することに慣れ親しんでいる。 ○【Activity 2】 ○自分の好みを友達に伝える。 ○友達に発表して、よかったところを伝え合う。	話発	聞	聞
第4時	◆クラスの友達に、自分の好みが相手に伝わるように工夫しながら紹介する。 ○【The Rainbow Song】 ○【Let's Chant】 ○クラスみんなに、自己紹介をする。 ○【Let's Watch and Think 1】の映像を見て、世界の子どもたちとの違いを知り、色々な国の人と関わる意欲を高める。		話発	話発
第5時 多文化 共生事 業当日	いろいろな国の人にじこしょうかいをして、なかよくなろう ◆いろいろな国の人に、自分の好みが相手に伝わるように工夫しながら紹介する。 ○いろいろな国の人に、自分の好みを伝える。 ○様々な国の文化を体験をする。		話発	話発

本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けての指導は行う。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：30	1. はじめの会を行う。3-5 名取 ・今日の時間、活動の確認をする。 ・あいさつ ・講師紹介	・最初の出会いを大切にする。
10：35	2. 自己紹介タイムを各教室で行ったあと活動する。 ○自己紹介タイムの内容 ・クラスごとに児童一人一人が、スライドを見せながら講師の先生に自己紹介をする。 ・講師の先生に自己紹介をしていないクラスは、待っているクラス同士で、あいさつをする。 【前半】 ＜韓国グループ①・②＞ 3-3と廊下 斎藤 江崎 ・韓国の文化について知る ・韓国の遊びを楽しむ ＜ケニアグループ＞ 3-2 樋口 ・ケニアについて知る。 ＜ブラジルグループ＞ 3-4 宮原 ・ブラジルの文化について知る。	・講師の先生に一人ずつあいさつができるように、誘導する。 ・それぞれの国の言語や文化を知り、日本との相違点に気づくことができるようにする。 ・PC準備、机は下げる。 ・GIGA端末とプロジェクター、世界地図と地球儀を用意する。 ・GIGA端末とプロジェクター、世界地図と地球儀を用意する。
11：15	前半終了 ・前半グループはあいさつをして、次の活動場所に移動する。 ・体験したことをワークシートにまとめをして待つ。	
11：20	後半開始 【後半】 ・前半同様に活動する。	
12：00	後半終了 活動を行い、体験したことをワークシートにまとめ、終わりの会の準備をする。 3. 終わりの会の準備をする。3-5 名取 ・今日の学習をふりかえり、感想やお礼の言葉を伝える。	・体験を通して伝えたことをまとめるよう促す。
12：05	・活動終了	・感謝の気持ちを伝え、これから違いを認め合う気持ちを育む。

・事後の活動

活動を通して、培った違いを認める力を活かし、今後の外国語活動に活かす。Unit5 What do you like? の学習で、多文化事業で学んだことを活かし、もっと友だちのことを知るために、他の英語表現を知り、より友だちとの仲を深める意欲につなげる。

2025年(令和7年) 8月 27日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-777-0842 /FAX 044-799-9302 学校名(川崎市立子母口小学校)

担当教諭名(幸長 史織) 校長名 南谷 隆行

1.実施日時 : 2025年(令和7年) 9月25日(木曜日)

実施時間帯 : 午前 10時 30分 ~ 12時 15分

教科・単元名(総合的な学習の時間 ・ 外国の文化を知ろう!)

2.対象児童生徒 学年(3 年) 約 180 名

その他()

3.車の搬入口 正門よりお入りください。お手数ですが、到着の際にインターフォンを押してください。

4.活動のねらい(単元目標)

外国の文化に触れ、様々な文化に興味をもつとともに、韓国・朝鮮の文化を理解する。

5.活動の流れ(展開)

①(10:30 ~ 10:55)全体会 場所: 多目的ホール

進行(ふれあい文化体験実行委員)

・講師の方の自己紹介

・「フンブとノルブ」(大型紙芝居の読み聞かせ)

②(11:00 ~ 11:25)コーナーにかかれたのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	伝承遊び① (ペンイ・チェギチャギ)	多目的ホール	45・45
	伝承遊び②(ユンノリ)	3-4	36・36
	民族衣装	3-2	20・20
	言葉	3-3	35・35
	伝統舞踊(カンガンスルレ)	ランチルーム	44・44

③(11:30 ~ 11:55)コーナーに分かれたのワークショップ(後半)

④(12:00 ~ 12:15)全体会 場所: 多目的ホール

6 活動の流れ

・事前の活動

<探究活動1>川崎市について調べる学習を通して、絵地図づくりに取り組み、川崎市について知る。

<探究活動2(前半)>川崎市の姉妹都市について知り、韓国・朝鮮文化体験を通して外国の文化に触れ、韓国・朝鮮の文化を理解する。

・当日の活動

時間	活動の流れ(展開)	教師の支援と留意点
----	-----------	-----------

提出書類①

校種・学校番号
小・054

12:00	学習のふりかえり（後半）をする。 ・ふりかえりカードに記入する。 4. 学年全体で今日の活動についての感想を出し合う。 ・感想発表 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ	・各グループでふりかえりをする。 ・多目的ホールに集合し、実行委員会の司会・進行で終わりの会をする。
-------	---	--

・事後の活動

＜探究活動2（後半）＞韓国・朝鮮文化体験を通して外国の文化に触れ様々な文化に興味をもち、川崎市の姉妹都市について調べる学習を通して、各国の伝統や文化について理解する。

＜探究活動3＞様々な文化的背景をもつ人々とよりよく生きるための方法について考え、学んだことを家庭や地域に発信する。

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025年(令和7年)12月26日

校種・学校番号

小学校・55

たぶんかきょうせい

じぎょうけいかくしよ

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ

電話 044-766-4503

/FAX 044-799-9304

がっこうめい

学校名 [川崎市立橋小学校]

たんとうきょうゆめい

担当教諭名 [奥田 由紀子]

こうちょうめい

校長名 (中尾 由美子)

1. 実施日時 : 2026年(令和8年)1月26日(月曜日)

実施時間帯 : 午前10時50分 ~ 12時25分

教科・単元名 [.]

2. 対象児童生徒 学年 [1 2 3 4 5 6 年] 約 136 名
その他 []

3. 車の搬入口 アリーナ門

4. 活動のねらい(単元目標)

世界の文化に対する興味・関心を高め、その理解を図る。

5. 活動の流れ(展開)

① (10:50 ~ 11:05) 全体会 場所: アリーナ

実行委員による進行・講師の方の自己紹介

・「三年とうげ」の読み聞かせ(TV・PCの準備)

② (11:10 ~ 11:35) コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

担当 講師のお名前	内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
奥田	音楽	特別活動室	20・20
酒井	伝承遊び	アリーナ	60・60
玉野	民族衣装	3の1教室	20・20
飯村	言葉・文化	3の2教室	35・35
			.

③ (11:40 ~ 12:05) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (12:10 ~ 12:25) 全体会 場所: アリーナ

実行委員による進行・感想交流

・お礼の言葉と挨拶

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動

国語「三年とうげ」の学習を通して、韓国の文化や世界の民話や昔話に興味・関心を高める。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:50	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・「三年とうげ」の読み聞かせ	・最初の出会いを大切にしたい。 ・実行委員が司会・進行していく。
11:10 前半	2. グループにわかれて活動する。 音楽グループ （担当：奥田） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
11:40 後半	・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 伝承遊びグループ （担当：酒井） ・韓国の伝承あそびをやってみる。 民族衣装グループ （担当：玉野） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 ことば・文化グループ （担当：飯村） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・韓国の礼儀作法について知る。	・特別活動室→音楽グループ 体育館→伝承遊びグループ 3の1教室→民族衣装グループ 3の2教室→ことば・文化グループ ・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなという気持ちをもたせたい。
12:15	3. 学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。 4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。 ・各グループでふりかえりをする。 ・実行委員の司会で、終わりの会をする。

・事後の活動

振り返りや講師の先生への手紙を書く。

韓国の文化について、分かったことを伝える機会をもつ。

世界の民話や昔話を読む機会をもつ。

提出書類②

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025年 12月 26日(金)

韓国・朝鮮楽器等借用書

校種・学校番号

小学校・55

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 川崎市立橘小学校

校長名 中尾 由美子

担当者名 奥田 由紀子

借用期間	2026年 1月 23日(金)～ 2026年 1月 30日(金)
借用希望日時	年 月 日()～ 年 月 日()
返却希望日時	2026年 1月 30日(金)～ 年 月 日()
借用物品 (品名・数量)	●楽器 ☒チャング <u>13</u>台 ☒ソゴ <u>3</u>台 ☒プク <u>2</u>台 ☒チン <u>1</u>台 ☒ケンガリ <u>1</u>台 ●遊び道具 ☒コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ <u>1</u>ケース ☒トゥホ <u>2</u>台 ●衣装 ☒男子衣装 <u>1</u>ケース ☒女子衣装 <u>2</u>ケース ※ パチ(チェ)の数を事前にご確認ください。
使用目的	・多文化共生ふれあい事業で、グループごとに分かれて活動する際に使用し、世界の文化に対する興味・関心を高め、その理解を図る。
その他 特記事項 (他校との調整等)	1月22日(木)か23日(金)に下小田中小から、届けてもらうことになっています。

※多文化交流 KfV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書

川崎市教育委員会事務局教育政策室
人権・多文化共生教育担当課長 様

校種・学校番号
小学校・55

学校名 川崎市立橘小学校

校長名 中尾 由美子

担当者名 奥田 由紀子

借 用 期 間	2026 年 1 月 22 日 (木) ~ 2026 年 1 月 28 日 (水)
返 却 日	2026 年 1 月 28 日 (水)
借 用 物 品 (品名・数量)	●楽器 ■チャンゴ 10 台 ■ソゴ 3 台 ■プク 2 台 ■チン 1 台 ■ケンガリ 1 台 ●遊び道具 ■コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1 ケース ■トゥホ 2 台 ●衣装 ■男子衣装 1 ケース ■女子衣装 2 ケース ※ バチ (チェ) の数を事後にご確認ください。
使 用 物 品 の 状 況	■異常なし ☐ 異常あり…☐破損 ☐汚れ ☐紛失 ☐その他 () それは…☐最初からあった ☐今回生じた 対処は…☐修繕した (クリーニングした) ☐その他 ()
そ の 他 特 記 事 項 (他校との調整等)	

※多文化交流 KFV・川崎市国際交流協会を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

提出書類①

2025 年(令和 7年) 12月 24日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-877-6565 /FAX 044-855-2052

学校名〔 川崎市立新作小学校 〕

担当教諭名〔 今野 智恵 〕 校長名 高木 栄二

1.実施日時 : 2026 年(令和 8年) 1月 22日(木曜日)

実施時間帯 : 午前 10 時 45 分 ~ 12 時 15 分

教科・単元名〔 国語 ・ スーホの白い馬 〕

2.対象児童生徒 学年〔 2 年 〕 約 101名

その他〔 〕

3.車の搬入口 車の使用なし

4.活動のねらい(単元目標)

モンゴルの物語を通じて、自国以外の文化にふれあう。

5.活動の流れ(展開)

①(10: 45 ~ 11: 15)全体会 場所: 多目的室

- ・講師の方の紹介
- ・モンゴルの文化紹介
- ・馬頭琴の演奏、踊りの紹介

②(11: 20 ~ 11: 40)コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
講師の方2名	踊りの体験	音楽室	(1組 34名) (2組 17名)
	遊びの体験 (ジャガイで競馬遊び)	多目的室	(3組 35名) (2組 16名)

③(11: 45 ~ 12:05)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(12: 10 ~ 12:15)全体会 場所: 多目的室

- ・感想交流、児童のお礼の言葉

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先:教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ

・事前の活動 「スーホの白い馬」を読み、初発の感想をもつ。（ノートに書く）

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：15	0. 講師来校 ・今日の時間、活動を確認する。	・徒歩で来校。職員玄関から新校舎4階の多目的室前の相談室までご案内する。鍵をお渡しし、更衣室として使ってください。（級外の職員）
10：45 ～ 11：15	1. 全体ではじめの会をする。（多目的室） ・講師の方の紹介 ・モンゴルの文化紹介（動画） ・馬頭琴の演奏、踊りの紹介	・モンゴルの動画を視聴する。 ・準備物 （PC、アイパッド用ケーブル、テレビモニター、長机、ポータブルマイク、アンプ）
11：20 ～ 11：40 （20分）	2. 2グループに分かれて活動する。 <u>踊りの体験グループ</u> （担当：[REDACTED] （[REDACTED]） （場所：音楽室） ・踊りの体験をする。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・モンゴルという国に興味を持たせ、日本と違うところ、似ているところを考えさせる。国語の読み取りにつなげたい。
11：45 ～ 12：05 （20分）	交代する <u>伝承遊びグループ</u> （担当：[REDACTED] （場所：多目的室） ・ジャガイで競馬をやってみる。	
12：10 ～ 12：15	3. 多目的室に集まり、終わりの会をする。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。 （実行委員）	・5人×10グループ

・事後の活動 ワークシートに振り返りをかく。

提出書類①

2025 年（令和 7 年） 10 月 15 日

校種・学校番号
小学校・59たぶんかきょうせい じぎょうけいかくしよ
多文化共生ふれあい事業計画書でんわ 電話 044-822-2341 /FAX 044-822-1663 学校名〔 川崎市立坂戸小学校 〕
たんとくきょうゆめい 担当教諭名〔 本田 小百合 〕 こうちようめい 校長名 押田 春美じっしにちじ 1. 実施日時 : 2025 年（令和 7 年） 11 月 13 日（木曜日）
じっしじかんたい 実施時間帯 : 午前 10 時 25 分 ~ 12 時 10 分
きょうか たんげんめい 教科・単元名〔 総合的な学習の時間・世界の国からこんにちは 〕たいしやうじどうせいど 2. 対象児童生徒 学年〔 3 年 〕 約 145 名
その他〔 〕

くるま はんにゆうぐち 3. 車の搬入口 車両門

かつどう 4. 活動のねらい（単元目標）

ちかくのくにぶんかふれ きやうみ たの かつどう
近くの国の文化に触れ、興味をもって楽しく活動する。かつどう なか てんかい
5. 活動の流れ（展開）

①（ 10:25 ~ 10:50 ） ぜんたいかい ばしよ 全体会 場所： 体育館

進行（実行委員）

・講師の方の自己紹介

・川崎市ふれあい館 大型紙芝居（赤手ぬぐいのおくさんと七人の仲間）

②（ 10:55 ~ 11:20 ） コーナーに分かれてのワークショップ（前半）

たん とう 講師のお名前	ない いう 内 容 がっき いしやう あそび こたば ことば 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	かつどうばしよ 活動場所 おんがくしつ 音楽室など	じどう せいとじんすう 児童・生徒人数 ぜんはん こうはん 前半・後半
	でんしやうあそび 伝承遊び	たいいくかん 体育館	40・40
	あそび 遊び	たいいっかん 視聴覚室	30・30
	いしやう 衣装	たもくじきしつ 多目的室	20・20
	ことば 言葉	3 年 2 組	35・35
	がっき 楽器	おんがくしつ 音楽室	20・20

③（ 11:25 ~ 11:50 ） コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（ 11:55 ~ 12:10 ） ぜんたいかい ばしよ 全体会 場所： 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6. 当日の流れ

9:55	・多文化共生の方々がご来校・準備。 ・校長室に來訪していただく。 (前日にガムテープの上に前半・後半の活動名を書いたものを右肩に貼らせた体育着を着ていく。)	・車両門を開け駐車場、エレベーターまでの誘導、楽器を運ぶ手伝い (教職員1)(教職員2)
10:15	・児童が廊下に並び移動し、10:20までに体育館にクラスごとに並ぶ。	・各担任、トイレ済ませて場所移動する。
10:25	- 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・民話・・・(赤手ぬぐいのおくさんと七人の仲間)	・最初の出会いを大切にしたいという気持ち伝えておく。 ・実行委員会が司会・進行していく。
10:50	・各場所に移動する。(5分間)	
前半 10:55 ～ 11:20	- グループにわかれて活動する。 音楽グループ(担当:森) ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 民族衣装グループ(担当:関口・他1人) ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・一人2グループ体験できるように行う。 ・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。
11:20	・後半の場所へ移動開始	・机を下げ、掃き掃除をしておく。 ・児童は事前に体操着に着替えておく。 ・GIGA端末でテレビに姿を映して、自身で見られるようにする。
後半 11:25 ～ 11:50	伝承遊びグループ1・体育館(担当:梶原) ・伝承遊びの仕方を教えてもらう。 ・韓国の伝承あそびをやってみる。 伝承遊びグループ2・視聴覚室(担当:本田) ・伝承遊びの仕方を教えてもらう。 ・韓国の伝承あそびをやってみる。 言葉グループ(担当:今井) ・韓国・朝鮮語であいさつをする。 ・簡単なことばや会話を教わり、話をする。 ・ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。	・ハングル文字の拡大コピー、学習用の用紙など、用意できる範囲で準備する。
11:50	・体育館へ移動する。	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。
11:55	- 講師の先生の話 ・講師の先生の思いや願いについて話を聞く。 - 学年全体で今日の発表について質問・感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつをする。	・活動がきっかけになり、他の国についても調べてみたいという思いをもてるように言葉がけなどの支援をする。 ・本時で学んだことを次時につなげるために、振り返りカードに書く。
12:10		

・事後の活動

総合の学習で、多文化文化体験の時、教えていただいたものを保護者に伝える。

(11月29日(土)3・4時間目 土曜参観時)

その後、国やテーマを自分で決めて調べてまとめる。

提出書類①

SAINS-WEBに掲載しています。ご活用ください。

2025年(令和7年) 11月17日

校種・学校番号

小学校・60

たぶんかきょうせい

じぎょうけいかくしよ

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ
電話044-822-9331/FAX 044-822-1674がっこうめい
学校名〔川崎市立久本小学校〕

たんとうきょうゆめい

担当教諭名〔伊勢田 祐司〕

こうちやうめい

校長名 松澤 ゆかり

職印

1. 実施日時 : 2025 年(令和 7年) 12月 10日(水曜日)

実施時間帯 : 午前 10時 20分 ~ 12時 00分

きやうか たんげんめい
教科・単元名〔総合的な学習の時間〕

2. 対象児童生徒 学年〔1 2 ③ 4 5 6 年〕 約 130名

その他〔 〕

くるま はんにやうぐち
3. 車の搬入口 南門4. 活動のねらい(単元目標) 総合的な学習の時間「いろいろな人とふれあおう」
・日本とは異なる文化を知り、その国の人々と関わることを通して、違いを認め合う態度を養う。

5. 活動の流れ(展開)

① (10:20~10:40) 全体会 場所: 体育館

自己紹介 読み聞かせ ()

② (10:45~11:10) コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
(講師)	おんがく 音楽	多目的ルーム	約20名・約20名
(講師)	でんしやうあそび 伝承遊び	体育館	約35名・約35名
(本校教員)	みんぞくいしやう 民族衣装	家庭科室	約20名・約20名 ※各男女10名ずつ
(講師)	ことば ぶんか 言葉・文化	3年生教室	約30名・約30名
(本校教員)	ユンノリ	図工室	約25名・約25名

③ (11:15~11:40) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (11:45~12:00) 全体会 場所: 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:20	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・韓国・朝鮮の民話紹介（三年とうげ）	・最初の出会いを大切にしたい。 ・総合学習実行委員会が司会・進行していく。
10:45	2. グループにわかれて活動する。 音楽グループ （多目的ルーム） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 民族衣装グループ （家庭科室） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ （体育館） ・韓国の伝承あそびをやってみる。 ユンノリグループ （図工室） ・ユンノリを参加者で行う。 民話・ことばグループ （3年1組教室） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 グループ活動（後半）	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなという気持ちをもたせたい。 ・ハングルの拡大コピーなど、用意する。
11:45	3. 学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。 4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・ふたつの体験をふりかえる。楽しかったで終わらず、もっと知りたいたいという思いになれるように促す。 ・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

提出書類②

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025 年 11 月 17 日 (月)

韓国・朝鮮楽器等借用書

川崎市教育委員会事務局教育政策室
人権・多文化共生教育担当課長 様

校種・学校番号

小学校・60

学校名 川崎市立久本小学校

校長名 松澤 中かり

担当者名 伊勢田 祐司

借用期間	2025 年 12 月 9 日 (火) ~ 2025 年 12 月 10 日 (水)
借用希望日時	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()
返却希望日時	2025 年 12 月 10 日 (水) ~ 年 月 日 ()
借用物品 (品名・数量)	●楽器 □チャング <u>13</u> 台 □ソゴ <u>3</u> 台 □プク <u>2</u> 台 □チン <u>1</u> 台 □ケンガリ <u>1</u> 台 ●遊び道具 □コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1 ケース □トゥホ <u>2</u> 台 ●衣装 □男子衣装 1 ケース □女子衣装 2 ケース ※ バチ (チェ) ・ 矢等の数を事前にご確認ください。
使用目的	多文化共生ふれあいの事業の為
その他 特記事項 (他校との調整等)	前日、東生田小学校から直接受け取る予定です。 使用後は、当日センターに返レに行く予定です。

※多文化交流 KfV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

提出書類

④

2025 年 12 月 16 日 (火)

韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書

校種・学校番号

60

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 川崎市立久本小学校

校長名 松澤 中かり

担当者名 伊勢田 祐司

借用期間	2025 年 12 月 9 日 (火) ~ 2025 年 12 月 10 日 (水)
返却日	2025 年 12 月 12 日 (金)
借用物品 (品名・数量)	●楽器 ☐ チャンゴ 13 台 ☐ ソゴ 3 台 ☐ プク 2 台 ☐ チン 1 台 ☐ ケンガリ 1 台 ●遊び道具 ☐ コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1 ケース ☐ トゥホ 2 台 ●衣装 ☐ 男子衣装 1 ケース ☐ 女子衣装 2 ケース ※ バチ (チェ) ・矢等の数を事後にご確認ください。
使用物品 の状況	☐ 異常なし ☐ 異常あり...☐ 破損 ☐ 汚れ ☐ 紛失 ☐ その他 () それは...☐ 最初からあった ☐ 今回生じた 対処は...☐ 修繕した (クリーニングした) ☐ その他 ()
その他 特記事項 (他校との調整等)	12月12日に岡上小学校に搬入しました。

※多文化交流KFV・川崎市国際交流協会を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025年(令和7年) 11月5日

校種・学校番号

小学校 61

たぶんかきようせい

じぎょうけいかくしよ

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 044-822-0723/FAX 044-822-2421 学校名 [しもさくのひらやからこう]

たんとうきようゆめい 担当教諭名 [いわたさとし] 校長名 [大泉 文人]

1. 実施日時 : 2025年(令和7年) 11月26日(水曜日)

実施時間帯 : 午前・午後 10時35分 ~ 12時00分

教科・単元名 [総合, 多文化共生]

2. 対象児童生徒 学年 [1 2 ③ 4 5 6 年] 約 96 名

その他 []

3. 車の搬入口

西門

4. 活動のねらい(単元目標)

いろいろな国の文化を知り、体験活動を通していろいろな国の文化に

5. 活動の流れ(展開)

①(10:35~10:40) 全体会 場所: 多目的室(meet) 親しむ入

例: 進行(ふれあい事業実行委員)

・講師の方の自己紹介

・「三年とうげ」の読み聞かせ(TV・PCの準備)

②(10:45~11:15) コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

担当 講師のお名前	内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	遊び・言葉・文化	3年2組教室	32・32
	国の紹介・パン・ダンス	多目的室	32・32
	国の紹介・文化・食物・ダンス	3年3組教室	32・32
			(人数は未定)
			.
			.

③(11:20~11:50) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(11:55~12:05) 全体会 場所: 多目的室

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

活動の流れ

・単元構想（事後の活動）

いろいろな国の文化の魅力を知ろう

本時から12月

○本日の活動をきっかけに、「3つの国についてもっと知りたい。」「他の国についても知りたいな。」等、いろいろな国のことについて調べていくことで、いろいろな国の文化について関心をもてるようにしていく。

↓

下作延万博（お祭り）を開こう

・準備は、1月から

・1月30日（金）万博当日【本校：かがやき発表 DAY】

○自分たちが調べた国の文化について、工夫して発表することができるようにする。

万博のお客さんは、保護者。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:35	1 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。 ・ゲストティーチャー実行委員が司会・進行していく。
（前半）	3 グループに分かれて活動する。	
10:45 から	韓国グループ（担当：三門）	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
11:15	・伝承あそび ・言葉（言う・書く） ・文化（学校・習慣） フィリピングループ（担当：岩田）	・韓国グループは、3年2組の教室、タイグループは、3年3組の教室、フィリピングループは、多目的教室で行う。
（後半）	・国の紹介 ・バンブーダンス タイグループ（担当：堀越）	・韓国・フィリピン・タイの文化にふれることをきっかけになり、ほかの国についても調べてみたいなという気持ちをもたせたい。
11:20 から	・国の紹介 ・文化 ・食べ物 ・ダンス	・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。
11:55 から	3 学年全体で今日の感想を出し合う ・お礼の言葉とお別れのあいさつ	・実行委員の司会で終わりの会をする。
12:05		

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-822-2630 /FAX 044-822-3884 学校名〔高津小学校〕

担当教諭名〔加賀 恵子〕 校長名〔飯塚 正行〕

1.実施日時 : 2026年(令和 8年) 1月 20日(火曜日)

実施時間帯 : 午前 10時 45分 ~ 12時 00分

教科・単元名〔総合的な学習の時間 「多文化共生」〕

2.対象児童生徒 学年〔3年〕 約 213 名

その他〔 〕

3.車の搬入口

正門

4.活動のねらい(単元目標)

○さまざまな国の文化に興味をもち、その違いやよさを感じ、友好の心を育む。

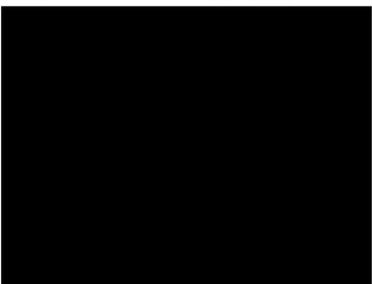
5.活動の流れ(展開)

①(10:45~10:55)全体会 場所:各活動場所(meet)

進行(国際交流実行委員)

- ・講師の方の自己紹介
- ・流れの説明

②(10:55~11:15)コーナーにかかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 言葉・食事・音楽 講演や体験など	活動場所	児童・生徒人数 前半・後半 ※若干の調整あり
	【韓国】 言葉・食文化・歌	音楽室	71・71
	【フィリピン】 食文化・バンブーダンス	視聴覚室	71・71
	【タイ】 国の紹介・食文化・ダンス	2階多目的 ホール	71・71

③(11:20~11:40)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(11:45~11:55)全体会 場所:各活動場所(meet)

※実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先:教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

【事前の活動】

総合「多文化共生」を1月から始める。

道徳「マサラップ」

○高津図書館に依頼して、多数の国の本を50～100冊借り、調べたい国について考える。

【当日の活動】

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：45	1. はじめの会（はじめの活動教室にてMeet） ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・流れの説明	・最初の出会いを大切にしたい。 ・実行委員会が司会・進行していく。
10：55	2. 前半グループにわかれて活動する。 韓国グループ（担当：対馬・坂田） フィリピングループ（担当：葛岡・田辺） タイグループ（担当：茂木・加賀）	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・3教室に別れ、前半後半20分ずつ2カ国体験する。
11：15	前半終了、移動	・各グループでふりかえりをする。
11：20	3. 後半グループに分かれて活動する。	・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。
11：40	後半終了、移動	
11：45	4. おわりの会（2つ目の活動場所にてMeet） ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

【事後の活動】

体験したことを参考に各自調べ学習を行い、兄弟学年の5年生に向けてスライドで発表する。

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-888-0505 /FAX 044-855-2072 学校名 [川崎市立西梶ヶ谷小学校]

担当教諭名 [佐藤 早峰] 校長名 鶴見 悦子

1. 実施日時 : 2025 年（令和 7 年）10 月 3 日（金曜日）

実施時間帯 : 午前 10 時 30 分 ~ 12 時 15 分

教科・単元名 [総合的な学習の時間 ・ 外国の文化を知ろう]

2. 対象児童生徒 学年 [3 年] 107 名

3. 車の搬入口
プール横の門

4. 活動のねらい（単元目標）

異文化に対する理解を深め、学びを広げる。

5. 活動の流れ（展開）

①（ 10:30 ~ 10:55 ）全体会 場所： 多目的教室

進行：総合実行委員

・講師の方の自己紹介

・「三年とうげ」の読み聞かせ（TV・PC の準備）

②（ 11:00 ~ 11:25 ）コーナーにかれてのワークショップ（前半）

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
宿谷 伸吉	遊び	多目的教室	27・27
佐藤 拓	楽器	音楽室	20・20
飯塚 洋平	言葉	3-1 教室	20・20
堂園 将一郎	ユンノリ	3-2 教室	20・20
佐藤 早峰	衣装	3-3 教室	20・20

③（ 11:30 ~ 11:55 ）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（ 12:00 ~ 12:15 ）全体会 場所： 多目的教室

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の 3 週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の 3 週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：30 ～ 10：55	1. 今日の活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・大型紙芝居「三年峠」	・総合学習実行委員会が司会・進行していく。
前半 11：00 ～ 11：25	2. グループにわかれて活動する。 (移動時間：それぞれ5分ずつ) <u>遊びグループ</u> （担当：宿谷） ・伝統的な遊びについて教えてもらう。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
後半 11：30 ～ 11：55	<u>音楽グループ</u> （担当：佐藤拓） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 <u>言葉グループ</u> （担当：飯塚） ・ハングルを教えてもらい、簡単なあいさつや名前の言い方を覚える。 <u>ユンノリグループ</u> （担当：堂園） ・ユンノリのやり方を教えてもらい、楽しく遊ぶ。 <u>民族衣装グループ</u> （担当：佐藤早） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。	
12：00 ～ 12：05	3. 学習のふりかえりをする。 ・後半に活動した教室でふりかえりカードに記入する。 ・時間になったら多目的教室に集まる。	
12：10 ～ 12：15	4. 学年全体で今日の学習について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。



多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-777-6533 /FAX 044-799-9305 学校名〔 川崎市立久末小学校 〕

担当教諭名〔 小路 奈津子 〕 校長名 齊野 保史

1. 実施日時 : 2026年（令和 8 年） 1月 14日（ 水曜日）
実施時間帯 : 午前 10 時 15 分 ～ 12 時 00 分
教科・単元名〔 総合 ・ 世界の様々な国について知ろう！ 〕

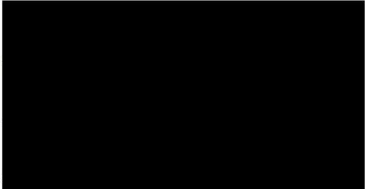
2. 対象児童生徒 学年〔 1 2 ③ 4 5 6 年 〕 約 111 名
その他〔 〕

3. 車の搬入口 正門

4. 活動のねらい（単元目標）
世界の様々な国の文化を調べたり体験したりすることを通して、他者と認め合うことの大切さを感じる。

5. 活動の流れ（展開）
①（ 10:15 ～ 10:20 ）全体会 場所： ギャラリー

②（ 10:25 ～ 11:05 ）コーナーにかれてのワークショップ（前半）

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	国の紹介・小学校の様子	家庭科室	35・35
	国の紹介・ダンス	ギャラリー	35・35
	文化・遊び	特別活動室	35・35
			.
			.
			.

③（ 11:10 ～ 11:50 ）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（ 11:55 ～ 12:00 ）全体会 場所： ギャラリー

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）
実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。
実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。
提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ（展開）

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:15	1. はじめの会をする。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にする。 ・多文化共生実行委員会が司会・進行していく。
10:25 ～ 11:05	2. グループにわかれて活動する。 ①前半 【おおまかな内容】 ・中国（国の紹介・小学校の様子） ・タイ（国の紹介・ダンス） ・韓国（文化・遊び）	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・それぞれの国の文化に触れることをきっかけに、他の国についても調べてみたいという気持ちを促す。
11:10 ～ 11:50	3. グループにわかれて活動する。 ②後半 【おおまかな内容】 ・中国（国の紹介・小学校の様子） ・タイ（国の紹介・ダンス） ・韓国（文化・遊び）	・活動終わり3分くらい前に、質問タイムをとる。
11:55 ～ 12:00	4. 終わりの会をする。 ・感想を発表する。 ・お礼の言葉とあいさつ	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

・事前活動（振り返りや共有、まとめの学習等を具体的に）

2025年(令和7年)

11月

28日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 866-0981/FAX 855-2092 学校名〔 川崎市立南原小学校 〕

担当教諭名〔 米田 伍郎 〕 校長名 平井 育子

1.実施日時 : 2025年(令和7年) 1月 9日(金曜日)

実施時間帯 : 午前 ・ 午後 10時 45分 ~ 12時 15分

教科・単元名〔 総合 ・ 外国の文化を知ろう! 〕

2.対象児童生徒 学年〔 1 2 3 4 5 6 年 〕 約32名

その他〔 〕

3.車の搬入口 通用門

4.活動のねらい(単元目標)

外国の文化に触れる活動を通して、関心を高める。

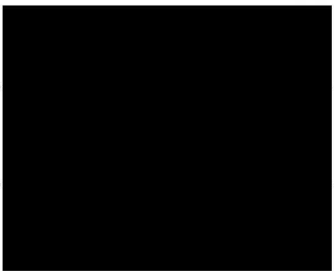
5.活動の流れ(展開)

全体会なし

(10:45 ~ 12:15) コーナーにかれたのワークショップ

①10:45~11:10 ②11:15~11:40 ③11:45~12:10

※3グループでローテーション

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 ①・②・③
	国の紹介、遊び	3-1教室 (2F)	12・10・10
	ダンス、紹介	キラキラルーム (3F)	10・12・10
	国の紹介、ダンス	オレンジルーム (1F)	10・10・12

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先:教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動

「三年とうげ」などの世界の民話や昔話をよむ活動を通して世界の文化について関心を持ち、ベトナム・フィリピン・タイの文化に目を向ける。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:45	1. グループにわかれて活動する。 - それぞれのグループで初めと終わりのあいさつを実行委員中心におこなう。 3グループでローテーション（移動は5分） ① 10:45～11:10 ② 11:15～11:40 ③ 11:45～12:10 ベトナムグループ（2F教室） - 国の紹介 - 遊び フィリピングループ（3Fキラキラルーム） - 国の紹介 - ダンス タイグループ（1Fオレンジルーム） - 韓国の伝承あそびをやるみる。	- 各グループに教員がつき活動がスムーズに進むようにする。 - GIGA端末、TV準備 - トラバー5セット - ホワイトボード、マグネット10 - GIGA端末、TV - ホワイトボード、マグネット10
12:15		

・事後の活動（振り返りや共有、まとめの学習等を具体的に）

外国の文化についての学びを共有する活動を通して、他の国の文化や日本と同じところや違うところなどについて関心をもてるようにする。

提出書類①

校種・学校番号

小学校・69

たぶんかきょうせい じぎょうけいかくしよ
多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ
電話 044-766-2069 / FAX 044-799-9308

がっこうめい かわさきしりつのがわしょうがっこう
学校名 [川崎市立野川小学校]

たんとくきょうゆめい きたむら そら
担当教諭名 [北村 天]

こうちょうめい いとう はじめ
校長名 伊藤 肇 職印

じっしにちじ
1. 実施日時 : 2025 年 (令和 7 年) 10 月 31 日 (金曜日)

じっしじかんたい ごぜん じ ふん
実施時間帯 : 午前 10 時 50 分 ~ 12 時 10 分

きょうか たんげんめい そうごうてき がくしゅう じかん くら にほん せかい
教科・単元名 [総合的な学習の時間・ 比べてみよう日本と世界]

たいしょうじどうせいと がくねん ねん やく めい た しえんきゅうじどう めいふく
2. 対象児童生徒 学年 3 年 約 149 名その他 [支援級児童 8 名含む]

くるま はんにゆうぐち みなみもん がわ もん
3. 車の搬入口 南門 (ローソン側の門です。)

かつどう たんげんもくひょう
4. 活動のねらい (単元目標)

せかい さまざま くに せいかつ ぶんか し
世界には様々な国があり、いろいろな生活や文化があることを知る。

5. 活動の流れ（展開）

①（ 10：50～11：10 ）全体会 場所： 体育館

あいさつ・講師の方の紹介・多文化交流KfVの皆様の自己紹介

活動内容と場所の確認

②（ 11：15～11：35 ）コーナーに分かれてのワークショップ（前半）

児童：前半は、3つの中から1つ。後半は、選んでない2つの中から選ぶ。

講師のお名前 担当	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
 学年の教員	ブラジル ブラジルの衣食住	3年1組	50・50
 学年の教員	フィリピン バンブーダンス	体育館	50・50
 学年の教員	タイ 国の紹介・ダンス	トレーニング ルーム	50・50

③（ 11：40～12：00 ）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（ 12：05～12：10 ）全体会 場所： 体育館 お礼の言葉とお別れの挨拶

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:50 ～ 11:10	1. 今日の時間、活動を確認する。体育館 - あいさつ - 講師の方の自己紹介 - 時間と場所の確認	- 最初の出会いを大切にしたい。 - 教師が司会・進行していく。 ※マイクやプロジェクターの準備職員が事前に行う。
11:15 ～ 11:35	2. 前半グループにわかれて活動する。 フィリピングループ 体育館 - フィリピンの国について教えてもらい、バンブーダンスを一緒にやってみる。 タイグループ トレーニングルーム - 国の紹介や文化、食べ物について教えてもらい、一緒にダンスをおどる。 ブラジルグループ 3-1 - 地図やクイズなどを通して、ブラジルの衣食住について教えてもらう。 5分間で次の場所に移動する。	- 各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 - トイレに行く児童は、担当の職員に声をかけてから行くように伝える。 - 言葉や遊びなどの体験から、ほかの国についても調べてみたいなどという気持ちをもたせたい。
11:40 ～ 12:00	3. 後半グループにわかれて活動する。 教室にいる児童は、体育館に集まる 各クラス2列に並ぶ。	
12:05 ～ 12:10	4. お礼の言葉とお別れのあいさつ。	教師の司会で、終わりの会をする

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025年(令和7年) 8月21日

校種・学校番号

小学校・70

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 電話 044-766-3877 /FAX 044-799-9317

がっこうめい 学校名 [川崎市立西野川小学校]

たんとうきようゆめい 担当教諭名 [後藤 忠史] こうちようめい 校長名 神宮 祥恵

じっしにちじ 1. 実施日時 : 2025年(令和7年) 10月 16日(木曜日)

じっしじかんたい 実施時間帯 : 午前10時45分 ~ 午後12時15分

きょうか たんげんめい 教科・単元名 [総合的な学習の時間・知ろう ふれよう いろいろな国]

たいしょうじどうせいと 2. 対象児童生徒 学年 [1 2 ③ 4 5 6 年] 62名

くるま はんにゆうぐち 3. 車の搬入口 北側にある裏門から入れます。

かつどう 4. 活動のねらい(単目標)

せかい 世界にはたくさんの国があり、日本とは文化や価値観が違うことを知る。

かつどう 5. 活動の流れ(展開)

① (10:45 ~ 12:15) 場所: 3-1教室、 3-2教室、 多目的室

・3つのグループに分かれ、活動を行う。

・それぞれの場所で、実行委員が「始めのあいさつ」「お礼の言葉」「終わりのあいさつ」を行う。

たんとう 講師のお名前	ない 内容 がっき・衣装・あそび・ことば・こうえん 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	かつどうばしょ 活動場所 おんがくしつ 音楽室など	じどうせいとにんすう 児童・生徒人数 ぜんはん こうはん 前半・後半
	ちゅうごく 中国	3-1教室	21・21
	フィリピン	3-2教室	21・21
	かんこく 韓国	たもくてきしつ 多目的室	20・20
			.
			.
			.

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

かつどう なが てんかいれい
活動の流れ（展開例）

じげん かつどう
事前の活動

- ・ ちゆうごく、フィリピン、かんごくのうち2つを選び、3つのグループに分ける。（かつどう1・かつどう2）

とうじつ かつどう
当日の活動

じかん 時間	かつどう なが てんかい 活動の流れ（展開）	きょうし しばん りゆういてん 教師の支援と留意点
10 : 45	活動1 ・ グループ（3つ）に分かれ、かつどう1をおこなう。 ちゆうごくグループ（3－1） フィリピングループ（3－2） かんごくグループ（多目的室） ・ じっこういいんのあいさつの後、かつどうをはじめる。 ・ じっこういいんが、お礼のあいさつをする。	・ 児童を3グループに分ける。 （3－1教室、3－2教室、 多目的室） ・ 各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・ 子どもの持ち物 （探検バック、ワークシート、鉛筆）
11 : 25	・ 次の場所へ移動する。	・ 次の場所への移動を促す。
11 : 30	活動2 ・ グループ（3つ）に分かれ、かつどう2をおこなう。 ちゆうごくグループ（3－1） フィリピングループ（3－2） かんごくグループ（多目的室） ・ じっこういいんのあいさつの後、かつどうをはじめる。 ・ たいけんがくしゅうの感想を伝える。	・ 各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・ 子どもの持ち物 （探検バック、ワークシート、鉛筆）
12 : 10	・ じっこういいんが、お礼のあいさつをする。	
12 : 15	・ しゅうりょう。きょうしつへ戻る。	

じご かつどう
事後の活動

- ・ たいけんしたことをふりかえり（ワークシートに書く）、つたえあう。
- ・ 自分がもっと調べてみたいこと（国、食べ物、遊び、スポーツ、音楽、気候、自然、観光地、特色など）を、
図書・ギガ端末を使ったり、身近な人に聞いたりして調べる。
- ・ 自分の方法（画用紙や模造紙にまとめる、ギガ端末のスライド など）で調べたことをまとめ、発表する。

2025年(令和7年)10月27日

071

多文化共生ふれあい事業計画書

電話044-788-5500/FAX044-799-5962 学校名(川崎市立南野川小学校)

担当教諭名(増井敏雄) 校長名 西村勇一郎

1.実施日時 : 2025年(令和7年)11月 21日(金曜日)

実施時間帯 : 午前 10時30分 ~ 12時 15分

教科・単元名(総合的な学習の時間・世界の文化を知ろう)

2.対象児童生徒 学年 [6 年] 約 74名

その他 []

3.車の搬入口 正門

4.活動のねらい(単元目標)

外国の方々との交流活動を通して、様々な文化を体験する。

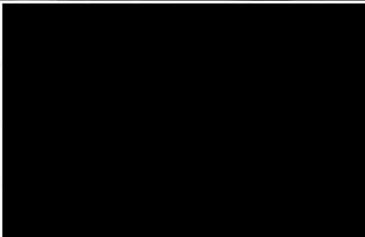
5.活動の流れ(展開)

①(10:30~10:40)開講式 場所:体育館

進行(実行委員)

・講師の方の自己紹介

②(10:45~11:25)コーナーにかてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	バンブーダンス	体育館	18 ・ 18
	チェンズ(蹴鞠風遊び)	体育館	18 ・ 18
	ベンガル語名前を書く	理科室	19 ・ 19
	モンゴルのすごろく	家庭科室	19 ・ 19
			.
			.

③(11:30~12:15)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④全体での閉講式は行わず、それぞれのコーナーで代表がお礼を述べる。(活動時間確保のため)

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動（具体的に、単元構想等も入れてください）

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・控室（校長室）から開講式会場（体育館）へ実行委員が案内する。 ・実行委員会が司会・進行していく。
10：45 ～ 11：25	2. グループにわかれて活動する。 前半グループで①～④の活動をする。 ①フィリピングループ（担当：増井敏雄） ・バンブーダンスのやり方を教えてもらい、一緒に活動する。 ②中国グループ（担当：増井敏雄） ・チェンズのやり方を教えてもらい、一緒に活動する。 ③バングラディッシュグループ（担当：高橋美月） ・ベンガル語で名前を書くことを体験する。 ④モンゴルグループ（担当：高橋美月） ・羊の骨を使った駒で、モンゴルのすごろくゲームを体験する。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・体育館を半分に分けて、①と②を行う。 ・各コーナーの講師から、必要なものを伺っておき、各会場に準備しておく。
11：30 ～ 12：15	・活動場所の移動（移動時間は5分） 3. 後半グループで①～④を行う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつを各コーナーで行う。	・活動時間の確保のため、全体での閉講式は行わず、各コーナーで閉講の式を行う。
13：20	4. 各講師へのお礼の手紙を書く。	・5校時、各教室で感想を含めたお礼の手紙を書く。

提出書類①

・事後の活動（振り返りや共有、まとめの学習等を具体的に）

1. 6学年の総合的な学習のテーマとの関わり

①「和文化を知ろう」「世界の文化を知ろう」の2つのテーマのもとに活動している。

②和文化については、講師を招き次の学習活動を行う。

- ・浴衣の着方 ・和食の食事作法 ・風呂敷の使い方 ・言葉の作法
- ・年中行事の意味と迎え方 ・卒業証書の頂き方

③世界の文化については、次の活動を行う。（カリキュラムマネジメントも随所に）

- ・世界遺産を調べる ・選んだ国の言語を学ぶ ・外国人講師との交流をする（今回の活動）
- ・選んだ国の文化について調べ発表する（2月に保護者を招いてプレゼンの）

2. まとめと振り返りについて

①和文化については、最後の学習活動終了後に、講師の方々にお礼の手紙を書く。

②世界の文化については、次の活動を行う。

- ・今回の交流活動後に、講師の方々にお礼の手紙を書く。その際に、短い文をその国の言葉で書く。
- ・2月の発表の際に、保護者に簡単な感想アンケートをお願いし、その結果を踏まえて、振り返りの文章を書き発表する。

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-788-5500 /FAX 044-799-5962 学校名〔 川崎市立南野川小学校 〕

担当教諭名〔 草薙 寛子 〕 校長名 西村 勇一郎

1.実施日時 : 2025年(令和 7年) 7月 11日(金曜日)

実施時間帯 : 午後 10時 45分 ~ 12時 15分

教科・単元名〔 総合的な学習の時間 ・ わたしたちのKAWASAKI ~いろいろな文化を知ろう~ 〕

2.対象児童生徒 学年〔 3年 〕 63名

その他〔 〕

3.車の搬入口 正門

4.活動のねらい(単元目標)

川崎市の学習を通して、様々な文化をもつ人たちが、自分たちの街にもたくさんいることを知り、その「様々な文化」を知ろうとする心を育む。

5.活動の流れ(展開)

①全体会なし。各コーナー内で完結。コーナー内での流れは、5分 はじめの会、講師紹介
15分 国の紹介、クイズ
20分 遊び

②(10:45 ~ 11:25)コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・ 言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	ブラジルの遊び	体育館	前半3-1(32人) 後半3-2(31人)
	中国の遊び 講師、からいたんな英語も話せて文化を紹介	多目的室	前半3-2(31人) 後半3-1(32人)
			.

③(11:35 ~ 12:15)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

1組と2組、場所を交換。

④ 全体会なし

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先:教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

- ・事前の活動 インドのカレー店や韓国料理のお店など、身近にある「外国」について調べ、様々な文化を知る。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:45 ～ 11:25	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 2. クラスわかれて活動する。 ブラジルグループ（前半3-1、後半3-2） 15分 国の紹介、クイズ 20分 遊び 3. お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・教えていただくという気持ちをもって参加できるように伝えておく。 ・ブラジルは体育館、中国はなかよしルームで活動する。 ・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
11:25 ～ 11:35	教室移動、トイレ休憩 1組と2組チェンジ	
11:35 ～ 12:15	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 2. クラスわかれて活動する。 中国グループ（前半3-2、後半3-1） 15分 国の紹介、クイズ 20分 遊び 3. お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・教えていただくという気持ちをもって参加できるように伝えておく。 ・ブラジルは体育館、中国はなかよしルームで活動する。 ・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。

事後の活動

5時間目に、2つの文化の遊びを学習した感想を書く。事前に作成しておいた「川崎スライド」に書くようにし、5時間目の終盤に、グループ内で発表する。



提出書類①

校種・学校番号
小学校・75

2025年（令和7年）10月15日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-855-7911 /FAX 044-855-2127 学校名〔 川崎市立西有馬小学校 〕

担当教諭名〔 湯浅 哲雄 〕 校長名 丸尾 明彦

1.実施日時 : 2025年（令和7年）11月6日（木曜日）

実施時間帯 : 午前 10時 00分 ～ 12時 15分

教科・単元名〔総合的な学習の時間・もっと知りたいな いろいろな国〕

2.対象児童生徒 学年〔 3 年 〕 約 134名

その他〔 〕

3.車の搬入口 正門

4.活動のねらい（単元目標）

異文化にふれ、親しみをもつ。多文化共生に興味をもつ。

5.活動の流れ（展開）

①（10:30～11:00）全体会 場所： 体育館

例：進行（多文化共生実行委員）

・講師の方の自己紹介

・「あかてぬぐいのおくさんと七人の」の読み聞かせ（TV・PCの準備）

②（11:00～11:25）コーナーにかてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
吉田	言葉	3年3組	約30・約30
続・岩下	衣装	3年1組	約20・約20
臼井	楽器	音楽室	約20・約20
湯浅	遊び	体育館	約40・約40
続	ユンノリ	特別活動室	約30・約30

③（11:30～11:55）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（12:00～12:15）全体会 場所： 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

・単元構想

活動1 他国の文化を知る（本時）

活動2 興味を持った他国の文化を調べ、伝え合う

・事前の活動

道徳「マサラップ」を入口に、他国の文化に興味をもつ。

総合「もっと知りたいな いろいろな国」の入口として、韓国・朝鮮の文化について知っていること、知りたいことを整理する。その後、本事業の体験活動を行い、他国の文化に親しみをもつ。

提出書類①

校種・学校番号
小学校・75

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：00	校内案内：湯浅	・ワゴン1台で来校 ・活動場所まで案内する。
10：30	1. はじまりの会（体育館） ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・活動の流れの確認 ・講師の話	・実行委員会が司会・進行を行う。
11：00 ～ 11：25	2. グループにわかれて活動する。 楽器グループ（担当：臼井） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 民族衣装グループ（担当：続・岩下） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ（担当：湯浅） ・韓国の伝承あそびをやってみる。 ことばグループ（担当：吉田） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ユンノリグループ（担当：続） ・韓国のすごろく遊びをグループで楽しむ。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むように声かけする。 ・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなという気持ちを育む。
11：30 ～ 11：55	・活動場所の移動（移動時間は5分） ・後半グループで2を行う。	・振り返りは午後の授業で行う。
12：00 ～ 12：15	3. 学年全体で終わりの会を行う。（体育館） ・講師の先生からメッセージ ・お礼の言葉と別れのあいさつ ・閉会の言葉	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

・事後の活動（振り返りや共有、まとめの学習等を具体的に）

- 1、活動を振り返り、自分が行った活動をまとめる
- 2、まとめた内容を伝え合う。

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025年(令和7年)12月15日

校種・学校番号

小学校・76

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ

電話 888-0189 /FAX 855-2145

がっこうめい

学校名〔富士見台小学校〕

たんとうきょうゆめい

担当教諭名〔砂川 裕介〕

こうちょうめい

校長名〔中川 正彦〕

1. 実施日時 : 2025年(令和7年)12月15日(月曜日)

実施時間帯 : 午前10時45分～12時15分

教科・単元名〔総合的な学習・多文化共生〕

2. 対象児童生徒 学年〔4年〕約195名
その他〔 〕

3. 車の搬入口 西門

4. 活動のねらい(単元目標)

外国の遊び伝統舞踊などを体験活動を通して、外国の文化や習慣を学び、異文化への理解を深める。

5. 活動の流れ(展開)

①(午前10:30～10:35)全体会 場所: 体育館

・講師の方の自己紹介

②(10:40～11:50)コーナーに分かれてのワークショップ

担当 講師のお名前	内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	バングラディッシュ (鬼ごっこ)	体育館(ステージ側)	32・32
	ベトナムボビナム	体育館(器具室側)	32・32
	中国けまり	多目的教室	32・32
			.
			.
			.

③(11:55～12:05)全体会 場所: 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

展開例 6 活動の流れ

○事前の活動

- ・各クラスで事前に自分が体験するワークショップを前半後半で1つずつ決めておく。
- ・体験活動の注意事項について確認する。(話の聞き方、あいさつなど)

・当日の活動

時間	活動の流れ(展開)	教師の支援と留意点												
10:30 ~10:35 (移動5分)	1. 全体会(はじめの会) meet 場所: 体育館、多目的室(前半活動するクラス) 各教室(後半活動するクラス) ○今日の時間、活動を確認する。 ○あいさつ ○講師の方の紹介	○多文化共生共育実行員が司会進行を務める。 ○体験活動の注意事項の確認 ※講師の方 名、車で来校。												
10:40 ~11:10 (前半) (移動10分)	2. グループにわかれて活動する。 バングラディッシュグループ (担当講師: 先生) ○バングラディッシュの文化を知り、遊び(鬼ごっこ)を体験する。 中国グループ (担当講師: 先生) 中国の文化を知り、遊び(けまり)体験する。 ベトナムグループ (担当: 先生) ○ベトナムの文化と合気道(ボビナム)を体験する。	○各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>グループ</th><th>前半</th><th>後半</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バングラディッシュ</td><td>砂川(5組)</td><td>曾原(6組)</td></tr> <tr> <td>ベトナム</td><td>伊藤(2組)</td><td>横山(1組)</td></tr> <tr> <td>中国</td><td>深田(4組)</td><td>篠原(3組)</td></tr> </tbody> </table>	グループ	前半	後半	バングラディッシュ	砂川(5組)	曾原(6組)	ベトナム	伊藤(2組)	横山(1組)	中国	深田(4組)	篠原(3組)
グループ	前半	後半												
バングラディッシュ	砂川(5組)	曾原(6組)												
ベトナム	伊藤(2組)	横山(1組)												
中国	深田(4組)	篠原(3組)												
11:20 ~11:50 (後半) (移動5分)		準備 マイク、テレビ(体育館、多目的室)												
11:55 ~12:05	3. 全体会(おわりの会) meet 場所: 体育館、多目的室(後半のクラス) 各教室(前半のクラス) ○お礼の言葉とお別れのあいさつ。 ※ 時間があれば、質問、感想なども行う。	○前半グループ(2, 4, 5組)はそれぞれの活動場所へ、後半グループ(1, 3, 6組)は、各教室で学習。 ○後半グループ(1, 3, 6組)は活動場所に移動し、前半グループは教室で学習 ○活動場所 ・バングラディッシュグループ→体育館ステージ側 ・ベトナムグループ→体育館器具室側 ・中国グループ→多目的室 ☆バングラディッシュ、中国、ベトナムの文化を知ったり、遊びを体験することがきっかけになりほかの国の文化についても調べてみたいと思う意欲をもたせたい。 ○司会・進行は共生共育実行委員が行う。												

○事後の活動

学習のふりかえりをし、学習カードに記入する。

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-853-0466 /FAX 044-855-2164 学校名(川崎市立宮前平小学校)

担当教諭名(岡崎 愛) 校長名 後藤 香織

1.実施日時 : 2026年(令和8年) 1月 19日(月曜日)

実施時間帯 : 午前・午後 10時 30分 ~ 12時 15分

教科・単元名(国語科・三年とうげ)

2.対象児童生徒 学年(3年) 約 119名

3.車の搬入口 北門

4.活動のねらい(単元目標)

韓国・朝鮮の文化に触れ、興味関心を高める。

5.活動の流れ(展開)

①(10:30 ~ 10:55) 全体会 場所: 体育館

進行(多文化共生実行委員)・講師の方の自己紹介・「三年とうげ」の読み聞かせ(TV・PCの準備)

②(11:00 ~ 11:25) コーナーにかれたのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
久保	伝承遊び	体育館	40人・40人
岡田	楽器	新棟多目的	20人・20人
岡崎	民族衣装	宮小ルーム	20人・20人
杉本	言葉・文化	3-1、3-2	40人・40人
			.
			.

③(11:30 ~ 11:55) コーナーに分かれたのワークショップ(後半)

④(12:00 ~ 12:10) 全体会 場所: 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動

道徳「マサラップ」で、登場人物が他国の文化を尊重することで、その国の人と仲良くなった物語を通して、自分とは違う国の文化に親しみ、関心をもつきっかけをつくる。国語「三年とうげ」をあらかじめ学習し、当日の読み聞かせにおいて、韓国の言葉と結び付けられるようにする。

当日の朝までに、楽器をケースから出しておく。体育館にプロジェクターの設置

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	○講師の方が学校に到着 ・体育館に案内する。 ・更衣室で着替など準備をする。	・多文化共生実行委員会が司会・進行をする。 ・プロジェクターで流す。 ・各クラス背の順2列
前半 11:00 ～ 11:25	2. グループにわかれて活動する。 音楽グループ（多目的室）担当：岡田 ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスをする。 ・音楽グループの児童は、足を広げて座るため、ズボンははいてくるように伝えておく。 ・楽器はケースから取り出しておく。（セッティングは講師の方が行う）
後半 11:30 ～ 11:55	民族衣装グループ（宮小ルーム）担当：岡崎 ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 ※衣装は男女関係なく着る 伝承遊びグループ（体育館）担当：久保 ・韓国の伝承あそびをやってみる。 民話・言葉グループ（3年1組、2組の教室）担当：杉本 ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。	・民族衣装グループは、体育着を着て参加するように伝える。 ・ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。（当日資料を配付する） ・民話・言葉グループの児童には筆箱を持参させる。

12:05	3. 全体会（体育館） がくねんぜんたい きょう はっぴょう かんそう 学年全体で今日の発表について感想を伝える。 ・ 質問コーナー ・ お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・ 実行委員の司会で、終わりの会をする。
-------	--	----------------------

・ 事後の活動

とうじつ
当日は、活動後の5時間目に時間を取り、振り返りを書く。振り返りでは、体験して感じたことや
かんがえた
考えたことなどの感想を書く。各クラスで考えを共有することで、韓国や朝鮮の文化に対して思っ
て
いることが人それぞれであることに気づく

提出書類②

2025年 12 月 17 日 (水)

韓国・朝鮮楽器等借用書

校種・学校番号
小・77

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 宮前平小学校

校長名 後藤 香織

担当者名 岡崎 愛

借用期間	2026年 1月 15日 (火) ～ 2026年 1月 19 日 (月)
借用希望日時	2026年 1月 15日 (火) ～ 宿河原小より搬入
返却希望日時	2026年 1月 19日 (月) ～ 下小田中小へ搬出
借用物品 (品名・数量)	●楽器 □チャンゴ 13台 □ソゴ 3台 □プク 2台 □チン 1台 □ケンガリ 1台 ●遊び道具 □コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース □トゥホ 2台 ●衣装 □男子衣装 1ケース □女子衣装 2ケース ※ バチ (チェ) ・矢等の数を事前にご確認ください。
使用目的	
その他 特記事項 (他校との調整等)	2026年1月 15日 (火) 15時半頃～ 宿河原小より搬入 タクシー利用 (帰路) 2026年1月 19日 (月) 15時半頃～ (下小田中小職員対応)

※多文化交流KFV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要
提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書

校種・学校番号

小・77

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 川崎市立宮前平小学校

校長名 後藤 香織

担当者名 岡崎 愛

借用期間	R8年 1月 16日(金)～ R8年 1月22日(木)
返却日	R8年 1月 22日(木) 下小田中小へ引き渡し
借用物品 (品名・数量)	●楽器 ■チャンゴ 10台 ■ソゴ 3台 ■ブク 2台 ■チン 1台 ■ケンガリ 1台 ●遊び道具 ■コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース ■トゥホ 2台 ●衣装 ■男子衣装 1ケース ■女子衣装 2ケース ※ バチ(チェ)・矢等の数を事後にご確認ください。
使用物品 の状況	■ 異常なし ☐ 異常あり...☐破損 ☐汚れ ☐紛失 ☐その他 () それは...☐最初からあった ☐今回生じた 対処は...☐修繕した(クリーニングした) ☐その他 ()
その他 特記事項 (他校との調整等)	

※多文化交流KFV・川崎市国際交流協会を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要
提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

校種・学校番号

小学校・79

2025 年（令和 7 年） 11 月 7 日

たぶん かきょうせい じぎょうけいかくしよ
多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 電話 044-866-7060 /FAX 044-855-2192 がっこうめい 学校名 [向丘小学校]

たんとうきょうゆめい 担当教諭名 [竹澤 夏純] こうちやうめい 校長名 秋山 直子

じっしにちじ 1. 実施日時 : 2025 年（令和 7 年） 12 月 2 日（火曜日）

じっしじかんたい 実施時間帯 午前・午後 10 時 30 分 ~ 12 時 25 分

きょうか たんげんめい 教科・単元名 [国語・三年とうげ]

たいしやうじどうせいど 2. 対象児童生徒 学年 [1 2 3 4 5 6 年] 102 名

その他 []

くるま はんにゆうぐち 3. 車の搬入口 プール横駐車場

かつどう たんげんもくひやう 4. 活動のねらい（単元目標）

- 講師の方々の説明を聞き、ふれあいを楽しむ。
- 韓国や朝鮮文化を体験し、多文化への理解・関心を深める。

かつどう なが てんがい 5. 活動の流れ（展開）

①全体会 場所：アリーナ

10:30~11:00

- 講師の方の紹介
- 実行委員によるあいさつ
- 講師の方による講話（韓国の食文化について、挨拶についてなど）
- 三年とうげ読み聞かせ

②コーナーに分かれて活動

ぜんはん 前半 11:05~11:35 (30分間)

いどう 移動 11:35~11:40 (5分間)

こうはん 後半 11:45~12:10 (30分間)

たんとう こうし おなまえ 講師のお名前	ないよう がっき いしやう あそび ことば こうもん 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	かつどうばしょ おんがくしつ 音楽室など	じどう せいとにんすう ぜんはん こうはん 児童・生徒人数 前半・後半
たけざわ こうし せんせい 講師の先生	がっき 楽器	かいとくべつかつどうしつ 3階特別活動室	やく にん やく にん 約20人・約20人
こんの こうし せんせい 講師の先生	いしやう 衣装	かいむかたま 2階向魂ルーム	やく にん やく にん 約20人・約20人
くすのき こうし せんせい 講師の先生	でんしやうあそび 伝承遊び	かいあリーナ 1階アリーナ	やく にん やく にん 約30人・約30人
おおしま こうし せんせい 講師の先生	ことば	4かい 4階3-1 教室	やく にん やく にん 約30人・約30人

④ (12:10 ~ 12:25) 全体会 場所：アリーナ

- 講師の方へのあいさつ

6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動

- ① 国語「三年とうげ」の学習を進め、物語の背景となる国に興味をもつ。
- ② 児童の興味に合わせて活動のグループ分けをしておく。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	1. アリーナで全体会をする。 ・講師の方の紹介 ・実行委員によるあいさつ ・講師の方による講話 ・三年とうげ読み聞かせ	・最初の出会いを大切にしたい。 ・韓国文化体験実行委員が司会・進行していく。
〈前半〉	2. グループにわかれて活動する。	・各グループに教師がつき、活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
11:05	楽器グループ（3階特別活動室）	
～	・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。	
11:35	・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。	
〈移動〉		
11:35		
～	民族衣装グループ（2階向魂ルーム）	・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。
11:40	・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。	
〈後半〉		
11:40		
～	伝承遊びグループ（1階アリーナ）	
12:10	・韓国の伝承遊びをやってみる。	
	ことばグループ（4階3-1教室）	・ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。
	・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。	
12:10	3. アリーナにて全体会を行う ・学年全体で振り返りを行う。 ・実行委員によるお礼の言葉とお別れのあいさつ。	・実行委員の司会で、終わりの会をする。

韓国・朝鮮楽器等借用書

校種・学校番号
小学校・79

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 川崎市立向丘小学校

校長名 秋山 直子

担当者名 竹澤 夏純

借用期間	令和7年11月27日(木)～令和7年12月5日(金)
借用希望日時	令和7年 12月 2日(火)
返却希望日時	令和7年12月2日(火)～令和7年12月5日(金)の間に 東生田小へ搬出
借用物品 (品名・数量)	●楽器 □チャング 13台 □ソゴ 3台 □プク 2台 □チン 1台 □ケンガリ 1台 ●遊び道具 □コンギ、チェギ、ユンノ リ、ペンイ 1ケース □トゥホ 2台 ●衣装 □男子衣装 1ケース □女子衣装 2ケース ※ パチ(チェ)・矢等の数を事前にご確認ください。
使用目的	多文化共生授業で、楽器や遊びの体験、民族衣装体験を行うため。
その他 特記事項 (他校との調整 等)	・11月27日(木)午後、センターから搬入。 ・東生田小の先生と連絡をとり、向丘小で使用后、 5日(金)までに東生田小の先生が向丘小に楽器等を取り に来る事になっている。

※多文化交流KFV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

校種・学校番号

小学校・79

学校名 川崎市立向丘小学校

校長名 秋山 直子

担当者名 竹澤 夏純

借用期間	2025年 11月 27日（木）～ 2025年 12月 3日（水）
返却日	2025年 12月 3日（水）
借用物品 （品名・数量）	●楽器 ☒ チャンゴ 13 台 ☒ ソゴ 3 台 ☒ ブク 2 台 ☒ チン 1 台 ☒ ケンガリ 1 台 ●遊び道具 ☒ コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース ☒ トゥホ 2 台 ●衣装 ☒ 男子衣装 1ケース ☒ 女子衣装 2ケース ※ バチ（チェ）・矢等の数を事後にご確認ください。
使用物品 の状況	☒ 異常なし ☐ 異常あり...☐ 破損 ☐ 汚れ ☐ 紛失 ☐ その他（ ） それは...☐ 最初からあった ☐ 今回生じた 対処は...☐ 修繕した（クリーニングした） ☐ その他（ ）
その他 特記事項 （他校との調整等）	2025年12月3日（水）に、次回使用学校である東生田小学校へ搬出した。

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025年(令和7年)11月25日

校種・学校番号

小学校・080

たぶんかきょうせい

じぎょうけいかくしよ

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 電話 044-866-7235 /FAX 044-855-2205 学校名 [川崎市立平小学校]

たんとうきょうゆめい 担当教諭名 [山崎 由美子] こうちようめい 校長名 松沢 隆

じっしにちじ 1. 実施日時 : 2025年(令和7年)12月16日(火曜日)

じっしじかんたい 実施時間帯 : 午前・午後 10時50分 ~ 12時20分

きょうか たんげんめい 教科・単元名 [国語・三年とうげ]

たいしょうじどうせいと 2. 対象児童生徒 学年 [1 2 3 4 5 6 年] 約76名

くるま はんにゆうぐち 3. 車の搬入口 正門

かつどう 4. 活動のねらい(単元目標)

- ・KFVの方の説明に興味深く聞き、一緒に活動することができる。
- ・韓国・朝鮮の文化についての自分の考えを深めようとする。

かつどう 5. 活動の流れ(展開) 控室:

①(10:45~11:00) 全体会 場所: 体育館

しんこう 進行: 実行委員(子ども)

・はじめのあいさつ

・講師の方の自己紹介 + 韓国語 三年とうげ読み聞かせ(5分程度) + 衣装の紹介

②(11:00~11:30) コーナーに分かれてのワークショップ(前半) 全体: 山崎

事前に希望を聞いて、なるべく均等にします。

担当 講師のお名前	内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童人数 前半・後半
講: 山崎	遊び(遊伝承遊び) コンギ・チェギ・ペンイ・トウホ	体育館	19・19
講: 佃	言葉(韓国語+食文化のお話)	3年3組教室	19・19
講: 辻	楽器(教わったことを一緒に演奏)	視聴覚室	最大17・17
講: 小椿	民族衣装(民族衣装を着る。)	書写教室	最大21・21 (内訳: 男10・女11)

※移動時間 5分

③(11:30~12:00) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(12:00~12:20) 全体会 場所: 体育館

進行: 実行委員(子ども)

・質疑応答 ※なければ、講師の先生から韓国の生活や行事の話をしていただきたいです。

・終わりの言葉

合計 76名

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ

・事前の活動

国語の『三年とうげ』の学習をきっかけに韓国に興味をもつ。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:45	1. 全大会（体育館） ・あいさつ ・活動時間、活動内容を確認する。 ・講師の方のお話 ①講師の方の紹介 ②三年とうげ 韓国語で読み聞かせ ③衣装の説明	・最初の出会いを大切にしたい。 ・学習実行委員会が司会・進行していく。
11:00	◆移動	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
11:05	2. グループにわかれて活動する。全体：山崎 遊びグループ（担当：山崎）体育館 ・韓国の伝承あそびをやる。 ①コンギ ②チェギ ③ペンイ ④トゥホ	・ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。
各25分		
前半	言葉グループ（担当：佃）3年3組教室 ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・民話を聞かせていただく。	・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。
11:05		
～		
11:30		
移動5分	楽器グループ（担当：辻）視聴覚室 ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。	
後半	民族衣装グループ（担当：小椿）書写教室 ・民族衣装を着させていただく。	・後半の体験が終わったところから、体育館に集まる。早く終わった場合は、時間まで各コーナーでふりかえりを書いて待機する。
11:35		
～		
12:00	◆移動	・質問がなければ、講師の先生から、韓国の生活や行事の話をしていただければと思います。
12:05	3. 全体会（体育館） ・質疑応答 ・感想	
12:20	・お礼の言葉とお別れのあいさつ	

・事後の活動

韓国文化体験をきっかけに、他国の文化について調べたり、総合や道徳の授業を通して多文化理解を深めたりする。

提出書類②

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025年 11月 25日 (火)

韓国・朝鮮楽器等借用書

川崎市教育委員会事務局教育政策室
人権・多文化共生教育担当課長 様校種・学校番号
小学校・080

学校名 川崎市立 平小学校

校長名 松沢 隆

担当者名 山崎 由美子

借 用 期 間	2025年12月15日(月)～2025年12月19日(金)
借用希望日時	2025年12月15日(月)
返却希望日時	2025年12月17日(水)
借 用 物 品 (品名・数量)	●楽器 ■チャンゴ 12 台 ■ソゴ 3 台 ■プク 2 台 ■チン 1 台 ■ケンガリ 1 台 ●遊び道具 ■コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1 ケース ■トゥホ 2 台 ●衣装 ■男子衣装 1 ケース ■女子衣装 2 ケース ※ バチ(チェ)の数を事前にご確認ください。
使 用 目 的	体験を通して、韓国・朝鮮の文化についての理解を深めるため。
そ の 他 特 記 事 項 (他校との調整等)	・12月15日(月)放課後に、前に使用する岡上小学校から運んでいただきます。 ・12月17日(水)放課後に、返却します。

※多文化交流 KfV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

校種・学校番号

小学校・080

学校名 川崎市立平小学校

校長名 松沢 隆

担当者名 山崎 由美子

借 用 期 間	2025年12月15日(月)～2025年12月17日(水)
返 却 日	2025年12月17日(水)
借 用 物 品 (品名・数量)	●楽器 ■チャンゴ 13 台 ■ソゴ 3 台 ■プク 2 台 ■チン 1 台 ■ケンガリ 1 台 ●遊び道具 ■コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1 ケース ■トゥホ 2 台 ●衣装 ■男子衣装 1 ケース ■女子衣装 2 ケース ※ バチ(チェ)の数を事後にご確認ください。
使 用 物 品 の 状 況	■ 異常なし ☐ 異常あり…☐破損 ☐汚れ ☐紛失 ☐その他() それは…☐最初からあった ☐今回生じた 対処は…☐修繕した(クリーニングした) ☐その他()
そ の 他 特 記 事 項 (他校との調整等)	借用書に、チャンゴ「12台」で報告していましたが、「13台」ありました。

※多文化交流KFV・川崎市国際交流協会を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

2025年(令和7年) 12月 3日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-977-8220 /FAX 044-976-5893 学校名 [白幡台小学校]

担当教諭名 [川上 翔大] 校長名 五十嵐 忍

1. 実施日時 : 2025年(令和7年) 1月26日(月曜日)

実施時間帯 : 11時 25分 ~ 12時 10分

教科・単元名 [国語・わき出た思いや考えをつかまえて、伝え合おう「スーホの白い馬」]

2. 対象児童生徒 学年 [2 年] 34 名

その他 []

3. 車の搬入口 正門

4. 活動のねらい(単元目標)

文章を読んで感じたことや分かったことを共有するために、物語の背景について理解をする。

5. 活動の流れ(展開)

① (11:25 ~ 11:30) 全体会 場所: 多目的教室

・講師の方の自己紹介

・本時の目的の確認

② (11:30 ~ 11:45) モンゴルの紹介・モンゴルについての質問

・モンゴルの服について・「中国の北の方」って、どういう環境なのか・馬頭琴は、モンゴルの学校で習うのか、どんな音がするのか・「スーホの白い馬」の時代って、どれくらい昔なのか。・馬はたくさんいたのか。

担 当 講師のお名前	内 容	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数
	モンゴルの紹介	多目的室	34名

③ (11:45 ~ 12:05) モンゴルの遊び(シャガイ)※机なし。床で行う。

④ (12:05 ~ 12:10) 全体会 場所: 多目的室

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

- ・ 事前の活動（具体的に、単元構想等も入れてください）
- ・ スーホの白い馬を読んで、気になることを書く。
- ・ シャガイのグループ分け。五人一組。

事前準備

- ・ ギガでキャストできるようにしておく。

・ 当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
11:25	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・ あいさつ ・ 講師の方の紹介	・ 最初の出会いを大切にしたい。
11:30 ～ 11:45	2. モンゴルの紹介	・ 事前指導で、「スーホの白い馬」を音読しておき、物語の背景を想像しながら話を聞けるようにする。
11:45 ～ 12:05	3. モンゴルの遊びを体験する。 ・ ジャガイを使ったモンゴルの遊びを体験する。	・ 遊び方についての説明を聞き、正しく遊べるよう促す。 ・ 自分たちが普段行う遊びと比べながら楽しむよう事前指導をしておく。
12:05 ～ 12:10	4. おわりの会 ・ お礼の言葉とお別れのあいさつ。	

- ・ 事後の活動（振り返りや共有、まとめの学習等を具体的に）
物語を再読し、モンゴルの遊びや話をうけて、印象が変わったところについて意見交流を行う。

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-866-1541 /FAX 044-855-2208 学校名〔 川崎市立長尾小学校 〕

担当教諭名〔 原田 由美子 〕 校長名 松浦 徹

1.実施日時 : 2026 年（令和 8 年） 1月 26日（ 月曜日 ）

実施時間帯 : 午前 9時 35分 ～ 10時 20分

教科・単元名〔 国語 ・ スーホの白い馬（モンゴルの学習） 〕

2.対象児童生徒 学年〔 2 年 〕 約 44 名

その他〔 〕

3.車の搬入口

4.活動のねらい（単元目標）

モンゴルという国の文化に触れ、伝統的な楽器である馬頭琴の存在を知る

5.活動の流れ（展開）

①（ 9:35 ～ 9:40 ）全体会 場所：長尾っ子ルーム（2階）

はじめの会 （進行 長尾小：原田）

- ・あいさつ
- ・講師の方の自己紹介

②（ 9:40 ～ 9:55 ）モンゴルの紹介（馬頭琴の演奏動画）

講師のお名前	内 容	活動場所	児 童 数
	モンゴルの紹介 （馬頭琴・衣装・ゲル の模型など）	長尾っ子ルーム	2クラス全体で44人

③（ 9:55 ～ 10:15 ）モンゴルの遊び 5人グループで行う

シャガイ（羊やヤギのくるぶしの骨）を使ったすごろくのような遊びをする

④（ 10:15 ～ 10:20 ）全体会 場所：長尾っ子ルーム

終わりの会 （進行 長尾小：原田）

- ・感想交流
- ・お礼の言葉

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ

・事前の活動 「スーホの白い馬」の音読のみ行い、基本的には未習の状態で行う。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
9:35 ～ 9:40	1. 今日の時間、活動の確認をする。 はじめの会 ・あいさつ ・講師の方の自己紹介	・最初の出会いを大切にしたい。 ・各クラス4列になって床に座る。
9:40 ～ 9:55	2. モンゴルの紹介を聞く。 ・テレビにて動画を視聴する。 ・馬頭琴や衣装、ゲルの模型などを見る。	・動画視聴のためのテレビを用意する。
9:55 ～ 10:15	3. モンゴルの遊びの体験をする。 ・シャガイを使ったすごろくのような遊びをする。 ・児童は5人グループになって活動する。	・教師はグループを巡回し、ゲームがスムーズに進むようにアドバイスする。
10:15 ～ 10:20	4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 終わりの会 ・感想交流 ・お礼の言葉 ・お別れのあいさつ	・講師の方に感謝の気持ちが伝わるようにしたい。

・事後の活動 個人の振り返りと講師へのお礼のお手紙を書く

2025年(令和7年)

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-933-5437 /FAX 044-933-4815 学校名〔宿河原小学校〕

担当教諭名〔小副川 聡〕 校長名 田中 亜希子

1.実施日時 : 2026年(令和8年)1月15日(木曜日)

実施時間帯 : 午前 10時30分 ~ 12時20分

教科・単元名〔総合的な学習の時間・宿小万博2026〕

2.対象児童生徒 学年〔3年〕 約 135名

その他〔 〕

3.車の搬入口 東門出口

4.活動のねらい(単元目標)

国際理解を深め、自分で選んだ国についての文化に親しむ。

5.活動の流れ(展開)

① (10:30 ~ 10:40) 全体会 場所: 体育館

例: 進行(ふれあい事業実行委員)

・講師の方の自己紹介

② (10:40 ~ 11:20) コーナーにかてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	音楽 楽器	体育館	26・26
	民族衣装	体育館	25・25
	言葉・文化	3年教室	30・30
3年 担任	遊び	校庭	54・54
			.
			.

③ (11:25 ~ 12:05) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (12:10 ~ 12:15) 全体会 場所: 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

- ・事前の活動（具体的に、単元構想等も入れてください）
自分の興味のある国の文化について調べ、ワークシートにまとめている。
- ・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。 ・実行委員会が司会・進行していく。
10:40 ～ 11:20	2. グループにわかれて活動する。 音楽グループ（担当：佐藤） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 民族衣装グループ（担当：廣中） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ（担当：小副川） ・韓国の伝承あそびをやる。 民話・ことばグループ（担当：宮地） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・民話を聞かせていただく。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・体育館の前半分が音楽グループ、後半分が民族衣装グループとする。
11:25 ～ 12:05	3. 学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。 ・活動場所の移動（移動時間は5分） ・後半グループで2～3を行う。	・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。 ・ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。
12:15	4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・各グループでふりかえりをする。 ・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。 ・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

- ・事後の活動（振り返りや共有、まとめの学習等）
それぞれが文化体験を活かし、自分の調べたい国について、音楽・衣装・言葉・遊びなどの調べ学習を行う。終末では、国のグループに分かれてブースを作り、調べたことを保護者に向けて発表する予定。

提出書類②

令和8年1月8日(木)

韓国・朝鮮楽器等借用書

校種・学校番号
小学校・88

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 川崎市立宿河原小学校

校長名 田中 亜希子

担当者名 小副川 聡

借用期間	8年1月14日(水)～8年1月16日(金)
借用希望日時	8年1月15日(木)
返却希望日時	8年1月16日(金)
借用物品 (品名・数量)	●楽器 ■チャンゴ 13 台 □ソゴ 3 台 □プク 2 台 □チン 1 台 □ケンガリ 1 台 ●遊び道具 ■コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース □トゥホ 台 ●衣装 ■男子衣装 1ケース ■女子衣装 2ケース ※ バチ(チェ)・矢等の数を事前にご確認ください。
使用目的	多文化共生ふれあい事業で使用。
その他 特記事項 (他校との調整等)	虹ヶ丘小学校から受け取り、宮前平小学校に渡します。

※多文化交流KFV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要
提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

提出書類

④

令和8年 1月 16日 (金)

韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書

校種・学校番号

88

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 川崎市立宿河原小学校

校長名 田中 亜希子

担当者名 小副川 聡

借用期間	R8年 1月15日 (木)
返却日	R8年1月16日 (金) 宮前平小学校へ引き渡し
借用物品 (品名・数量)	●楽器 ■チャンゴ 10台 ■ソゴ 3台 ■ブク 2台 ■チン 1台 ■ケンガリ 1台 ●遊び道具 ■コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース ■トゥホ 2台 ●衣装 ■男子衣装 1ケース ■女子衣装 2ケース ※ バチ (チェ) ・矢等の数を事後にご確認ください。
使用物品 の状況	■異常なし ☐ 異常あり...☐破損 ☐汚れ ☐紛失 ☐その他 () それは...☐最初からあった ☐今回生じた 対処は...☐修繕した (クリーニングした) ☐その他 ()
その他 特記事項 (他校との調整等)	

※多文化交流KFV・川崎市国際交流協会を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要
提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-944-5320 /FAX 044-946-0845 学校名〔 川崎市立 南菅小学校 〕

担当教諭名〔 近藤 拓馬 〕 校長名〔 宮原 千恵子 〕

1. 実施日時 : 2025年（令和 7 年） 12月 19日（金曜日）

実施時間帯 : 午前 ・ 午後 10時 30分 ~ 12時 20分

教科・単元名〔 学活 ・ 人権について考えよう（多文化理解） 〕

2. 対象児童生徒 学年〔 1 2 ③ 4 5 6 年 〕 約 43 名

その他〔 〕

3. 車の搬入口

正門の隣にある車両門

4. 活動のねらい（単元目標）

- ・ 講師の方々の説明を聞いたり、活動したりすることで、韓国、朝鮮の文化について知る。
- ・ 韓国、朝鮮と日本の文化や生活習慣の類似点や相違点を考え、違いを認め合おうとする。

5. 活動の流れ（展開）

①（ 10 : 30 ~ 10 : 55 ）全体会 場所： 体育館

例：進行（ふれあい事業実行委員）

- ・ 講師の方の自己紹介
- ・ 「三年とうげ」の読み聞かせ（TV・PCの準備）

②（ 11 : 00 ~ 11 : 25 ）コーナーにかかれてのワークショップ（前半）

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	音楽	図工室	10・10
	民族衣装・文化	わくわく	10・10
	伝承遊び	体育館	10・10
	ことば	多目的室	10・10

③（ 11 : 30 ~ 11 : 55 ）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（ 12 : 00 ~ 12 : 15 ）全体会 場所： 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

- ・事前の活動（具体的に、単元構想等も入れてください）
道徳「マサラップ」を学習し、多文化について興味をもつ。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：30	1. 全体会 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・絵本「フンプとノルプ」を読んでいただく。	・最初の出会いを大切にしたい。 ・ふれあい文化交流実行委員会が司会・進行していく。 ・教師が鬼になる。
10：55		
11：00	2. グループにわかれて活動する。 <u>音楽グループ【図工室】</u> （担当：白井教頭） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 <u>民族衣装グループ【わくわく】</u> （担当：上野T） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 <u>伝承遊びグループ【体育館】</u> （担当：近藤T） ・韓国の伝承あそびをやってみる。 <u>ことばグループ【多目的室】</u> （担当：獅々鹿T） ・ハングルを書く。 ・ハングルを話す。	・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。 ・ハングル文字の拡大コピーなどを準備する。 ・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。 ・活動場所の移動時間は5分
11：55	前半 11:00 ～ 11:25 後半 11:30 ～ 11:55	
12：00	3. 全体会【体育館】 ・学年全体で学習の感想等、ふりかえりをする。 ・ふれあい館の方からメッセージ（5分） ・お礼の言葉とお別れのあいさつ	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。 ・使った道具は、子ども達が運ぶ。
12：15		

2005年（令和7年） 11月 20日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-945-8181 /FAX 044-946-0847 学校名〔 川崎市立西菅小学校 〕

担当教諭名〔 井谷 純子 〕 校長名 小林 勝弘

1.実施日時 : 2025年（令和 7年） 12月 4日（ 木曜日 ）

実施時間帯 : 午前 ・ 午後 10時 45分 ～ 12時 15分

教科・単元名〔 総合的な学習の時間 ・ 世界のスゲーを見つけよう 〕

2.対象児童生徒 学年〔 1 2 ③ 4 5 6 年 〕 約 40名

その他〔 〕

3.車の搬入口 正門よりお入りください。校舎裏に止めてください。

4.活動のねらい（単元目標）

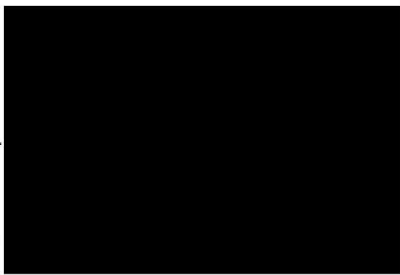
世界の国々の文化や人々に関心をもち、進んで関わり相手を尊重する態度を養う

5.活動の流れ（展開）

①（ 10:45～11:10 ）全体会 場所： 図書室

- ・講師の方の自己紹介
- ・ による読み聞かせ
- ・韓国・朝鮮の文化体験

②（ 11:15～11:35 ）コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演 など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	中国の文化紹介 漢字のクイズ 小学校の様子	3-1	3-1 20名 前半体験 3-2 20名 後半体験
	フィリピンの衣食住 (フィリピンの文化クイズなど あると子どもが喜びます) 小学校の様子	3-2	3-2 20名 前半体験 3-1 20名 後半体験

③（ 11:40～12:00 ）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（ 12:05～12:15 ）全体会 場所： 図書室

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ

・前時までの活動では、関心のある国や気になった国について調べていた。本時では、実際にアジアの文化について触れることで、他の国の文化や考え方のよさを感じたり親しみをもったりしたい。

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:15頃？	（ご来校・特活室へご案内）	（正門インターフォンでお知らせください。職員が案内します。）
10:45	1. 図書室に集合。 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。
10:50～11:10	2. 韓国・朝鮮の文化体験 ・ハングル語について ・伝承遊び ・韓国の小学校の様子など	・体育館で全員が体験するため、様子を見て声をかけたり支援したりする。
11:15～11:35	（移動） 3. グループに分かれて活動する。 ○中国文化体験グループ（担当：[REDACTED]・松崎） ・中国の文化の紹介 ・漢字のクイズ ・小学校の様子など ○フィリピン文化体験グループ（担当：[REDACTED]先生・井谷） ・フィリピンの衣食住について ・学校の様子など	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・各クラスともGIGA端末・TV・磁石を準備しておく
11:40～12:00	4. グループを入れ替えて体験をする （図書室へ移動）	
12:05～12:15	5. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・アジアの国々の文化に触れるを通して、それぞれの国の良さを感じたり親しみをもったりできたことをとりあげる。感謝の気持ちをきちんと伝える。

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044（911）4925 /FAX 944（911）6973 学校名〔 川崎市立東生田小学校 〕

担当教諭名〔 勝田 知弘 〕 校長名 狹倉 正樹

1.実施日時 : 2025年（令和7年）12月9日（火曜日）

実施時間帯 : 午前 10時 50分 ～ 12時 15分

教科・単元名〔 道徳 ・ 「ともに生きる」 C（17）国際理解、国際親善 〕

2.対象児童生徒 学年〔 3 年 〕 約 114 名

3.車の搬入口 学校正門から入って右の駐車スペース

4.活動のねらい（単元目標）

外国の文化に触れることを通して、他国のものに親しみ、関心をもとうとする心情を育てる。

5.活動の流れ（展開）

①（ 10 : 50 ～ 11 : 00 ） 全体会 場所：体育館

※進行は教員が行います

- ・講師の方の紹介
- ・児童代表のあいさつ
- ・講師の方のごあいさつ
- ・流れの説明

②（ 11 : 05 ～ 11 : 45 ）コーナーにかかれてのワークショップ

担 当	内 容	活動場所	児童・生徒人数
3年教員	音楽・楽器	特別活動室	20～30人
3年教員	民族衣装	家庭科室	20～30人
3年教員	伝承遊び	体育館	20～30人
3年教員	言葉・文字	図工室	20～30人

③（ 11 : 55 ～ 12 : 15 ）全体会 場所：体育館

※進行は教員が行います

- ・現代の生活や文化に関するクイズ
- ・児童からお礼
- ・講師の方からの言葉

6 活動の流れ（展開例）

【事前活動】

- ・国語「三年とうげ」、道徳「昔からつたわる物」「他の国の人となかよくなるために」の学習を通して、日本と他国の文化に興味をもてるようにする。

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：40	児童体育館へ移動開始	・勝田が講師の方の対応に当たる。その他の教員で放送機器の準備と児童指導を行う。 ・ワークショップの時間を確保するために事前にトイレ休憩は済ませておく。
10：50	はじめの会 ・講師の方の紹介 ・児童代表のあいさつ ・講師の方のごあいさつ ・流れの説明	・教員が主導で会を進める。
11：00	はじめの会が終了したら各ブースへ移動	各ワークショップ担当教員は児童と講師の方を誘導する。
11：05	各ブースに分かれてのワークショップ <u>☆音楽・楽器（特別活動室）</u> ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 <u>☆民族衣装・現代の生活や文化（家庭科室）</u> ・民族衣装を着させてもらい、どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 <u>☆伝承遊び（体育館）</u> ・伝承遊びを教えてもらい、体験する。 <u>☆言葉・文字（図工室）</u> ・韓国・朝鮮のあいさつや簡単な言葉を教わる。また、文字を教わり、自分の名前や簡単な手紙などを書いてみる。	・ワークショップ開始までは教員が先導して行う。 ・トイレ休憩や水分補給は適宜行う。 ・活動時間内で余裕があればふりかえりや感想の時間を5分程度設ける。
11：45	ワークショップ終了⇒全員体育館へ移動	・トイレ休憩は事前に済ませておく。
11：55	・現代の生活や文化（小学生を中心に）についてクイズなどを通して教えてもらう。 →クイズが終了次第、終わりの会 ・児童からお礼 ・講師の方からのお言葉	・教員が主導で会を進める。
12：15	全体終了	・勝田が講師の方を校長室へ案内する。他の教員は放送機器を片付け、児童を教室へ誘導する。

【事後指導】

ふりかえりを行い、気づいたことや感じたことを共有する。自主学習などの機会を通して各自で興味をもった国について調べ、紹介し合う。

提出書類②

令和7年11月18日（火）

韓国・朝鮮楽器等借用書

校種・学校番号
小学校・96

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 川崎市立東生田小学校

校長名 梶倉 正樹

担当者名 勝田 知弘

借用期間	令和7年 12月 3日（水）～ 令和7年 12月 9日（火）
借用希望日時	令和7年 12月 3日（水）
返却希望日時	令和7年 12月 9日（火）
借用物品 （品名・数量）	●楽器 ☐ チャンゴ 13台 ☐ ソゴ 3台 ☐ ブク 2台 ☐ チン 1台 ☐ ケンガリ 1台 ●遊び道具 ☐ コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース ☐ トゥホ 2台 ●衣装 ☐ 男子衣装 1ケース ☐ 女子衣装 2ケース ※ バチ（チェ）・矢等の数を事前にご確認ください。
使用目的	多文化共生ふれあい事業の体験学習で使用
その他 特記事項 （他校との調整等）	・向丘小学校（12/2実施）から12/3に借用予定 ・本校で実施終了後、久本小学校（12/10実施）へ運搬予定

※多文化交流KFV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書

校種・学校番号
小学校・96

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 川崎市立東生田小学校

校長名 梶倉 正樹

担当者名 勝田 知弘

借 用 期 間	令和7年 12月 3日（水）～ 令和7年 12月 9日（火）
返 却 日	令和7年 12月 9日（火）
借 用 物 品 （品名・数量）	●楽器 ☒ チャンゴ 13台 ☒ ソゴ 3台 ☒ プク 2台 ☒ チン 1台 ☒ ケンガリ 1台 ●遊び道具 ☒ コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース ☒ トウホ 2台 ●衣装 ☒ 男子衣装 1ケース ☒ 女子衣装 2ケース ※ バチ（チェ）・矢等の数を事後にご確認ください。
使 用 物 品 の 状 況	☒ 異常なし ☐ 異常あり... ☐ 破損 ☐ 汚れ ☐ 紛失 ☐ その他（ ） それら... ☐ 最初からあった ☐ 今回生じた 対処は... ☐ 修繕した（クリーニングした） ☐ その他（ ）
そ の 他 特 記 事 項 （他校との調整等）	向ヶ丘小学校より受け取り、実施後に久本小学校に届けました。 提出が遅くなり申し訳ございません。

※多文化交流KFV・川崎市国際交流協会を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要
提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 911-2115 /FAX 911-7504 学校名〔 川崎市立生田小学校 〕
担当教諭名〔 加賀谷 真紀(かがや まき) 〕 校長名 江良 真一(えら しんいち)

1. 実施日時 : 2025年(令和7年) 11月 7日(金曜日)
実施時間帯 : 午前・午後 10時50分 ~ 12時20分
教科・単元名〔 総合・かん国のことを知ろう 〕

2. 対象児童生徒 学年〔 1 2 ③ 4 5 6 年 〕 約 57 名
その他〔 〕

3. 車の搬入口 生田小学校正門

4. 活動のねらい(単元目標)

○韓国文化ふれあい学習の体験を通し、韓国、朝鮮の文化に興味をもち、課題を見つけることができる。
○自国の文化をの類似点などを考え、昔から大切にしてきたもの(文化)に気づき、自国だけでなく他国の文化も尊重しようという気持ちをもつことができる。

5. 活動の流れ(展開)

- ①(10:30~11:00)全体会 場所:体育館
- ・講師の方の自己紹介
 - ・「三年とうげ」の読み聞かせ(プロジェクター・PCの準備)
 - ・実行委員(3年生)の話し
- ②(11:00~11:30)コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童数
藤巻/	楽器	放送室スタジオ(2階)	約15
加賀谷/	衣装	3年1組(4階教室)	約15
加賀谷/	言葉	3年2組(4階教室)	約15
柳澤/	遊び	体育館	約15

③(11:30 ~ 12:00)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(12:00 ~ 12:15)全体会 場所:体育館

展開例

6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動

1. 放送室のスタジオは、広く場所を使えるように片づけておく。
2. 子どもたちから、ワークショップの希望をとる。楽器、衣装、言葉、遊びの4つの中から2つを選んで前半と後半に何をするかわかるようにしておく。当日は、前半と後半のワークショップと場所がわかるように探検バッグのワークシートと養生テープ（胸元に貼る）に記入しておく。
3. 実行委員にあいさつ、司会進行、楽器の片付けをすること伝えておく。
4. 衣装グループの児童は、体操着を着ておく。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:00	0. ふれあい館の方到着	・教務阿部 T に出迎え、放送室スタジオの場所を案内してもらう。 ・楽器運びが大変なため、ワークスさんに楽器を車から放送室スタジオまで運んでもらうように依頼する。
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ（実行委員） ・講師の方の紹介 「ふれあい館から来た先生方です。」	・最初の出会いを大切にしたい。 ・総合学習実行委員会が司会・進行していく。 ・実行委員からふれあい館の方にマイクを渡し、5分くらい紹介&説明。
11:00	2. グループにわかれて活動する。 <u>衣装グループ</u>（担当：加賀谷） ・チマチョゴリ、パジチョゴリを着せてもえい写真を撮る。 ※衣装の関係で女子は10名以内とする。 <u>言葉グループ</u>（担当：加賀谷） ・韓国語で自分の名前を書いてみるなど。 <u>楽器グループ</u>（担当：藤巻） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 <u>伝承遊びグループ</u>（担当：）柳沢 ・韓国の伝承あそびをやってみる。 ① コンギ チェギ ② ペンイ ③ チェギチャギ ①②③の順番でやってみる。	・体育館からの移動は、校長室前を通るルートで統一する。 ・事前に3年1組の机は後ろに下げ、掃除をしておく。テレビに衣装を着た姿が映るように準部もしておく。 ・衣装体験の児童は、朝のうちに体操着を着ておく。衣装を着る時は、上履きは履かない。 ・3年2組の机は、そのままの前向き配置で行う。 ・準備するもの：黒板、文字の拡大、専用のテキストの用意（専用のテキストは、事前には配らない。） ・放送室スタジオ。事前に平な場をつくる。 ・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・2回転できるように終わりと始まりの管理を担当が行う。 ・近くの人とふりかえりをする。 ・実行委員会の司会で、終わりの会をする。 ・終了。体育館を出る。
12:00	3. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	
12:15		

・事後の活動

実行委員は、ふれあい館の方と一緒に放送室スタジオに行き、楽器の運搬を手伝う。

実行委員と楽器の運搬（担当：加賀谷） 体育館の片付け（担当：柳沢） 子どもたちと4階にもどり給食準備（担当：藤巻）

2025 年 (令和 7 年) 12 月 8 日

99

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-954-5764 / FAX

学校名 (南生田小学校)

担当教諭名 (佐々木 沙弥子)

校長名 羽深 東

1. 実施日時 : 2026 年 (令和 8 年) 1 月 8 日 (木曜日)

実施時間帯 : 午前・午後 10 時 30 分 ~ 12 時 15 分

教科・単元名 (総合 ・ 韓国文化体験)

2. 対象児童生徒 学年 (1 2 ③ 4 5 6 年) 約 168 名

その他 ()

3. 車の搬入口

正門

4. 活動のねらい (単元目標)

日本と韓国の文化と比べながら、楽しく体験し、ちがいのよいところを知ろう

5. 活動の流れ (展開)

① (10:30 ~ 11:00) 全体会 場所: 体育館

例: 進行 (ふれあい事業実行委員)

・講師の方の自己紹介

・「ブンブとハルハ」の読み聞かせ (TV・PCの準備)

② (11:00 ~ 11:30) コーナーにかかれてのワークショップ (前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	楽器	99目的室	20・20
	衣装	3-1	20・20
	遊び	体育館	32・32
	言葉	3-4	32・32
	エンリ	3-2	32・32
	工作	3-3	32・32

③ (11:30 ~ 11:55) コーナーに分かれてのワークショップ (後半)

④ (12:00 ~ 12:15) 全体会 場所: 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください (手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動（具体的に、単元構想等も入れてください）

総合的な学習の時間の授業で、韓国のことについての調べ学習をする。

→体験をすることで学びを深められるようにする。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。 ・総合学習実行委員会が司会・進行していく。
10：45 ～ 11：20	2. グループにわかれて活動する。 音楽グループ（担当：対馬） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 民族衣装グループ（担当：大森） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ（担当：山田） ・韓国の伝承あそびをやる。 民話・ことばグループ（担当：佐々木） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・自分たちで調べた民話の紹介。民話を聞かせていただく。 工作グループ（担当：佐々木） ・工作あそびをやる。 ユンノリグループ（担当：大津） ・ユンノリ（すごろくのようなもの）をやる。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・体育館の前半分が音楽グループ、後ろ半分が民族衣装グループとする。 ・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。 ・ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。
11：25 ～ 12：00	3. 学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。 ・活動場所の移動（移動時間は5分） ・後半グループで2～3を行う。	・各グループでふりかえりをする。
12：05	4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。 ・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

提出書類①

校種・学校番号

- ・ 事後の活動（振り返りや共有、まとめの学習等を具体的に）
- ・ 韓国の文化について学んだことを全体でまとめる。
- ・ 他の国の文化についてもグループごとに調べ、全体で発表する。

提出書類①

SAINS-WEBに掲載しています。ご活用ください。

2026年(令和8年)1月9日

校種・学校番号
小学校・101

たぶんかきょうせい

じぎょうけいかくしよ

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 電話 044-966-5161 /FAX 044-966-8654

がっこうめい 学校名 [川崎市立西生田小学校]

たんとうきょうゆめい 担当教諭名 [小川 京子]

こうちやうめい 校長名 樋口 彰



1. 実施日時 : 2026年(令和8年)2月6日(金曜日)

実施時間帯 : 午前 10時30分 ~ 12時15分

きょうか たんげんめい 教科・単元名 [総合的な学習の時間・つながる世界の国とわたしたち]

2. 対象児童生徒 学年 [1 2 ③ 4 5 6 年] 115名

その他 []

3. 車の搬入口 正門

4. 活動のねらい(単元目標) 韓国の言葉や文化に触れ、興味や関心をもつ。

5. 活動の流れ(展開)

① (はじめの会) 全体会 場所: 体育館

10:30~10:55

・あいさつ ・(講師の方)自己紹介

・「あかてぬぐいのおくさんと七人のなかま」の読み聞かせ

② (伝承遊び・言葉や文化・衣装・楽器) コーナーに分かれてのワークショップ(前半)

11:00~11:25

担 当	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 ぜんはん こうはん 前半 後半
①山脇(やまわき)	でんしょうあそ 伝承遊び(チェギ・ペンイ)	たいいくかん 体育館	36名・36名
②駒場(こまば)	だ が っ き たいけん 打楽器体験	しちやうかくしつ 視聴覚室(4F)	20名・20名
③小川(おがわ)	みんぞくいしやう 民族衣装	どくしよ もり 読書の森(2F)	20名・20名
④安室(やすむろ)	ことば ぶんか 言葉・文化	3-4(2F)	28名・28名
⑤森島(もりしま)	ユンノリ	プレイルーム (4F 視聴覚室隣)	28名・28名

③ (伝承遊び・言葉や文化・衣装・楽器) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

11:30~11:55

④ (おわりの会) 場所: 体育館で行う

12:00~12:15 ・感想交流・お礼の言葉

今年の予定最大人数を書かせて
もらっています。

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

3年後期総合「つながる世界の国とわたしたち」

〈めざす子どもの姿〉

- ・本やインターネットを使って調べたことを、模造紙や紙芝居にまとめて伝えることができた。
- ・調べることって楽しいな。今度は別の国のことも調べたい。
- ・世界にはいろんな国があって、おもしろい。外国の子にも、日本のことを知って欲しい。



○調べた情報を共有し、クラスで伝え合う。②

- ・オーストラリアのスポーツについて調べたよ。海に囲まれているから・・・
- ・オーストラリアの動物について調べたよ。コアラやカンガルーが・・・
- ・国旗にも意味があるんだよ。青は・・・
- ・韓国の有名な食べ物・・・

○韓国文化体験を行う。⑥

- ・韓国の物語や音楽、遊び、言葉などを教わって、面白かった。
- ・他のグループはどんなことをしたのかな。

○調べたことをもっと多くの人に知ってもらおう。⑮

- ・発表会の計画を立てよう。(対象、目標、必要な作業、役割分担)
- ・準備をしよう。
- ・劇で伝えたいな。
- ・クイズも入れて、楽しんでもらいたいな。

○世界の国を調べてみよう。④

- ・こんなにたくさんの国があるんだね。
- ・給食がないから、お昼ごはんを食べにうちに帰るんだって。
- ・日本と時間差が大きいよ。どんな遊びが人気なのかな。
- ・動物や植物には違いがあるのかな。

○もっと詳しく調べる計画を立てる。調べる。⑥

- ・本だけではわからないこともあったよ。インタビューできる人はいないかな。
- ・インターネットも使って調べよう。本当の情報が、きちんと見極めないといいけないよ。
- ・料理がおいしそうだったから、材料とか作り方も調べてみよう。

○「三年とうげ」や他の国の民話を読む。(国語)

- ・楽しい物語がいっぱいあった。
- ・2月に韓国文化体験ができるんだって。楽しみだね。

〈導入〉 ②

- ・前期の総合的な学習の時間をふりかえり、後期の総合について考える。
- ・韓国について調べてみたいな。
- ・他の国についても調べてみたい。
- ・調べたことを、またかるたにして伝えようかな。

・事前の活動

- 三年とうげや他の国の民話を読む。
- 世界の国を調べる。
- もっと詳しく調べる計画を立て、調べる。
- 調べたことをクラスで伝え合う。

・事前準備

- 会場手配、打ち合わせでの全職員への周知(駒場)
- ストーブ・暖房、鍵開け(森島)※読書の森は、床暖房を朝一で入れる。
- 言葉グループ資料の印刷(小川)
- 飲み物(山脇)



とうじつ かつどう
・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:00	講師の先生方来校 ※職員室にお声をおかけください。 ★案内・楽器運び（山脇）	・衣装の児童は、体育着に着替える。 ・養生テープに「前半〇〇、後半〇〇」と書いて、左胸に貼る。 ・10:20には児童は、防災頭巾を持って、教室出発。 ・最初の出会いを大切にしたい。
10:30 ～ 10:55	1. はじめの会 場所：体育館 （今日の時間、活動を確認する。） ・あいさつ・講師の方の紹介 ・「あかてぬぐいのおくさんと七人のなかま」の読み聞かせ	・韓国文化体験実行委員が司会・進行していく。 ・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
11:00 ～ 11:25	2. グループにわかれて活動する。＜前半＞ ①伝承遊びグループ 場所：体育館（担当：山脇） ・韓国の伝承あそびをやる。 ②音楽グループ 場所：視聴覚室（担当：駒場） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 ③民族衣装グループ 場所：読書の森（担当：小川） ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 ・民族衣装を着させていただく。 ④言葉・文化グループ 場所：3-4（担当：安室） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。 ・簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・小学校の様子などを教えていただく。 ⑤ユンノリグループ 場所：プレイルーム（担当：森島） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。 ・韓国・朝鮮の遊び（すごろくに似ている）を体験する。	＜伝承遊びグループ＞ ・広い活動場所を用意する。 ＜音楽グループ＞ ・事前のグループ分けのときに、聴覚過敏の児童は、他のグループを選んだ方がいいのではと伝える。 ＜民族衣装グループ＞ ・事前に体操着に着替え、トイレに行ったか確認。子どもが衣装を着た自分の姿を見れるものがあるとよりいい。（ギガ端末でカメラモードにし、テレビに映す。） ＜言葉グループ＞ ・会話とハングル表を拡大提示装置でTVに映す。 ・テキストを人数分印刷しておき、講師の先生に渡す。 ・筆箱を持参する。 ＜ユンノリグループ＞ ・布製特大シートが置ける部屋を用意する。
11:35 ～ 11:55 （移動）	3. グループにわかれて活動する。＜後半＞	・韓国・朝鮮の音楽や衣装・言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。
12:00 ～ 12:15	4. おわりの会 場所：体育館 ・感想・質問 ・講師の先生からの話 ・お礼の言葉	・実行委員の司会で、終わりの会をする。 ・児童は終わったら、自分の教室に戻る。

・ 事後の活動

○韓国文化体験で体験したことを他のグループの友達と伝え合う。

○自分達が調べたことをもっと多くの人に知ってもらう。

提出書類①

2025 年（令和 7 年） 11 月 21 日

校種・学校番号

小・103

たぶんかきょうせい じぎょうけいかくしよ 多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 電話 966-5221 /FAX 966-6938 学校名 [川崎市立金程小学校]

たんとうきょうゆめい 担当教諭名 [すずき ひではる 鈴木 秀治] こうちようめい 校長名 あしかり たつや 芦刈 竜哉

1. 実施日時 : 2026 年（令和 8 年） 2 月 12 日（木曜日）

実施時間帯 : 午前 10 時 30 分 ~ 午後 12 時 15 分

教科・単元名 [道徳科・他の国の人となかよくなるために]

2. 対象児童生徒 学年 [3 年] 約 61 名

その他 []

3. 車の搬入口 裏門（体育館と会議室が近いため）

4. 活動のねらい（単元目標）

他国の文化に関心を持ち、理解を深め、それらの文化に親しもうとする心情を育てる。

5. 活動の流れ（展開）

①（ 10:30 ~ 10:55 ）全体会 場所： 体育館

進行（ふれあい事業実行委員）

・あいさつ

・講師の方の自己紹介

・「三年とうげ」の読み聞かせ（TV・PCの準備）

②（ 11:00 ~ 11:30 ）コーナーに分かれてのワークショップ（前半）

担当 講師のお名前	内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	言葉	3年1組教室	15・15
	衣装	2階ホール	16・16
	遊び	体育館	15・15
	楽器	会議室	15・15
			.
			.

③（ 11:30 ~ 12:00 ）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（ 12:00 ~ 12:15 ）全体会 場所： 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:00 頃	・講師到着 - 楽器等搬入補助（ ）	
10:30	・今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・紙芝居「3年とうげ」	・最初の出会いを大切にしたい。 ・総合的な学習実行委員が司会・進行していく。
11:00～ 11:30 11:30～ 12:00	2.グループにわかれて活動する。 音楽グループ 会議室 担当（鈴木ひ） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい。一緒に演奏をする。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 民族衣装グループ 2 階ホール 担当（水戸） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ 体育館 担当（鈴木ひ） ・韓国の伝承遊びをやってみる。 民話・言葉グループ 3年1 組教室 担当（水戸） ・韓国、朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前を書いてみる。 ・自分たちで調べた民話の紹介。民話を聴かせていただく。 3、学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・体育館の前半分が音楽グループ、後ろ半分が民族衣装グループとする。 ・韓国、朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなという気持ちをもたせたい。 ・半そで、ハーフパンツ（体操着） ・ハングル文字の拡大コピー、A3 裏表で児童数分コピーし講師に渡す。 ・各グループで振り返りをする。
12:00～ 12:15	4. 学年全体で今日の活動について感想を交流する。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ	・実行委員の司会で、終わりの会をする。

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025 年（令和 7 年） 10 月 2 日

校種・学校番号

小・104

たぶんかきょうせい じぎょうけいかくしよ
多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ

電話 044-966-3550

/FAX 044-966-7445

がっこうめい

学校名〔

百合丘小学校

職印

たんとうきょうゆめい

担当教諭名〔 額縁恵三 〕

こうちやうめい

校長名 長嶺祐介

1. 実施日時 : 2023 年（令和 7 年） 11 月 21 日（金 曜日）

実施時間帯 : 午前 ・ 午後 10 時 25 分 ~ 12 時 15 分

教科・単元名〔 国語「三年とうげ」 道徳「マサラップ」〕

2. 対象児童生徒 学年〔 1 2 3 4 5 6 年 〕 約 120 名

その他〔 〕

3. 車の搬入口 正門（別途地図参照）

4. 活動のねらい（単元目標）

- ・他国の文化に関心をもち、理解を深めさせ、それらの文化に親しもうとする心情を育てる。
- ・自国と他国の違いやよさに気づき、お互いに仲良くなるために大切なことについて考える。

5. 活動の流れ（展開）

①（10:25~10:50）全体会 場所：体育館（挨拶・講師の方の自己紹介）

②（10:55~11:25）コーナーに分かれてのワークショップ（前半）

衣装・伝承遊び・カンガンスルレ・言葉

③（11:30~12:00）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

衣装・伝承遊び・カンガンスルレ・言葉

担当 講師のお名前	内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
3年1組 鶴見祐子	衣装・伝承遊び カンガンスルレ・言葉	4階各クラス 多目的室 体育館	29
3年2組 御船歩			29
3年3組 額縁恵三			31
3年4組 穂田聡美			30
			.
			.

④（12:05~12:15）全体会 場所：体育館

体験終了後、体育館へ移動

講師の方のお話

実行委員の感想・お礼の言葉・挨拶

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

令和7年度 活動の流れ

- ・事前の活動 道徳「マサラップ」 国語「三年とうげ」
- ・当日の流れ

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	1. 今日の時間と活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の自己紹介 ・紙芝居「三年とうげ」	・場所 体育館 ・実行委員が司会・進行をする。 ・クラスごとに2列に並ぶ。 ・ <u>ポータブルマイク</u> を用意する。
10:50		
10:55	児童移動	・各グループに教師がつき、活動がスムーズに進むようにする。
11:00-	2. グループに分かれて活動をする。 前半開始 衣装 伝承遊び カンガンスルレ 言葉	（衣装）3-4 担当 穂田 ・机と椅子をすべて廊下に出しておく。 ・床をきれいに掃いておく。 ・ <u>体育着を着ておく。上ばきは脱ぐ。</u> ・ <u>クロームを持参してテレビに写す。</u> ・どんな時にこの衣装を着るのか、年中行事の話などを聞く。
11:25	トイレ・水のみ休憩	（伝承遊び）体育館 担当 織織 ・韓国の伝承遊びを3つやってみる。
11:30	後半開始 衣装 伝承遊び カンガンスルレ 言葉	（カンガンスルレ）多目的室 担当 御船 ・机と椅子を寄せておく。 ・掃き掃除をしておく。
11:55	体験終了 体育館へ移動する。 全体会（クラスごと2列に並ぶ）	（言葉）3-1 担当 鶴見 ・ <u>拡大「あいうえお表」を黒板に掲示しておく</u> ・ <u>ハングルのパンフレットは、講師に渡す。</u> ・韓国語の挨拶や簡単な言葉を教わる。 ・ハングルで自分の名前を書いてみる。 ・ <u>筆箱を持参する。</u> ・全体でふりかえりをする。
12:00	3. 講師の先生の話 ・総合実行委員が、今日の感想とお礼の言葉 お別れの挨拶をする。	・総合実行委員が中心になり、終わりの会を行う。 ・教室に戻ってから、振り返り用紙に記入する。 （後日でもよい）
12:15		・韓国、朝鮮の衣装や言葉の体験がきっかけとなり、他の国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。



多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-966-6376 /FAX 044-966-8982 学校名〔 南百合丘小学校 〕

担当教諭名〔 菊地 知加 〕 校長名 福岡 雄二

1.実施日時 : 2025年(令和7年) 12月 16日(火曜日)

実施時間帯 : 午前・ 午後 10時 45分 ~ 12時 05分

教科・単元名〔 国語 ・ スーホの白い馬 〕

2.対象児童生徒 学年〔 1 2 3 4 5 6 年 〕 約 135名

その他〔 〕

3.車の搬入口

なし

4.活動のねらい(単元目標)

モンゴルの文化にふれてみよう～「スーホの白い馬」から～
国語の「スーホの白い馬」の舞台モンゴルについて、いろいろな生活や文化があることを知る。

5.活動の流れ(展開)

①(10:45 ~ 11:25)全体会 場所: 体育館

- ・講師の方の自己紹介
 - ・モンゴル「スーホの白い馬」について
 - ・馬頭琴(映像)
 - ・講演「モンゴルについて」
- 衣装、踊り、食事、住居など、文化についてのお話

②グループ別 遊び体験(11:30 ~ 11:55)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
講師の先生、(菊池)	踊り	体育館	45名
(飯沼)	シャガイで競馬	会議室	40名
(後藤)、(松原)	おにごっこ	多目的室	40名

③(12:00 ~ 12:10)全体会 場所: 体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先:教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ

・事前の活動

「スーホの白い馬」の導入、初発の感想を書いている程度。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
中休み	○講師来校。 ○会議室にて待機。 ○児童準備 トイレ、防災頭巾	・講師の対応（山田） ・学年対応（菊池）
10：40	○児童は体育館へ移動	・準備（後藤最終チェック） プロジェクター、長机、 パイプ椅子2脚、マイク、 ・児童整列（飯沼、松原） ・講師案内（菊池）
10：45	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・国語「スーホの白い馬」について ・馬頭琴の映像	・後藤が司会・進行していく。その後は、講師の方が進行。 ・馬頭琴の映像は、あれば用意をお願いしたい。
10：55 ～ 11：25	2. 講演「モンゴルの生活」 ・衣装 ・踊り ・食事 ・住居 ・学校 などの文化についてお話を聞く。	・講師の方が映像や民芸品を使ってモンゴルの話をする。 ・児童は、聞きながらメモをとる。
11：30 ～ 11：55	移動 3. グループにわかれて活動する。 シャガイで競馬グループ （担当： 飯沼 ）教室 ・5人グループになり、ゲームのやり方を説明する。 ・遊ぶ 踊りグループ （担当：講師、菊池）わくわくホール ・じゃんけんの仕方、掛け声などを説明する。 ・遊ぶ おにごっこグループ （担当： 後藤、松原 ）体育館 ・ゲームの説明をする。 ・チームに分かれて遊ぶ。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
12：00 ～ 12：10	移動 4. 全体会 感想 各クラス1名 お礼の歌「 ありがとうの花 」 講師の方から	・各グループで振り返りをする。 ・司会は菊池が行う。 児童対応（飯沼、松原） 機器等片付け（菊池） 講師対応（後藤）

・事後の活動

スーホの住むモンゴルという国について理解を深め、興味関心をもって学習に取り組めるようにしたい。

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-988-9700 / FAX 044-988-7493 学校名〔 王禅寺中央小学校 〕

担当教諭名〔 八杉 奈津美 〕 校長名 小堤 紀子

1.実施日時 : 2025年(令和7年) 12月 2日(火曜日)

実施時間帯 : 午前10時45分 ~ 12時15分

教科・単元名〔 総合的な学習の時間 ・ 国際理解 〕

2.対象児童生徒 学年〔 3年 〕 約 72名

その他〔 〕

3.車の搬入口
車両門

4.活動のねらい(単元目標)

世界の国の様子やくらしを理解することを通して、仲良く過ごすためには他者理解が大切であることに気づき、友達作りに生かすことができる。違いをよさとして受容することができる。

5.活動の流れ(展開)

① (10:45 ~ 11:00) 全体会 場所: 交流棟ホール2階

進行: 八杉

・講師の方の自己紹介

・「三年とうげ」の読み聞かせ(TV・PCの準備)

② (11:05 ~ 11:30) コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	【韓国】 伝承遊び	交流棟ホール2階	24・24
	【メキシコ】 文化、 食生活、人気のスポーツ	特別活動室	24・24
	【タイ】 衣食住、 学校の様子、ダンス	交流棟ホール2階	24・24

③ (11:35 ~ 12:05) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④ (12:10 ~ 12:15) 全体会 場所: 交流棟ホール

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動（前時）万博から世界の国について知る。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:45	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。 ・3年担任が司会・進行していく。
(前半) 11:05 ～ 11:30	2. 「3年とうげ」韓国語版の読み聞かせを聞く。	
(後半) 11:35 ～ 12:05	3. グループにわかれて活動する。 ・活動場所の移動（移動時間は5分）	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・活動時間を確保するために、ふりかえりは事後の時間で行う。
12:10	4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・前後半それぞれの終わりには教員がついて、お礼の言葉を伝えられるようにする。 ・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。

・事後の活動

教えてもらったことを共有し、個別で調べたいことを決める。

インターネットや図書を用いて調べ、わかったことをまとめる。

2025 年（令和 7 年）

9 月 29 日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-988-4348 /FAX 044-989-4956 学校名〔 真福寺小学校 〕

担当教諭名〔 山口草太 〕 校長名 鈴木みどり

1.実施日時 : 2025 年（令和 7 年） 10 月 22 日（水曜日）

実施時間帯 (午前) ・ 午後 10 時 30 分 ~ 12 時 00 分

教科・単元名〔 総合 ・ 世界を知ろう! 〕

2.対象児童生徒 学年〔 1 2 3 4 (5) 6 年 〕 約 44 名

その他〔 〕

3.車の搬入口 正門

4.活動のねらい（単元目標）

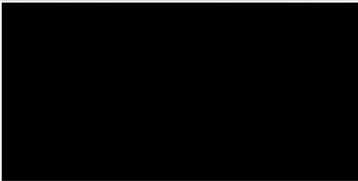
世界の国々の文化や暮らしの特徴や受け継がれているものの良さについて、日本文化との共通点や相違点とともに捉え、日本文化や世界の文化を守っていこうと考えることができるようにする。

5.活動の流れ（展開）

①（ 10:30 ~ 10:40 ）全体会 場所：3階プレイルーム

- ・ 進行（担当教員）
- ・ 本日のめあての確認
- ・ 講師の方の自己紹介

②（ 10:40 ~ 11:50 ）コーナーにかれてのワークショップ(2回講演)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講 演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
	韓国のこと	プレイルーム	15 人×2回
	メキシコの衣食住、学校の様子など	5-1	15 人×2回
	タイの衣食住、学校の様子、ダンスなど	5-2	15 人×2回

③（ 11:55 ~ 12:00 ）全体会 場所：3階プレイルーム

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ

※事前の探求活動を行う時間が十分に取れず、日本と他の国の違いに興味をもって、聞きたいことを簡単に考えた状態になりそうです。

○事前の活動

- ・前単元から世界の国々と日本との違いに興味をもつ
(・探求活動を通して、日本との文化の違いに気付く)
- (・調べてもわからなかったことや、調べたことをさらに深めるために必要なことを整理する→質問を考える)

○当日の活動

時間	活動の流れ(展開)	教師の支援と留意点
10:00	0. 講師の方の案内(宝谷教頭先生)	・校長室へ
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。 ・実行委員が司会・進行していく。 ・プレイルームで行う。
10:40 ～ 11:55	2. グループにわかれて活動する。 韓国 グループ (担当: 穴澤) ・講師の方の話を聞く ※一方的な説明ではなく、対話しながら行う。また、体験的なことも可能であれば行う。 メキシコ グループ (担当: 山崎) ・講師の方の話を聞く ※一方的な説明ではなく、対話しながら行う。また、体験的なことも可能であれば行う。 タイ グループ (担当: 山口) ・講師の方の話を聞く ※一方的な説明ではなく、対話しながら行う。また、体験的なことも可能であれば行う。 35分×2回(入れ替え5分)	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・プレイルーム→ 韓国 ・5-1 教室 → メキシコ ・5-2 教室 → タイ ・講師の先生に質問したり意見を伝え合ったりしながら進めていく ・メモは随時行う
11:55 ～ 12:00	4. 終わりのあいさつ ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・プレイルームで行う ・実行委員の司会で、終わりの会をする

○事後の活動

- ・調べたい国や分野を決定する
- ・調べたことをまとめる(スライド・紙芝居・劇や替え歌など)
- ・伝えたい相手に探求した内容を伝える

提出書類①

2025年(令和7年)

12月

23日

校種・学校番号

小・110

たぶんかきょうせい

じぎょうけいかくしよ

多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ
電話

(044)987 1579

/FAX

(044)987 7949

がっこうめい

学校名〔

かわさきしりつにじがおかしやうがっこう

川崎市立虹ヶ丘小学校〕

たんとうきやうゆめい
担当教諭名〔

なかそね

ひさよし

〕

こうちやうめい
校長名

いのうえ

けいこ

恵子

じっしにちじ
1.実施日時

:

2026

ねん

れいわ

ねん

1

がつ

13

にち

日

(

火曜日)

じっしじかんたい
実施時間帯

:

ごぜん

午前

10

じ

時

30

ふん

分

~

12

じ

時

20

きやうか たんげんめい
教科・単元名〔

国語

「えらんだ

民話を

しょうかい

しよう

〕

たいしやうじどうせいと
2.対象児童生徒

がくねん

学年〔

3

ねん

年〕

やく

26

めい

名

その他〔

くるま はんにやうぐち
3.車の搬入口

職員玄関の前

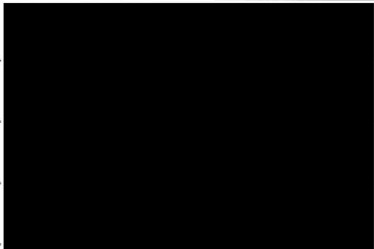
かつどう
4.活動のねらい(単元目標)

たんげんもくひやう

・韓国、朝鮮に関する文化、言葉などに触れ、自身の考えを深める。

かつどう なが てんかい
5.活動の流れ(展開)

※ 別紙参照

たんとう ごうしのおなまえ 担当 講師のお名前	ないやう がっき いしやう あそびことば こうえん 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など 内容
	楽器
	伝承遊び
	衣装
	言葉

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

○グループ編成について

- ・児童数は26人(男子14名 女子12名)
- ・事前に言葉を全体で学び、楽器・衣装・伝承遊び、の3グループで班の編成を行います。
各グループ、8名前後を予定しております。
- ・あらかじめ体育着にきがえておきます。

○活動時間について

- ・各20分の2部編成で行いたいと思います。
- 【はじめの会・読み聞かせ】 10:30～10:45
- 【ハングル文字を学ぼう】 10:45～11:00
- 【移動】 11:00～11:05
- 【1部】 11:05～11:25
- 【移動・トイレ】 11:25～11:35
- 【2部】 11:35～12:05
- 【移動】 12:05～12:10
- 【おわりの会とあいさつ】 12:10～12:20

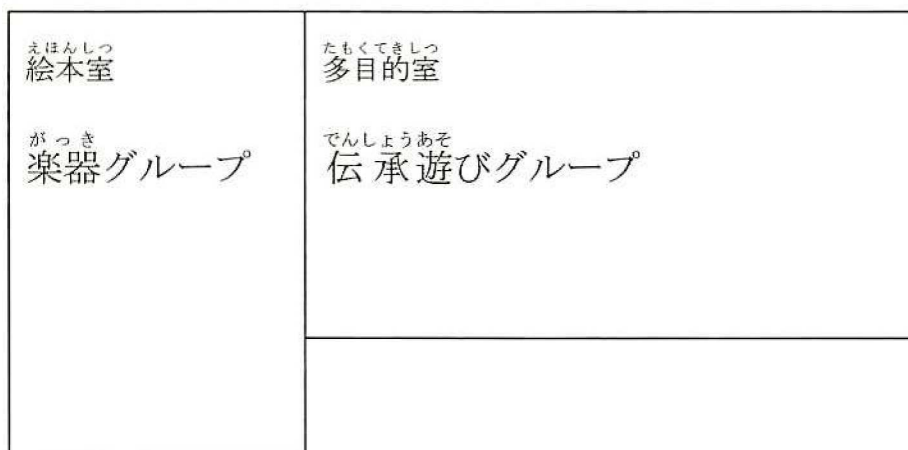
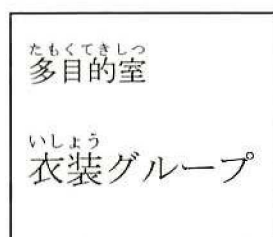
○活動場所

- ・3階 教室 2階 多目的室・絵本室

○会場図

3階 教室

2階 絵本室・多目的室



※人数の少ない学校ですが、様々なことに興味をもって取り組むことができる子ども達だと思います。
遠く、不便な所ですが、よろしくお願いします。

活動の流れ

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・三年とうげの読み聞かせ	・最初の出会いを大切にしたい。 ・代表児童が司会・進行していく。
10:45	・みんなでハングル文字について学ぼう。 （10～15分） ・ハングル文字にふれて、自分の名前を書いてみる。	・ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する
11:00 (移動)	2. 2グループにわかれて活動する。 ※2グループに分かれて活動する。	・各グループを教師がまわり活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
11:05 (1部)		
11:25 (移動)	衣装教室 楽器絵本室 伝承遊び多目的室	
(トイレ)	・衣装にきがえて学習を行う。	・韓国・朝鮮の文化や、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちを持たせたい。
11:35 (2部)	・韓国の伝承あそびをやってみる。 ・韓国の楽器で演奏してみる。	
11:55		
12:00	多目的室へ移動する。 3. 学習のふりかえりをする。（教室）	・各自でふりかえりを書く。
12:10	・ふりかえりカードに記入する。 4. 全体で今日の活動について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・代表児童の司会で、終わりの会をする。

提出書類②

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

令和7年 12月 23日(水)

韓国・朝鮮楽器等借用書

校種・学校番号

110

川崎市教育委員会事務局教育政策室
人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 川崎市立虹ヶ丘小学校

校長名 井上 恵子

担当者名 中曽根 央純

借用期間	R8年 1月 9日(金)～ R8年 1月14日(水)
借用希望日時	R8年1月9日(金) 16時
返却希望日時	R8年1月14日(水)に宿河原小に届けます
借用物品 (品名・数量)	●楽器 ☐ チャンゴ 10 台 ☐ ソゴ 3 台 ☐ プク 2 台 ☐ チン 1 台 ☐ ケンガリ 1 台 ●遊び道具 ☐ コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1 ケース ☐ トゥホ 2 台 ●衣装 ☐ 男子衣装 1 ケース ☐ 女子衣装 2 ケース ※ バチ(チェ)の数を事前にご確認ください。
使用目的	民族文化体験学習に使用する為
その他 特記事項 (他校との調整等)	宿河原小が15日(木)に使用するので、14日(水)に宿河原小に届けます。

※多文化交流 KfV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

校種・学校番号

110

学校名 川崎市立虹ヶ丘小学校

校長名 井上 恵子

担当者名 中曽根 央純

借 用 期 間	R8 年 1 月 9 日 (金) ~ R8 年 1 月 14 日 (水)
返 却 日	R8 年 1 月 14 日 (水) 宿河原小に届けました
借 用 物 品 (品名・数量)	●楽器 □チャング <u>10</u> 台 □ソゴ <u>3</u> 台 □プク <u>2</u> 台 □チン <u>1</u> 台 □ケンガリ <u>1</u> 台 ●遊び道具 □コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1 ケース □トゥホ <u>2</u> 台 ●衣装 □男子衣装 1 ケース □女子衣装 2 ケース ※ バチ (チェ) の数を事後にご確認ください。
使 用 物 品 の 状 況	☒ 異常なし □ 異常あり…□破損 □汚れ □紛失 □その他 () それは…□最初からあった □今回生じた 対処は…□修繕した (クリーニングした) □その他 ()
そ の 他 特 記 事 項 (他校との調整等)	

※多文化交流 KFV・川崎市国際交流協会を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

2025年(令和7年)12月9日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-988-8367 /FAX 044-988-8497

学校名〔 川崎市立岡上小学校 〕

担当教諭名〔 木下 健一 〕 校長名 齊野 裕子

1.実施日時 : 2024年(令和6年)12月15日(月曜日)3,4校時

実施時間帯 : 午前10時45分～12時15分

教科・単元名〔 国語・三年とうげ 〕

2.対象児童生徒 学年〔 3年 〕 約40名

その他〔 担任2名、個別級担任1名 〕

3.車の搬入口 西門

4.活動のねらい(単元目標)

韓国、朝鮮の文化を知り、体験することで日本との違いに気付いたり、親しみをもったりする

5.活動の流れ(展開)

①(10:45～11:10)全体会 場所:理科室

・進行(岡上小教員)

・講師の方の自己紹介

・「三年とうげ」の読み聞かせ(TV・PCの準備)

②(11:15～11:40)コーナーにかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演 など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
講師の方	音楽	音楽室	前半9人・後半5人
講師の方	言葉	理科室	前半6人・後半9人
講師の方	衣装	図工室	前半11人・後半10人
講師の方	伝承遊び	体育館	前半14人・後半16人

③(11:45～12:10)コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

④(12:10～12:15)全体会 場所:体育館

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先:教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ

○事前の活動

- ・三年とうげの学習後に広げる活動として、行う。
- ・衣装のスライドを事前に見ておく

○当日の活動

時間	活動の流れ(展開)	教師の支援と留意点
9:45 頃	講師の方到着(電車) 対応:職員室 控室(着替えあり):PC ルーム 講師の方4名、国際交流協会の方2名	・参加グループ名簿を用意しておく。 ・12月12日(金)までに久本小職員が楽器と衣装を届けてくださる。
10:45～ 11:10	1. 今日の時間、活動を確認する。(理科室) 司会・進行:戸嶋 ・あいさつ、講師の方の紹介 5分 ・三年とうげ読み聞かせ(韓国語 Ver.) 10分 ・衣装と言葉・遊びの説明 5分	・講師の方の資料を必要に応じてコピー ・音楽室に楽器の準備(朝)弦を張る ・理科室にギガ端とテレビの準備(戸嶋) ・体育館にきれいなブルーシート準備(木下) ・振り返りカードをたんけんバッグに挟む ・ <u>衣装を体験する児童は体育着着用</u>
11:15～ 12:10	2. グループに分かれて活動する。 11:15～11:40 前半(ふりかえり含む) 11:40～11:45 移動・トイレ休憩 11:45～12:10 後半(ふりかえり含む) 音楽グループ(担当:講師の方)音楽室 ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 民話・ことばグループ(担当:講師の方)理科室 ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。 また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・民話を聞かせていただく。 民族衣装グループ(担当:戸嶋)体育館 ・民族衣装を着せていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ(担当:木下)体育館 ・韓国の伝承あそびをやってみる。	・最初の出会いを大切にしたい。 ・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなという気持ちをもたせたい。 ・各グループでふりかえりをする。 ・衣装を体験する児童は体育着着用 ・チェギ(けまりのようなもの) ・トウホ(矢を投げ入れる)のみ体験。
12:10 ～12:15	3. 学年全体で今日の発表について感想を共有 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。 片付け:職員	・教員の司会で、終わりの会をする。

○事後の活動

- ・新聞やスライドなどで学習したことをまとめ、クラス・学年内で共有する

提出書類②

令和7年 12月 9日 (火)

韓国・朝鮮楽器等借用書

校種・学校番号
小学校・111

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名 川崎市立岡上小学校

校長名 齊野 裕子

担当者名 戸嶋 美友紀

借用期間	令和7年12月12日(金)～令和7年12月15日(月)
借用希望日時	令和7年12月15日(月)
返却希望日時	令和7年12月15日(月) 平小へ本校職員が搬入
借用物品 (品名・数量)	●楽器 ■チャンゴ 13台 ■ソゴ 3台 ■プク 2台 ■チン 1台 ■ケンガリ 1台 ●遊び道具 ■コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース ■トゥホ 2台 ●衣装 ■男子衣装 1ケース ■女子衣装 2ケース ※ パチ(チェ)・矢等の数を事前にご確認ください。
使用目的	韓国、朝鮮の文化を知り、体験することで日本との違いに気付いたり、親しみをもったりするため。
その他 特記事項 (他校との調整等)	特になし

※多文化交流KFV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要
提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

提出書類②

令和7年 12月 9日 (火)

韓国・朝鮮楽器等借用書

校種・学校番号
小学校・111

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

報告書

学校名 川崎市立岡上小学校

校長名 齊野 裕子

担当者名 戸嶋 美友紀

借用期間	令和7年12月12日(金)～令和7年12月15日(月)
借用希望日時	令和7年12月15日(月)
返却希望日時	令和7年12月15日(月) 平小へ本校職員が搬入
借用物品 (品名・数量)	●楽器 ■チャンゴ 13台 ■ソゴ 3台 ■プク 2台 ■チン 1台 ■ケンガリ 1台 ●遊び道具 ■コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1ケース ■トゥホ 2台 ●衣装 ■男子衣装 1ケース ■女子衣装 2ケース ※ パチ(チェ)・矢等の数を事前にご確認ください。
使用目的	韓国、朝鮮の文化を知り、体験することで日本との違いに気付いたり、親しみをもったりするため。
その他 特記事項 (他校との調整等)	特になし

※多文化交流KFV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要
提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

提出書類①

SAINS-WEBに掲載しています。ご活用ください。

2025年(令和7年)8月29日

校種・学校番号

小・ 112

たぶん かきょうせい じぎょうけいかくしよ
多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 電話 044-987-6367 /FAX 044-987-7984 学校名 [片平小学校]

たんとうきょうゆめい ながむら こうたろう こうちようめい あさひな ゆたか
担当教諭名 [中村 浩太郎] 校長名 朝比奈 浩

職印

じっしにちじ : 2025 年 (令和7年) 9月26日 (金曜日)

じっしじかんたい 実施時間帯 (午前) ・ 午後 10時30分 ~ 12時10分

きょうか たんげんめい 教科・単元名 [国語・ 三年とうげ 総合・知ろう ふれよう いろいろな国]

たいしやうじどうせいと がくねん 学年 [1 2 (3) 4 5 6 年] 約110名

その他 []

くるま はんにゆうぐち
3. 車の搬入口 正門~体育館脇

かつどう たんげんもくひよう
4. 活動のねらい (単元目標)

韓国の文化にふれ、世界の国々にはさまざまな文化があることを調べるきっかけとする。

かつどう なが てんかい
5. 活動の流れ (展開)

ぜんたいかい ばしよ
①全体会 場所: 体育館

10:30~10:55 自己紹介 ・ 衣装の紹介
・ 川崎市ふれあい館 大型紙芝居 (三年峠)

②コーナーに分かれてのワークショップ (前半)

11:00~11:25

たんとう 講師のお名前	ないよう 内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	かつどうばしよ 活動場所 音楽室など	じどう せいとにんずう 児童・生徒人数 前半・後半
	衣装	教室	未定
	音楽	体育館	未定
	言葉・文化	教室	未定
	伝承遊び	多目的ルーム	未定
			.
			.

③コーナーに分かれてのワークショップ (後半)

11:30~11:55

④全体会 場所: 体育館

12:00~12:10

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください (手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・三年とうげの朗読を聞かせていただく。 （韓国語）	・最初の出会いを大切にしたい。 ・総合学習実行委員会が司会・進行していく。 ・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
11:00 前半	2. グループにわかれて活動する。 衣装グループ ・何人か着させていただき、どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ ・韓国の伝承あそびをやってみる。	・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいなという気持ちをもたせたい。
11:30 後半	民話・ことばグループ ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・自分たちで調べた民話の紹介。民話を聞かせていただく。 音楽・楽器グループ ・チャンゴなどの韓国の民族楽器を体験する。	・ハングル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。
12:00	3. 学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。 4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・各グループでふりかえりをする。 ・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

2025年(令和7年) 9月19日

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044(987)4633 / FAX 044(987)8396

学校名〔 川崎市立栗木台小学校 〕

担当教諭名〔 竹内 美絵 〕

校長名 袴田 深雪

1. 実施日時 : 2025年(令和7年) 10月21日(火曜日)
 実施時間帯 : 午前 10時45分 ~ 12時05分
 教科・単元名〔 総合的な学習の時間・「ともに生きる 川崎市」 探究活動②世界の国の文化の魅力 〕

2. 対象児童生徒 学年〔 3年 〕 100名 その他〔 支援級児童4名を含む 〕

3. 車の搬入口 車搬入なし(事前に搬入の時間、台数等お知らせいただければ正門より可能です。)

4. 活動のねらい(単元目標を含む)

総合的な学習の時間「ともに生きる川崎市」の探究活動②「世界の国の文化の魅力」(外国の文化(特に遊び)に興味をもち、自ら課題を見つけ、調べたり、体験したことを友だちと共有する)の導入として、世界の国々への興味をもつ意欲付けにしたい。

5. 活動の流れ(展開) ※PCルームに5分前に集合できるように移動します。

① (10:45 ~ 10:55) はじめの会 場所: PCルーム

進行(多文化実行委員児童)・講師の方の自己紹介・流れの確認・日本の歌の紹介(ピアノの準備)

② (10:55 ~ 11:25) コーナーにかかれてのワークショップ(前半)

担 当 講師のお名前	内 容 楽器・衣装・遊び・言葉・ 講演など	活動場所 音楽室など	児童・生徒人数 前半・後半
ブラジル [黒塗り]	国の紹介のお話15分 輪になる遊び15分	3階PCルーム	各回30~35人前後
中国 [黒塗り]	国の紹介のお話15分 遊び15分【ジェンズ(けまり)・ サバアウ(お手玉)】	1階ホール	各回30~35人前後
モンゴル [黒塗り]	国の紹介のお話15分 遊び15分【シャガイ(羊のくる ぶしの骨)のゲーム】	4階3-2教室 (目の前ホール)	各回30~35人前後

③ (11:30 ~ 12:00) コーナーに分かれてのワークショップ(後半)

※11:25~11:30で5分間の移動を行います。

④ (12:00 ~ 12:05) おわりの会 場所: 各活動場所にて

司会: 各活動場所担任・感想の発表・講師の方から一言 ※終了後各教室でふりかえり

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ（詳しい展開）

本校の3年生は、総合的な学習の時間で「ともに生きる 川崎市」を年間70時間で学ぶ。

探究活動①では川崎市の魅力について各区の魅力を調べ、自分のまちに愛着をもつ活動を行ってきた。

探究活動②として、川崎市には外国籍の人がたくさん暮らしていることを知り、様々な国について興味関心をもち、他の国の文化についてもっと知ることを課題として設定し、体験し、調べ、知ったことをやってみる。

探究活動③は世界の文化について知ったことを他学年や保護者などに伝え、一緒に活動する機会を設ける。

（仮称：栗木台遊び万博）その中で、多文化が共生している川崎市についての理解を深めていきたい。

今回の事業ではこの内、探究活動②「世界の国の文化の魅力」（外国の文化（特に遊び）に興味をもち、自ら課題を見つけ、調べたり、体験したことを友だちと共有する）の導入として、世界の国々への興味をもつ意欲付けとしたい。

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:00	講師来校、PCルームを控室とし、案内。 ＊必要があれば事務センターに寄っていただく	対応：用務員・職員室にいる職員 準備：各場所に大型TV、HDMIコード（typeC） 3-2 教室には竹内GIGA端末 3-2 教室は机×4、椅子5のグループ型に7班配置
10:40 10:45	児童3階PCルームに集合・移動 1. 今日の時間、活動を確認する。（担当：竹内） ・あいさつ ・講師の方の紹介 ・流れの確認 ・日本の歌の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。 ・多文化共生実行委員会が司会・進行していく。
前半 10:55 ～ 11:25	2. グループにわかれて活動する。 <u>ブラジルグループ</u> （担当：竹内）3階PCルーム ・講師から国を紹介するお話をしてもらう。 ・「輪になる遊び」のやり方を教えてもらい遊ぶ	※参加グループ名簿を前後半に分けて用意しておく。 ・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
移動 11:25 ～ 11:30	<u>中国グループ</u> （担当：山中）1階大ホール ・講師から国を紹介するお話をしてもらう。 ・「ジェンズ」と「サブアウ」の2チームに分かれ、やり方を教えてもらい、遊ぶ。	・ブラジルや中国、モンゴルの文化を知り、やってみることがきっかけになり、ほかの国についても調べてみたいなどという気持ちをもたせたい。
後半 11:30 ～ 12:00	<u>モンゴルグループ</u> （担当：鈴木）4階3-2教室 ・講師から国を紹介するお話をしてもらう。 ・「シャガイ」のやり方を教えてもらい、遊ぶ。	
12:00 ～ 12:05	3. 学習のふりかえりをする。 ・各活動場所で感想を話したり質問したりする。 ・講師から一言もらう。 ・お礼の言葉とあいさつをする。	・各グループでふりかえりをする。 ・担当教員の司会と実行委員の言葉で、終わりの会をする。
12:05 ～ 12:15	（自分の教室に戻り） ・ふりかえりカードに記入する。 講師の方々には児童退出後、随時退出していただく。	

・事後の活動（振り返りや共有、まとめの学習等を具体的に）

＊主に総合的な学習の時間で

提出書類①

各クラスで出前授業を受けてのまとめを行う。他の文化・他の国の文化（主に遊びの視点で）についてインターネットや本、ALTの話を聞くなどして調べる活動を行う。自分たちでできそうな遊びを試し、ワークショップ形式でクラス、学年でやってみる。1月には主に4年生を招待して交流する。休み時間などで他学年とも交流を予定。1月末には授業参観で保護者向けに交流を予定している。

★興味のある国や地域に応じて、学年を解体して活動（学年総合）の形をとることも検討中

3年総合的な学習の時間

ともに生きる川崎市

世界の国の文化のみりよく

川崎市立小2023 11月

川崎市の人口は・・・

1,553,920人

150万人都市

(日本で7番目に大きい大都市！)

(令和7年[2025年]4月1日現在)

そのうち、
川崎市住んでいる外国籍の人

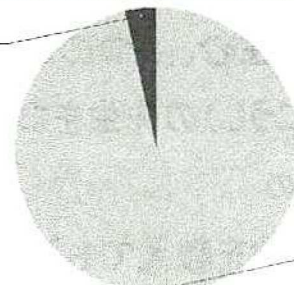
外国人住民登録者数

57,355 人

(男性 29,164 人／女性 28,191 人)

川崎市住んでいる外国籍の人を
わりあい にすると・・・

外国人
3.6%



日本人
96.4%

約 **3.6 %** が外国籍の人です。

そのうち・・・川崎市住んでいる外国
籍の人、どこから？

1位...中国(18008人)

2位...韓国、朝鮮(7726人)

3位...ベトナム(6946人)

川崎市住んでいる外国籍の人、
ほかにも・・・

フィリピン

ネパール、インドネシア、インド

アメリカ、ミャンマー、台湾

ブラジル、タイスリランカ、

バングラディッシュ、ペルー・・・

国際交流センター 川崎市に住んでいる外国人

くわしい資料

川崎は、外国籍の人が
たくさん住んでいるので...



多文化...いろいろな国の文化
共生...大切に、みとめあい、
尊重(そんちょう)しあって



くらす。生きていく。
ことをめざしている!!

外国籍の人とも、いろんな人と
なかよくなるには...

まずは、

いろいろな国の文化(多文化)
を知ろう!

そして...アクション へ!!

10月21日(火)3・4校時
多文化じゅぎょう!

川崎に住む、3つの国から来た
講師(こうし)の先生をまねいて!
それぞれの国をしょうかいしてもらい
遊びや歌を教えてくださいます!!

多文化じゅぎょうの進め方

前半と後半に分かれて
2つの国を体験(たいけん)します。
ブラジル...PCルーム
中国...大ホール
モンゴル...3-2教室・ホール

おまけに...

自分が体験(たいけん)する国の
場所を地図でさがしてみても
いいね♪



提出書類①

SAINS-WEBに掲載しています。ご活用ください。

2025年(令和7年) 11月 18日

校種・学校番号

特別支援・301

たぶんかきようせい

じぎょうけいかくしよ

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044-766-6500 /FAX 044-766-5174

学校名〔川崎市立聾学校〕

担当教諭名〔井上 実幸・勝澤 聡恵〕

校長名 中野 理佳



1. 実施日時 : 2026年(令和8年) 1月 19日(月曜日)

実施時間帯 : 午後 13時30分 ~ 14時30分

教科・単元名〔総合的な学習の時間・モンゴルについて知ろう〕

2. 対象児童生徒 学年〔3 4 5 6 年〕 9名

3. 車の搬入口 富士通側の正門より10mほど右に駐車場入り口あり。
(工事のため、工事ゲートで声をかけてください。)4. 活動のねらい(単元目標)
モンゴルと日本の違いや同じところについて知り、外国への興味を広げる。

5. 活動の流れ(展開)

①(13:30~13:35) 場所: 音楽室
・自己紹介②(13:35~13:50) ・モンゴルについての紹介
国の位置・国旗・有名なもの・挨拶・モンゴルの手話
学校の様子(勉強の様子や遊びの様子)など③(13:50~14:15) ・モンゴルのダンスについて
ダンスを観て、実践する

④(14:15~14:20) ・記念撮影

⑤(14:20~14:30) ・質問をしたり、今日学んだことの感想やお礼を講師の方に
伝えたりする

※講師の先生:



※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください(手書きでもかまいません)

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動

3～6年1組 冬休みの宿題 モンゴルと日本の同じところ、違うところを調べよう。

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
13：30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ○あいさつ ○講師の方の紹介	・（ 益田 ）が進行する。 ・手話通訳をつける。
13：35	2. モンゴルについて紹介してもらう。 （パワーポイントなどを使う） ○国の位置、国旗、有名なもの、挨拶、 モンゴルの手話、学校の様子など ○モンゴルのあいさつなどを、言ってみたり手話で表現したりする。 （こんにちは、ありがとう、ごめんなさい、好きです etc.） ○モンゴルの小学校での勉強の様子や遊びの様子を聞く。	・わかりにくい言葉は、ホワイトボードに書く。（ 勝澤 ） ・児童の実態によって補足が必要な場合には、説明を付け加えさせていただく。 ・モンゴル語の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。
13：55	3. モンゴルのダンスを教わる。 ○モンゴルのダンスを見たり、講師の方に教わったりして、実際にやってみる。	
14：20	4. 写真撮影	
14：25	5. 質問をしたり、今日学んだことの感想を講師の方に伝えたりする。	
14：30	6. 終わりのあいさつ <u>その後、各クラスに戻り、振り返り等を行う。</u>	・可能なクラスは、事前に質問を考えておくようにする。

・事後活動

同じところや違うところ、気づいたことなどを作文でまとめる。

提出書類①

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

2025 年 (令和 7 年) 6 月 2 日

校種・学校番号

特支・303

たぶんかきょうせい じぎょうけいかくしよ
多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ 電話 355-1240 /FAX 333-610 学校名 (川崎市立田島支援学校)

たんとうきょうゆめい 担当教諭名 (稲餅文代) こうちょうゆめい 校長名 高山 深紀世

じっしにちじ 1. 実施日時 : 2025 年 (令和 7 年) 7 月 4 日 (金曜日)

じっしじかんたい 実施時間帯 (午前) ・ 午後 9 時 40 分 ~ 11 時 10 分

きょうか たんげんめい 教科・単元名 (特別活動 ・ 中国の遊び、ベトナムの護身術)

たいしやうじどうせいと 2. 対象児童生徒 学年 (1 2 (3) 4 5 6 年) 約 52 名

その他 ()

くるま はんにゅうぐち
3. 車の搬入口

かつどう たんげんもくひょう
4. 活動のねらい (単元目標)

外国の文化などの体験活動を通して、楽しみながら異文化を理解し尊重する態度を育む。

かつどう なが てんかい
5. 活動の流れ (展開)

① (9:40 ~ 9:50) 場所: 体育館

あいさつ、活動の確認、講師の紹介

② (9:50 ~ 10:20) コーナーに分かれてのワークショップ (前半)

たんとう 講師のお名前	ない 内容 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	かつどうばしょ 活動場所 音楽室など	しどうせいとにんすう 児童・生徒人数 前半・後半
	中国の遊び	体育館	25 名・27 名
	ベトナムの護身術 「ボビナム」	体育館	27 名・25 名

③ (10:20 ~ 10:30) 休憩

④ (10:30 ~ 11:00) グループを入れ替えてワークショップ (後半)

⑤ (11:00 ~ 11:10) 感想を発表する。

みんなでお礼を言う。

取次ぎの紙
さん

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください (手書きでもかまいません)

実施日の 3 週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の 3 週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先: 教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

6 活動の流れ

・事前の活動

- ①中国について簡単に触れる。中国の遊び(ジェンズ、サヴァウ)を行うことを伝える。
- ②ベトナムについて触れる。ベトナムの護身術「ボビナム」を行うことを伝える。

・当日の活動

時間	活動の流れ(展開)	教師の支援と留意点
9:00	来校される。(対応 稲餅)	
9:40	1. あいさつ 2. 活動の確認、講師の紹介 ・  ・ 	・ 希望者が号令をかける。
9:50	3. 2グループに分かれて活動する。 ①グループ(1・3・5組) ②グループ(2・4・6組) ①グループ 中国の遊び ②グループ ベトナムの護身術「ボビナム」	・ 体育館の前面と後面で活動する。 ・ 全員が1回は体験できるようにする。
10:20	10分休憩	
10:30	①②グループ交替する。	・ 体育館を使用していた面を交換する。
11:00	4. 感想 5. あいさつ	・ 数人に感想を発表してもらう。 ・ 希望者が号令をかける。 ・ 全体の様子を見て、最後集まるかグループごとであいさつをするか判断する。

・事後の活動

振り返りを行う。文化祭での発表も視野に入れて活動する。

多文化共生ふれあい事業計画書

電話 044 299 2861 /FAX 299 2874 学校名〔 田島支援学校 桜校 〕

担当教諭名〔 大塚 稜也 〕 校長名〔 高山 深紀世 〕

1. 実施日時 : 2025 年（令和 7 年） 10 月 30 日（ 木曜日）

実施時間帯 : 午前 10 時 05 分 ~ 11 時 45 分

教科・単元名〔 道徳 ・ 外国の文化の体験をしよう！！ 〕

2. 対象児童生徒

中学部 1～3 年 約 66 名

3. 車の搬入口

・ 正門

4. 活動のねらい（単元目標）

- ・ 外国の音楽や衣裳体験などの様々な活動を通じて、異文化を体験する。
- ・ 日本との文化の違いを知る。

5. 活動の流れ（展開）

※別紙参照

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の 3 週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。実施日の 3 週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

R7年度 中学部 多文化共生ふれあい事業計画書

道徳担当

1. 日 時

10月30日(木) 10:05～11:45

2. ねらい

- ・外国の音楽や衣裳体験などの様々な活動を通じて、異文化を体験する。
- ・日本との文化の違いを知る。

2. 参加生徒

中学部 A 課程 13名 (全員車椅子)

B 課程 53名

3. 場 所

体育館

プレイルーム

調理室(講師控室)

4. 講 師

ふれあい館職員 3～4名

5. 時 程

時 間		場所	対応
9:40	講師の先生来校・道具搬入	体育館・調理室	管理職・大塚
9:45～10:00	打ち合わせ	調理室	大塚
10:05～10:50	レク・楽器 (A課程&1年)	体育館	
10:50～11:00	休憩・移動	体育館	各学年教員
11:00～11:40	レク・楽器 (2年&3年)	体育館	
11:45～12:00	道具撤収	体育館	各学年教員
12:00～12:20	打ち合わせ	調理室	管理職・岩本 事務

6. 必要準備物

- ①マイク・ピンマイクの確認
- ②講師飲み物
- ③レンタル楽器 (27個)

7. その他

- ・事前学習 10月29日(水)
- ・楽器搬入 10月28日(火) 16:30～17:00
- ・今年度は教員による楽器の演奏なし

展開例

6 活動の流れ（展開例）

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:05	○第1部 1年&A 課程グループ （全体：丸山 t A 課程：大塚） 1. 本時の流れの確認・講師紹介 ・あいさつ ・講師の方の自己紹介	・講師の先生は舞台裏で待機 ・講師の先生が入場の際は「アニョハセヨ」の挨拶でお出迎え。
10:10	2. レクリエーション 投壺（トゥホ） 楽器体験・鑑賞（体育館） ・楽器の体験をさせていただく。 ・講師の先生、教員による演奏の発表 お礼の言葉	・生徒の実態に応じ、興味を持てるような提示方法や説明をする。 ・生徒に応じて、支援をする。 ・楽器体験、鑑賞（体育館） 各楽器をそれぞれ体験する。 鑑賞は講師の先生、教員による演奏。
10:50	第1部終了 3. 休憩、移動	
11:00	第2部 2年&3年グループ（岩本 t） 1部と同じ活動をする。	
11:45	第2部終了	

[illegible]

[illegible]

10時30分～12時10分	総合「かん国・ちようせんとなかよし」	小3		63	音楽ホール、音楽室、PCルーム、3年1組教室	自分たちの住むさくらの町が、韓国・朝鮮などの外国の文化を大切にしていることを知り、自分たちも地域の一員として外国の文化に触れ、大切にしていくとする態度を育てる。	三年時の紙芝居を行い、音遊び、衣装、楽器、言葉の4つのグループに分かれて、2つのことを体験した。また、講師の先生の方で困ったことなどについてのお話を聞いた。その後、体験を通しての感想や質問等をした。	1 川崎市ふれあい館	6						子どもたちはとても意欲をもって活動に取り組んでいた。また、まだ少し慣れていないことや地域柄、よくふれあい館に行き遊んでいて楽しそうに活動していた。また、活動を通して日本との違いや共通点を感じる児童もいた。
10時30分～12時15分	総合的な学習の時間・世界の国からこんにちは	小3		140	アリーナ、特別活動室、視聴覚室、教室、多目的室	世界の国に興味をもち、日本とは何が違う文化や伝統に気づく。	三年とうげの紙芝居を見る、伝承遊び体験、楽器体験、衣装体験、言葉体験、すごろく体験	1 川崎市ふれあい館	5						韓国の文化を子ども達が実際に体験しながら学習することで、日と韓の違いや共通点について理解することができました。講師の方からの指導のおかげです。
9時45分から12時00分	総合学習 身近な国はどんな国	小3		52	教室 多目的体育館	韓国・挑戦の文化に触れるよう	韓国の遊び・韓国の文字・韓国の衣装体験を行った。	3 多文化交流KfV							子どもたちは、韓国・朝鮮の文化に触れることができ、生き生きとした表情で参加していました。講師の方からは、計画段階から親身に話を聞いてくださり、大変感謝しています。
10時40分～12時15分	総合「外国の文化にふれよう」	小3		130	2、3棟多目的室	海外の様々な遊びにふれて、興味をもち、自ら進んで異文化に関わろうとする素地を培う。	モンゴル、ブラジル、ベトナムの三カ国の文化について話を聞き、遊びや踊りを体験する。	2 川崎市国際交流協会							内容はとてもよかったのですが、3カ国のうち二カ国を体験するため、時間が足りず消化不良になってしまったように感じました。
10時30分～12時25分	国語「三年とうげ」	小3		102	アリーナ、特別活動室、向魂ルーム	・講師の方々説明を聞き、ふれあいを楽しむ。 ・韓国文化を体験し、多文化への理解、関心を深める。	①はじめの会、全体会 ②韓国語での三年とうげ読み聞かせ ③韓国と日本の食文化の違い ④グループごとの体験 ・ことば：韓国語を知り、自分の名前を書いてみる。 ・衣装：マサムネノリなどの民族衣装を着てみる。 ・楽器：チャングンなどの民謡楽隊の演奏をしてみる。 ・遊び：コソギなどの様々なお話を通じた遊びをする。 ⑤おわりにの会 ・ふりがえり・講師の方へのお礼の言葉	4 韓国綜合教育院						日本と異なる文化に興味を持った児童が多くいました。「来年の秋には色々な国の文化を学びたい」と振り返っている子もいました。次回では、次に繋げていきたいと思います。	
10時50分～12時20分	総合「韓国のことを知ろう」	小3		59	体育館・放送スタジオ・教室（2クラス）	・韓国文化ふれあい学習の体験を通じて、韓国・朝鮮の文化に興味を持ち、課題を見つけることができる。 ・自国の文化の類似点などを考え、昔から大切にしてきたもの（文化）に気づき、自国だけでなく、他国の文化にも尊重しようという気持ちをもちることができる。	楽器・衣装・言葉・遊びの活動コーナーに分かれてワークショップ形式で行う。	1 川崎市ふれあい館	4						実際に活動を通して触れ合うことで、様々な学びにつながりました。中には、ハングルを使って手紙を書きたいという思いをもっていた児童もあり、その思いを受けて先生方も協力して書いてくれました。この経験を通して、世界に目を向けられるようになったと思います。
10時30分～12時15分	国語・三年時	小3		51	体育館・音楽室・郷土資料室・教室	外国の話を読んだその国の文化を学ぶ	三年時の紙芝居と言葉・衣装・楽器・遊びについての体験学習	1 川崎市ふれあい館	5						どの児童も楽しく参加している様子が見られました。ただ英語が苦手な児童が多いため、今後の授業でもっと積極的に発言できるようにしていきたいと考えています。
10時30分～12時15分	総合	小3		51	ブレイルーム・音楽室・体育館・教室	韓国・挑戦の言葉や文化にふれることで、色んな国と人との違いを理解しながら、互いに尊重する態度を育てる。	音楽（楽器）・民族衣装・伝承遊び・民話・言葉	1 川崎市ふれあい館	4						子どもたちは、どのコーナーも楽しみながら韓国・朝鮮のことを学んでいます。グループごとに話し合い、発表を行いました。
10時20分～12時00分	総合的な学習の時間：いろいろな人とふれあおう	小3		128	教室・多目的ルーム・図工室・体育館	日本とは異なる文化を知り、その国の人々と関わることを通じて、違いを理解し合える態度を養う。	はじめの集まり・全体のまとめ・各グループの発表・自由研究の発表・表彰式を行います。その後、講師の方々に挨拶をし、退席します。	3 多文化交流KfV							この多文化共生の活動の後、総合学習で他のことについても取り組んでいることがわかり、自主的に取り組む姿勢も見られます。タイピングなどもありますが、今後も継続して取り組みたいと思っています。貴重な機会をいただき、ありがとうございました。
10時50分～12時20分	国語・三年とうげ	小3		76	平小学校：体育館・視聴覚室・書写教室・3年3組教室	韓国・朝鮮の文化について、間接的体験したりする活動を通して、韓国に関する知識を増やす。	三年とうげの鑑賞を観たり、韓国の言葉、遊び、楽器、衣装を体験したりする。	3 多文化交流KfV							子どもたちが、直接韓国の文化と触れ合ったことで、関心が高まりました。特に、韓国の食べ物や飲み物に興味を示す子が多く見られました。
10:15-12:00	国語・三年とうげ	小3		143	体育館・教室・音楽室・第2多目的室	身近な国の文化を体験することを通して、他国の文化に対する興味・関心を高め、他者と認め合うことの大切さを感知させる。	はじめの全体会を体育館で行い、三年とうげの大型紙芝居を見た後、前半と後半のワークショップに参加した。ワークショップは楽器・衣装・遊び・言葉・ユネスコの5つ。最後は終わりの全体会を体育館で行い、講師からのお話を聞いた。	1 川崎市ふれあい館	5						三年とうげの学習を直近で行ったため、大型紙芝居から楽しんで参加しましたが、まだまだ知らないことが多いと感じています。今後とも、より多くの情報を提供できるといいですね。また、児童が主体的に取り組むような活動を企画してほしいです。
10時30分～12時20分	学活 人権について考えよう（多文化理解）	小3		43	体育館・図工室・わくわくプラザ・多目的室	・韓国、朝鮮の文化について知る。 ・韓国、朝鮮と日本の文化や生活習慣の類似点や相違点を考え、違いを理解し合おうとする。	【全体会（はじめ）】活動の始まりとして体育館に集合し、講師の方々の紹介、韓国・朝鮮の絵本『三年とうげ』の読み聞かせを行った。その後、4つのコーナーに分かれ、前半・後半それぞれ体験活動を行った。 ①食事（食べ比べ）：民族衣装の着付け体験や料理作り、リズムに合わせてダンスを習ったり、歌を一緒に唄ったり。 ②民族衣装（わくわくルーム）：民族衣装の着付け体験。また、どのような場面で見かけたらいいのか、日常生活の中での着用方法などについて話を聞き、文化背景を学んだ。 ③伝え語り（体験館）：韓国の伝説に基づいて物語を作り、それを基にしたゲームをしたり、クイズを出題したり。 ④おまけ（多目的室）：ハンガルの文房具を使った工作や、折り紙による立体的な作品制作などを行う予定であったが、雨天のため中止となった。 【全体会（まとめ）】ワークショップ終了後の12時00分からは再度体育館に戻り、学習の様子を確認した後、ふれあい館の方からメッセージをいただきました。お礼の言葉をともに活動を楽しみました。	1 川崎市ふれあい館	5					単に講話や体験をするのではなく、実生活に即した話題について話し合ってもらいたい。子ども達の意見を聴いたり、お互いの意見交換ができるような環境づくりをしたい。川崎市ふれあい館の皆様に来ていただけるのは、内容の面や雰囲気面で非常に良い刺激になります。これからもよろしくお願いいたします。	
10:45～12:15	総合的な学習の時間	小3		40	図書室、各教室	世界の国々の文化や人々に興味をもち、進んで関わり手を尊重する態度を養う	韓国・中国・フィリピンの遊びや言葉、学校生活の様子などを教わったり体験したりすることを通して、他国の文化に興味や親しみをもつ	3 多文化交流KfV							実際にお話を伺ったり体験することが児童にとって有意義であると思うので、ぜひ今後もこのような機会を提供してほしい。また、今回の活動を通して、各国の文化や歴史についてもっと詳しく知りたいという声も多く聞かれた。次回はさらに深い掘り下げができるといいね。
10：50～12：15	道徳「ともに生きる」C（17）国際理解、国際視察	小3		114	体育館・特別活動室・図工室・家庭科室	外国の文化に触れることを通じて、他国のものに親しみ、関心をもち、学ぶ気持ちを持つ。	「音楽・楽器」「民族衣装」「伝承遊び」「言葉・文字」の4つのブースに分かれて活動を行い、その後全休時に韓国の小学生の様子や生活についてのクイズ	4 韓国綜合教育院							講師の方々が経験豊富で、児童の実態に合わせて内容を考えてくれたのが印象的でした。また、楽器の移動が大変でしたが、子どもたちの満足度は高かったです。
8:40～10:05	国語、道徳	小3		120	特別活動室、体育館、1階ホール	他国の生活や文化を知る	他国の文化や生活について学んだり、遊びを楽しむ。	3 多文化交流KfV							他国の文化に入れることができ、よい機会でした。子ども達の中には、事前に調べてきたこともあったりと、事前準備ができていたところがあり、自信を持って発表することができました。また、韓国文化の魅力を伝えることができました。
	総合・世界の国				3年1組教室、3年	身近な生活や文化を手掛かりに、外国人の人々の暮らしや考え方、価値観、社会制度などに興味を持ち、グローバル化の中で生きていくための力を身につける。	①中国の衣食住 漢字クイズ 小学校の様子 ②パタゴニアの国旗の意味 言葉 食べ物 ③韓国の生活 韓流ドラマのシーン再現 韓流ミュージックの試聴	3 多文化交流KfV							児童は他国の文化に興味津々の様子で、意欲的に講師の話を聞いていました。事前準備ができていたこともあり、自信を持って発表することができました。

10時30分～12時15分	総合的な学習の時間 「世界の文化を調べよう」	3年	83	第2音楽室・第2図書室・環境学習室・3年1組教室	自分たちの住んでいる日本とは異なる国の文化に触れることで、海外への関心を高める。	韓国の童話の読み聞かせグループに分かれて、昔遊びをしたり言葉を学んだり、楽器を演奏したり、服を着たりした。	1 川崎市ふれあい館	5					GIGA端末で調べることで、知識を知ることができる。ただ、今回の授業言葉だけではなかなかの気分が持たなかった。体験がなかった。あまらず」や、姉の会の「さようなら」は子どもたちが自発的に韓国語で「今回は年明けの開催となったが、子どもの意欲の高まりを見ると、学習すると、学習活動への意欲が高まることのできるのではないかと感じた。実践を引き継ぎ、総合的な学習の時間のカリキュラムの中にきちんと位置
10:15～12:00	総合・世界の様々な国について知ろう	小3	110	ギャラリー、特別活動室、家庭科教室	世界の様々な国の文化を調べたり体験したりすることを通して、他者と認め合うことの大切さを感じる。	中国（国の紹介・小学校の様子）タイ（国の紹介・ダンス）韓国（文化・遊び）	3 多文化交流KfV						学習の導入として、行いました。子どもたちは、日本との違いや知りたい、調べたいという気持ちが育っていました。様々な内容にき、子どもたちも楽しく学習していました。ありがとうございました。
10:30～12:15	国語 スーホの白い馬	小2	135	体育館	様々なすてきな国があることを知る。	モンゴルの文化説明と3グループに分かれ、モンゴルにまつわる体験活動（ボトゴ、踊り、シャガイでけいば）。	2 川崎市国際交流協会				なし	なし	体験を通してモンゴルの文化に触れ合うことができたのが良かった。前半のスライドを使った紹介では、衣食住についての話にはよく歴史的話など、2年生には難しい話もあった。低学年に届く内容に精選してもらえると尚よい。
10時30分～12時15分	総合的な学習	小4	184	体育館、多目的ルーム	外国の文化を体験し、多様な文化に対する理解を深める	中国、パングラディッシュなどの話を聞いたり、遊びを体験したりした	2 川崎市国際交流協会					なし	子どもたちは、あらかじめGIGA端末で自分の関心のある外国についてその国の文化に触れ合ったり、お話を聞いたりして生の文化に体験ができたと思います。本校は児童数が多いので、短い時間ではなかったり、活動場所が制限されたりすることが課題です。
10:30～12:20	国語・三年とうげ	小3	120	体育館、多目的室（2つ）、教室	韓国朝鮮の文化に触れ、興味関心を高める。	三年とうげの読み聞かせを聞き、伝承遊び・楽器・民族衣装・言葉のうち2つを体験する。	4 韓国総合教育院		韓国	韓国	韓国		4つのグループに分かれ、それぞれでいろいろなところを知ることができた。言葉がなかった子は、お礼の手紙も韓国語で書くことができた。
13:30～14:30	総合的な学習の時間	小学部3～6年	9	音楽室	モンゴルと日本の違いや同じところについて知り、外国への興味を広げる	①モンゴルの生活について説明②馬頭琴について③モンゴルのダンスに挑戦	2 川崎市国際交流協会				なし	なし	調べ学習と当日の活動を通して児童がモンゴルの暮らしについて知ることができた。写真など視覚的情報の提示で、重複児童もイメージすることができた。
10時半～12時15分	総合的な学習の時間・宿小万博2026	小3	135	体育館、3年教室	国際理解を深め、自分で選んだ国についての文化に親しむ。	音楽、衣装、言葉文化、遊び	3 多文化交流KfV						外国の文化を知る良い機会となった。これから自分の調べたい国についていくための良い動機づけになった。
10時45分～12時	総合的な学習の時間	小3	213	視聴覚室・特別活動室・多目的ホール	さまざまな国の文化に興味をもち、その違いやよさを感じ、友好の心を育む	韓国・フィリピン・タイの3つの国から2つの国の文化を学習、体験する。言語・衣食住・音楽・ダンス	3 多文化交流KfV						【感想】道徳で「マサラップ」「ふろしき」を学習したあとだったので、子どもたちも他国について学ぶことができた。どの国の講師の方も、その国らしさを紹介してくださったり、衣食住に関する内容でお話してくださり、自分たちの生活と比べながら学習することができた。【課題】大規模校での実施は、体験する内容の人数調整や場所の調整が難しいと感じました。し国が増えると調整がしやすいと思いました。
10時45分～12時15分	国語・スーホの白い馬	小2	96	多目的室、音楽室	モンゴルの物語を通じて、自国以外の文化にふれあう。	始めに、全体でモンゴルの文化を教わり、馬頭琴の演奏を聞いた。次に、2つのグループに分かれてワークショップ（踊り体験、遊び体験）を行った。	2 川崎市国際交流協会						実際に馬頭琴を見て演奏を聴いたことで、スーホやモンゴルの文化について、より深い読み取りにつながりました。また、民族衣装やスーホの物語を体験し、自国以外の文化に触れることができました。児童に話させていただき、ありがとうございました。
9時35分～10時20分	国語・スーホの白い馬	小2	44	長尾つ子ルーム	モンゴルという国の文化に触れ、伝統的な楽器である馬頭琴の存在を知る	モンゴルの国の紹介とシャガイを使ったすごろく遊び	2 川崎市国際交流協会				なし	なし	スーホの白い馬は未習であり、モンゴルについてはほとんど知らなかった。しではあるがモンゴルについての理解を深め、「スーホの白い馬」の文化を知ることができたと思う。
10:45～12:15	総合「ぼくわたしの知らない世界 ～世界の国を調べよう～」	小3	190	体育館、特別活動室、パンジー1、視聴覚室	世界の国々について、教科の学習や体験をふまえて自分なりの課題を設定することができる。・他国の文化について知り、日本の文化、生活について考えをもつことができる。	言葉（ハングル文字で自分の名前を書いてみる、あいさつ等の言葉を知る）、音楽（韓国の楽器に触れリズムに合わせて演奏する）、衣装（自分の好きな衣装を着て写真を撮る）、遊び（コンギ・テギ・トゥホ）を体験する。	3 多文化交流KfV						言葉のグループは書くことがメインだったが、もう少し会話する機会があった。衣装は鏡のある部屋で実施すると良かった。遊びの「トゥホ」のつばややり？のセットがもう少し有ると良かった。のため1つの場所にて人数となり、活動の待ち時間がもったいなかった。
10時50分～12時25分	国語・三年とうげ	小3	135	アリーナ、特別活動室、教室（3の1・3の2）	世界の文化に対する興味・関心を高め、その理解を図る。	講師の自己紹介、「三年とうげ」の読み聞かせ、コーナー（音楽、伝承遊び、民族衣装、言葉）に分かれてのワークショップ	4 韓国総合教育院						感想：はじめに行った「三年とうげ」の韓国語での読み聞かせに、子どもたちは楽しんで聞いた。ワークショップの体験も、講師の先生の話を聞きながら、興味・関心を持って、どんな活動をしたかをお互いに話す子どもたちの姿が見られた。韓国の文化に触れた。せっかく活動したので、今後、どのように活かしていくかを考えていく。ワークショップを行うための場所の確保が難しいこと、また、ワークショップでできない活動など、場所や活動内容などはその場で講師の先生の話を聞いて、子どもたちと話し合い、どうやって進めようかと話し合った。講師の先生の話を聞いて、子どもたちと話し合い、どうやって進めようかと話し合った。
11時30分～12時15分	国語 スーホの白い馬	小2	34	多目的室	物語の背景を理解する	モンゴルの先生に質問をしたり、現地の遊びを体験する活動を行う。	2 川崎市国際交流協会		モンゴル	なし	なし		子どもたちの学びが深まりました。単元に入る前に体験しても良かった。
10時30分～12時15分	学級活動・多文化共生	小3	70	体育館・教室・PCルーム	外国の文化を知る	大型紙芝居・言葉・楽器・衣装	1 川崎市ふれあい館	4					子ども達は楽しく韓国・朝鮮のことを学ぶことができた。
13時20分～14時40分	総合的な学習の時間 国際教育	中1	300	体育館	異文化に触れ、多様な考え方や感じ方があることを理解し、お互いを尊重し合える気持ちを育てる。自らの考えや意見を自ら発信し、具体的に行動することのできる態度・能力を身に付ける機会にする。	（事前学習）世界の国を知るための調べ学習・イスラムについて、イスラムのイスラムについての講演会、ヒジャブ体験、共に生きていく上で大切にしたいことを考えながら、イスラムへのお礼の手紙（まとめ）	3 多文化交流KfV				なし	なし	スライドを活用しながら生徒にわかりやすく説明していただきました。長時間の授業、そして閉め切った空間で、話を聞く姿が見られ、子どもたちは集中して聞いていました。途中、ヒジャブ体験がありましたが、それを見た男子生徒も興味を持ち、GIGA端末で調べていました。そのような姿勢から、他国の文化に興味を持ったことが、互いの文化を尊重できる関係づくり」ということについて学びを深める機会になった。ひとりが違う人間であることに変わりはありません。から救われた「文化の

[illegible]

2025 年（令和 7 年）

多文化共生ふれあい事業 説 明 資 料

教育委員会事務局 教育政策室

人権・多文化共生教育

2025 (令和7) 年度「多文化共生ふれあい事業」説明会

日 時 2025 (令和7) 年 5 月 13 日 (火) 15:00~

(受付開始 14:30)

会 場 川崎市教育会館 大会議室

- 1 開会あいさつ 教育政策室人権・多文化共生教育担当課長 北所 邦美

実施団体のコーディネーター・多文化交流KFV [redacted] さん

・川崎市ふれあい館 [redacted] さん

・川崎市国際交流協会 [redacted] さん

・神奈川韓国総合教育院 [redacted] さん

- 2 多文化共生ふれあい事業の事務手続き説明

- 3 団体と各実施校の打ち合わせ

- 4 その他

「令和7年度 学校の中でできる多文化ふれあい交流会」の開催について

(予定日時) 令和8年1月30日(金) 14時30分~ 教育会館・オンライン

(正式に日時等が決まりましたら1月上旬に各学校に通知を送付します)

【事務担当】教育委員会事務局 教育政策室 人権・多文化共生教育担当

TEL 200-3758

多文化共生ふれあい事業 実施要綱

(目的)

- 1 この要綱は、「川崎市外国人教育基本方針」に則り、川崎市の学校において民族文化の紹介や指導を行う外国人市民等（以下、「講師」という。）を招請して多文化共生をめざす学習活動を実施する際に、教育委員会が行う支援の内容を定めるものとする。

(事業の定義)

- 2 この要綱でいう多文化共生をめざす学習活動とは、日本人児童生徒と外国人児童生徒の双方に、文化の相互尊重と多文化共生社会を築く意識や態度を育むことをねらいとする教科学習、特別活動、部活動等をいう。ただし、外国語（とりわけ英語）の援助のためのものではなく、また単に民族的な芸術・文化の鑑賞会に止まるものであってはならない。

(支援の内容)

- 3 多文化共生ふれあい事業において、教育委員会は以下の支援を行う。
 - (1) 講師謝礼等の負担
講師として学校での教育活動に参加した場合、講師への謝礼として一人一回5,000円、コーディネーターへの謝礼として派遣校1校につき、3,000円を教育委員会が負担する。
 - (2) 講師選定の支援
講師の選定は、教育委員会事務局教育政策室人権・多文化共生教育担当と連絡を取り合いながら、学校が主体的に選定し、招請する。教育委員会事務局教育政策室人権・多文化共生教育担当は、講師選定に関する情報の収集・提供等の他、多文化共生をめざす学習活動がより効果的に行われるよう助言等を行う。

(事業の実施)

- 4 多文化共生ふれあい事業は、学校の申請に基づいて実施する。ただし、その目的や期間、招請人数等によっては、教育委員会は支援できない場合もある。

(申請書等)

- 5 学校は、申請に際しては「多文化共生ふれあい事業計画書」を提出し、事業が終了した際には「多文化共生ふれあい事業報告書」を提出する。

(事務の所管)

- 7 多文化共生ふれあい事業に関する事務は、川崎市教育委員会事務局教育政策室人権・多文化共生教育担当が行う。

(委任)

- 8 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、学校と教育委員会事務局教育政策室人権・多文化共生教育担当がその都度協議のうえ、定めるものとする。

附則

この事業は、1997年度(平成9年度)5月1日より実施した。
この改正要綱は、1999年度(平成11年度)5月1日より施行する。
この改正要綱は、2005年度(平成17年度)5月1日より施行する。
この改正要綱は、2015年度(平成27年度)4月1日より施行する。
この改正要綱は、2020年度(令和2年度)6月26日より施行する。
この改正要綱は、2021年度(令和3年度)4月1日より施行する。

多文化共生ふれあい事業

川崎市教育委員会事務局

1 趣 旨

多文化共生ふれあい事業は、川崎市の学校に通う日本人児童生徒と外国人児童生徒の双方に、互いの文化を尊重し合い、ともに生きる豊かな社会を築いていこうとする意識と態度を育んでいくことをねらいとしています。

講師は、様々な国や地域の文化の紹介や指導を行う外国人市民等の方々に、自分の文化を児童生徒に伝えるボランティア活動として依頼するものです。地域には多くの外国人市民が暮らし、子どもたちも学校に通っています。その外国人市民や子どもたちが自分の文化に対する自尊感情をもち、また日本の子どもたちも異文化を理解し尊重する契機となることをめざして、この事業は1997年度に創設されました。

この事業は、単に民族的な芸術・文化の鑑賞を奨励したり外国語（とりわけ英語）を習得したりするためのものではなく、「川崎市外国人教育基本方針」にそって、多文化共生をめざす教育の一環として位置付くものです。

2 事業内容

多文化共生ふれあい事業は、次のような学習場面で活用することができます。また、一回に複数の講師に依頼することもできます。事業の計画にあたっては、できる限り児童・生徒の実態にあわせ、保護者の理解・協力を得ながらすすめていくことが望まれます。

- ①様々な授業の中で、担当教員が講師と協力して、その学習内容に合わせて異文化の紹介を行い、学習の定着と異文化の理解を図ります。（場面としては、国語・社会・家庭・音楽・外国語・総合的な学習の時間・特別活動等が考えられます。）
- ②教科書等の学習内容にからめて、その文化的背景を理解するために、講師が舞踊・劇・音楽などを演じます。（場面としては、全校集会、学年行事、保護者との合同研修会などが考えられます。）
- ③子どもたち自身が舞踊、音楽など外国の文化を体験したり学習発表会等で発表したりする際に、講師がその指導・援助にあたります。（場面としては、クラブ活動や放課後の活動時間などが考えられます。）

3 これまでの実施校の概要

① 実施校（延べ数）

〔平成15年度〕	小学校54校	中学校7校	高校1校	計62校
〔平成16年度〕	小学校56校	中学校10校	高校1校	計67校
〔平成17年度〕	小学校52校	中学校4校	豊学校1校 高校1校	計58校
〔平成18年度〕	小学校49校	中学校6校	豊学校1校 高校1校	計57校
〔平成19年度〕	小学校53校	中学校5校	豊学校1校 高校1校	計60校
〔平成20年度〕	小学校50校	中学校5校	豊学校1校 高校1校	計57校
〔平成21年度〕	小学校50校	中学校4校	豊学校1校	計55校
〔平成22年度〕	小学校52校	中学校2校	豊学校1校	計55校
〔平成23年度〕	小学校50校	中学校3校	豊学校1校 高校1校	計55校
〔平成24年度〕	小学校49校	中学校5校	豊学校1校 高校1校	計56校
〔平成25年度〕	小学校52校	中学校3校	豊学校1校	計56校
〔平成26年度〕	小学校52校	中学校4校	豊学校1校	計57校
〔平成27年度〕	小学校50校	中学校1校	特別支援学校2校	計53校

〔平成 28 年度〕	小学校 5 0 校	中学校 1 校	特別支援学校 2 校	計 5 3 校
〔平成 29 年度〕	小学校 4 9 校	中学校 1 校	特別支援学校 1 校	計 5 1 校
〔平成 30 年度〕	小学校 5 2 校	中学校 1 校	特別支援学校 1 校	計 5 4 校
〔令和 元年度〕	小学校 4 7 校	中学校 2 校	聾学校 1 校	計 5 0 校
〔令和 2 年度〕	小学校 6 5 校	中学校 1 校	聾学校 1 校	計 6 7 校
〔令和 3 年度〕	小学校 7 0 校	中学校 2 校	特別支援学校 2 校	計 7 4 校
〔令和 4 年度〕	小学校 8 4 校	中学校 1 校	特別支援学校 2 校	計 8 7 校
〔令和 5 年度〕	小学校 7 9 校	中学校 1 校	特別支援学校 3 校	計 8 3 校
〔令和 6 年度〕	小学校 7 6 校	中学校 2 校	特別支援学校 3 校	計 8 1 校

②おもな文化圏

- 〔平成 15 年度〕 韓国・朝鮮 4 4 校、中国 1 1 校、スリランカ 8 校、フィリピン 4 校、モンゴル 4 校、ロシア 4 校、コンゴ 3 校、アメリカ 2 校、インド 2 校、フランス 2 校、インドネシア 2 校、コートジボワール、ブラジル、レバノン、ベトナム、ネパール、タイ、マレーシア 等
- 〔平成 16 年度〕 韓国・朝鮮 5 5 校、中国 1 1 校、フィリピン 8 校、モンゴル 6 校、コンゴ 5 校、スリランカ 4 校、ブラジル 4 校、ウクライナ 3 校、ドイツ 3 校、アメリカ、ネパール、フランス、インドネシア、タイ、メキシコ、ケニア、パラグアイ、ブルガリア、ベルギー、ペルー等
- 〔平成 17 年度〕 韓国・朝鮮 5 0 校、中国 1 0 校、スリランカ 1 校、フィリピン 6 校、ロシア 1 校、コンゴ 3 校、アメリカ 2 校、ブラジル 2 校、パラグアイ、ドイツ、イタリア、カナダ、エジプト等
- 〔平成 18 年度〕 韓国・朝鮮 4 2 校、中国 3 校、バングラデシュ 1 校、フィリピン 3 校、アメリカ 2 校、パラグアイ 1 校、ドイツ、イタリア、カナダ、エジプト、ブラジル、スペイン、コンゴ、フランス、イギリス等
- 〔平成 19 年度〕 韓国・朝鮮 5 5 校、中国 5 校、フィリピン 5 校、ウクライナ、フランス、パラグアイ、オーストラリア、カナダ、ブラジル、コンゴ、タイ、ネパール等
- 〔平成 20 年度〕 韓国・朝鮮 5 5 校、フィリピン 6 校、中国 4 校、パラグアイ 4 校、オーストラリア 3 校、ハイチ 3 校、ウクライナ 2 校、ベトナム 2 校、タイ、フランス、ルーマニア、スペイン、ブラジル等
- 〔平成 21 年度〕 韓国・朝鮮 5 2 校、ウクライナ 3 校、フィリピン 2 校、パラグアイ 2 校、インドネシア 2 校、フランス、ルーマニア、スペイン、ブラジル等
- 〔平成 22 年度〕 韓国・朝鮮 5 1 校、インドネシア 6 校、ウクライナ 4 校、パラグアイ 3 校、中国 2 校、スペイン 2 校、ブラジル 2 校、ハイチ、フィリピン等
- 〔平成 23 年度〕 韓国・朝鮮 5 4 校、ウクライナ 5 校、フィリピン 3 校、ハイチ 2 校、フランス、ブラジル、スペイン、パラグアイ、パキスタン、ドイツ、ベトナム等
- 〔平成 24 年度〕 韓国・朝鮮 5 2 校、パラグアイ 6 校、ウクライナ 5 校、フィリピン 4 校、ハイチ 3 校、ベトナム 3 校、フランス 2 校、カナダ 2 校、中国、ブラジル、ネパール等
- 〔平成 25 年度〕 韓国・朝鮮 5 2 校、ウクライナ 6 校、フィリピン 4 校、中国 4 校、パラグアイ 3 校、ハイチ 2 校、ベトナム、スペイン、ロシア、モンゴル、インドネシア等
- 〔平成 26 年度〕 韓国・朝鮮 4 8 校、フィリピン 8 校、中国 7 校、パラグアイ 4 校、スペイン 3 校、タイ 3 校、モンゴル、ハイチ等

- 〔平成 27 年度〕 韓国・朝鮮 51 校、中国 6 校、フィリピン 4 校、台湾 3 校、
スペイン、ベトナム、ブラジル等
- 〔平成 28 年度〕 韓国・朝鮮 50 校、フィリピン 7 校、中国 3 校、ベトナム、ウクライナ、モンゴル
- 〔平成 29 年度〕 韓国・朝鮮 49 校、中国 2 校、タイ 2 校、パラグアイ 2 校、フィリピン 1 校等
- 〔平成 30 年度〕 韓国・朝鮮 51 校、中国 1 校、ロシア 1 校、フィリピン 1 校等
- 〔令和 元年度〕 韓国・朝鮮 47 校、中国 1 校、ベトナム、タイ、中国、フィリピン 1 校等
- 〔令和 2 年度〕 韓国・朝鮮 60 校、中国 3 校、フィリピン 3 校、
ブラジル 2 校、モンゴル、タイ、ベトナム 1 校
- 〔令和 3 年度〕 韓国・朝鮮 68 校、中国 8 校、フィリピン 11 校、
モンゴル 3 校、ブラジル 2 校、ベトナム 2 校、タイ・インドネシア 1 校、
- 〔令和 4 年度〕 韓国・朝鮮 77 校、中国 12 校、フィリピン 4 校、タイ 9 校
モンゴル 3 校、ブラジル 2 校、ベトナム 1 校、バングラディシュ 2 校
インドネシア・パラグアイ 1 校 等
- 〔令和 5 年度〕 韓国・朝鮮 78 校、中国 10 校、フィリピン 8 校、タイ 11 校、
モンゴル 1 校、ブラジル 1 校、ベトナム 2 校、バングラディシュ 4 校
ボリビア、グアテマラ、マレーシア、アフガニスタン、ミャンマー、シエラレオネ、
メキシコ、パラグアイ、スリランカ 1 校 等
- 〔令和 6 年度〕 韓国・朝鮮 72 校、中国 11 校、タイ 10 校、フィリピン 10 校、ベトナム 4 校、
バングラディシュ 4 校、モンゴル 4 校、ブラジル 3 校、ラオス 3 校、
パラグアイ 2 校、パキスタン、ジャマイカ、ケニア、フランス、ロシア等

4 事務担当

多文化共生ふれあい事業については、教育委員会事務局 教育政策室 人権・多文化共生教育担当者が事務にあたります。

事務担当は、講師謝礼の支出等の事務手続きをとるほか、学習計画や講師の紹介について相談に応じていきます。また、情報収集につとめ、各学校や地域の生涯学習機関・団体等と連絡をとりあい、相互の連携を図りながら事業の充実をはかっていきます。

I : 事務処理の手順

1. 実施前に行うこと

(1) 「多文化共生ふれあい事業計画書」の作成

- ①担当教諭は、打ち合わせ日までに、当日の具体的な授業展開を考えてください。
- ②講師1回の派遣時間は、原則として、2時間以内でお願いいたします。
- ③「計画書」の「5 活動の流れ（展開例）」について
 - ・講師との打ち合わせの上、児童生徒の活動内容と講師の「役割」がわかるように記入してください。なお、活動時間も忘れずに記入してください。
 - ・「別紙」として当日の授業活動案を添付していただいても構いません。なお、展開例として、「5 活動の流れ（展開例）」を例示しました。ここでは、グループ分けを「音楽」、「民族衣装」「伝承遊び」「ことば」として例示していますが、分類構成や実施内容、指導にあたる実施時間については、講師と事前に十分にご相談下さい。
- ④計画書などでは、外国人の講師の方にもわかりやすいように、ふりがなのルビをつけたり、やさしい言葉を使ったりして連絡や打ち合わせを行うようにしてください。学校の地図や行き方、駅名等にも、ひらがなのルビやローマ字をつけるなどの配慮をお願いいたします。
- ⑤実施学年にあわせた事前学習や事後学習も工夫して行い、活動が目的にならないようにしましょう。
- ⑥児童生徒からの質問がある場合は、できる限り事前に提出をお願いいたします。

(2) 書類の提出

提出書類① 「多文化共生ふれあい事業計画書」

◎事前打ち合わせ日に仮のもの（手書きでも可）を持ち寄る

◎打ち合わせ後、実施3週間前までに提出

■教育委員会 人権・多文化共生教育担当へ

→ 原本を集配で送付（管理職の先生に確認してもらってから）

■実施団体へ

→ 原本のコピーを FAX または郵送で送付

提出書類② 「韓国、朝鮮楽器等借用書」

（「多文化交流 KfV」「神奈川韓国総合教育院」「川崎市国際交流協会」で韓国・朝鮮文化を学ぶ場合のみ）

◎打ち合わせ後、実施3週間前までに「多文化共生ふれあい事業計画書」と一緒に提出

■教育委員会 人権・多文化共生教育担当へ

→ 原本を集配で送付（管理職の先生に確認してもらってから）

2. 実施後に行うこと

(1) 書類の提出

提出書類③GoogleForms で回答 「多文化共生ふれあい事業報告書」

◎実施 1 週間後までに回答

■classroom「多文化共生ふれあい事業 R6」の授業タブから「多文化共生ふれあい事業報告書」に回答し、管理職の先生に確認してもらってから送信

提出書類④ 「韓国・朝鮮楽器等借用報告書」

◎実施 1 週間後までに提出

■■教育委員会 人権・多文化共生教育担当へ

→ 原本を集配で送付（管理職の先生に確認してもらってから）

児童生徒の感想（コピー）、写真等がある場合は、教育委員会にお送りください。

(2) 講師謝礼の支払い

①提出書類③④を確認後、教育委員会事務局から実施団体へ講師謝礼をお支払いいたします。報告書の提出が遅れますと、支払に支障をきたしますので、期限をお守りください。

②講師謝礼金を負担できる人数は、3名以内の指定された人数です。

③夢教育21、学校予算等で行う場合は、事務の方や管理職の方に相談し、お支払いください。

3. 協力していただく団体コーディネーターの連絡先

(1) 多文化交流K F V

TEL

E メール :

(担当) さん

(2) 川崎市ふれあい館

TEL 044-276-4800

〒210-0833 川崎市川崎区桜本 1-5-6

FAX 044-287-2045

(担当) さん

(3) 川崎市国際交流協会

TEL 044-435-7000

〒211-0033 川崎市中原区木月祇園町 2-2

FAX 044-435-7010

E メール : kiankawasaki@kian.or.jp

(担当) さん

(4) 神奈川韓国総合教育院

TEL 045-353-5070

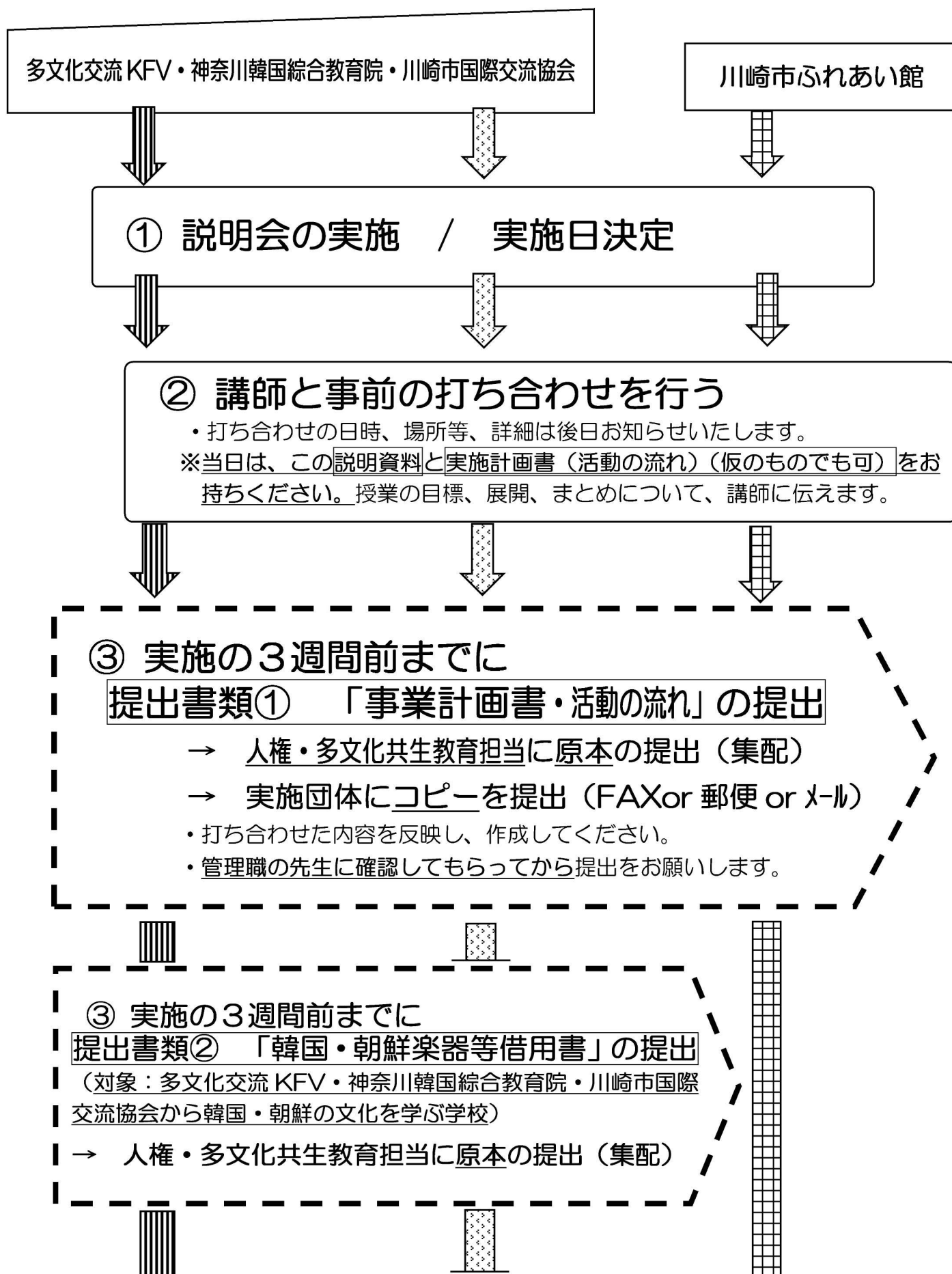
〒235-0016 横浜市磯子区磯子 3-10-28

FAX 045-752-6784

E メール :

(担当) さん

4 実施の流れ



多文化交流 KfV・神奈川県韓国総合教育院・川崎市国際交流協会から韓国・朝鮮の文化を学ぶ学校は、実施前日までに、韓国・朝鮮の楽器や衣装を総合教育センターから借ります。・詳しくは **10～16ページ**をご覧ください。

④ 実施

※川崎市ふれあい館から韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合は、実施日当日に楽器や衣装の搬入搬出があります。これについて学校全体で共有し、門の開閉、楽器の運搬等、実施学年以外の教職員の方もお手伝いをお願いいたします。

多文化交流 KfV・神奈川県韓国総合教育院・川崎市国際交流協会から韓国・朝鮮の文化を学ぶ学校は、実施後に、韓国・朝鮮の楽器や衣装を総合教育センターへ返します。・詳しくは **12～18ページ**をご覧ください。

⑤ 実施 1 週間後までに

提出書類③GoogleForms

「多文化共生ふれあい事業報告書」回答

- ・授業での児童生徒の様子や先生の感想、お気付きの点などご記入ください。
- ・管理職の先生に確認してもらってから提出をお願いします。

⑤ 実施 1 週間後までに

提出書類④「韓国・朝鮮楽器等借用報告書」の提出

（対象：多文化交流 KfV・神奈川県韓国総合教育院・川崎市国際交流協会から韓国・朝鮮の文化を学んだ学校）

→ 人権・多文化共生教育に原本の提出（集配）

- ・管理職の先生に確認してもらってから提出をお願いします。

教育委員会の予算で実施する場合

⑥ 人権・多文化共生教育担当から実施団体に、講師謝礼を支払います

夢教育 2 1 等の予算で実施する場合

⑥ 学校から実施団体に、講師謝礼を支払います
管理職の先生や事務職員の方と支払い方法の確認をしておきましょう。

II. 韓国・朝鮮楽器等の貸出について

1 貸出の対象・目的

川崎市立学校が、国際理解や多文化共生の意識を培うことを目的として、韓国・朝鮮等の文化にふれる体験学習等を実施する場合に貸し出します。主に、「多文化交流 KFV」「神奈川韓国総合教育院」「川崎市国際交流協会」の講師を通して学ぶ場合に使用します。

韓国・朝鮮楽器等は、川崎市総合教育センターに保管されています。

第1研修室横の通路の奥にあります。



←電気のスイッチ

通路を進んで、右奥にあります



このように二つの棚に収納されています



←棚上部にあるものは持ち出さないでください。

2 貸出用具

(1) 楽 器

チャンゴ 1 3 台、ソゴ（小太鼓） 3 台、プク（中太鼓） 2 台、
チン（金属製打楽器） 1 台、ケンガリ（金属製打楽器） 1 台



【チャンゴ】

リズムを担当し、楽曲の速度を調節する重要な役割を担当する楽器

音は空からしとしと降る雨を、形は人を表す打楽器。

※ケースに入っています。

※活動では、主にチャンゴを使用します。

写真のように準備をしておいてください。

クングルチェ（左）

ヨルチェ（右）を使います。

下げてください。破れる可能性があります。

【ソゴ】

列の後方で回りながらなど身軽に演奏し、音を出すよりも雰囲気盛り上げる役割を担っています。

※紙袋に入っています。



【プク】

演奏全体の、基本のリズムを叩く。

音はもくもくと湧き上がる雲を、形は月を表す太鼓。

※ケースに入っています。



【チン】

太陽の形を表す金属製のドラ。
全体の音を包み込む役割。
音は、静かな場所を吹き抜ける風を意味します。※ケースに入っています。



【ケンガリ】

全体を指揮し、音や動きなどにメリハリをつけるリード楽器。
星の形を表している小さい金属製のドラ。
音は、空に轟くような雷を意味します。
※ケース、紙袋に入っています。

(2) 楽器のバチ (チェ)



【 ヨルチェ 17 本 】



【 クングルチェ 25 本 】



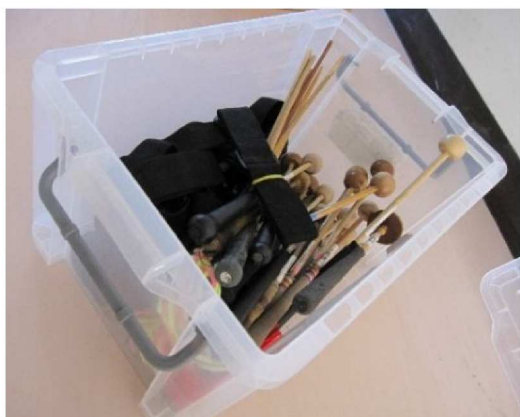
【 チェ 11 本 】



【 チンチェ 1 本 】



【 ケンガリチェ 4 本 】



【バチ（チェ）を入れるケース】

各バチ（チェ）の他に、チャンゴを身に付けるベルト（チャンゴテイ）が6ヶ入っています。

※ケースに片付けるときには、バチ（チェ）
の数を確認してください。

（2）民族衣装



【チマチョゴリ】



※プラスチックケース2つ（大・小）に入っています。



【パジチョゴリ】



※プラスチックケース1つ（大）に入っています。

(3) 遊び道具



コンギ1ケース、1袋（中に6コ入り巾着3つ）
チェギ1袋
ユンノリ8箱、6袋
ユンノリコマ1袋
ペンイコマ1袋

※プラスチックケース1つに入っています。



【コンギ】 1ケース、1袋（中に6コ入り巾着3つ）

おはじき、
お手玉に似た韓国・朝鮮の遊び道具



袋に入ったものもあります。



【チェギ】 1袋

韓国・朝鮮の蹴鞠
（黒い袋に入っています）



【ユンノリ】 8箱、6袋

すごろくに似た韓国・朝鮮の伝統的ゲーム



↑ユンノリコマ

【ペンイ 紐(ゴム)つき棒 13本 コマ 1袋 15個】

日本のたたきゴマに似たもの



【トゥホ 壺 2つ 矢 赤 20本 緑 18本】

壺に矢を投げ入れる遊び

矢の先端を保護するために、壺の底に
緩衝材を入れてありますので、捨てない
でください。



3 貸出の手順

(1) 借用書の提出

実施日の3週間前までに、「韓国・朝鮮楽器等借用書」に必要事項をご記入の上、原本を教育委員会事務局教育政策室人権・多文化共生教育担当者に集配便にてご提出ください。楽器等は、保管先の教育センターから借り受けてください。

(2) 使用期間

原則として、使用日の前日貸出、当日又は翌日返却となります。ただし、それ以外の期間の使用を希望する場合には、教育委員会事務局教育政策室人権・多文化共生教育担当まで御一報ください。可能な場合には、調整させていただきます。

(3) 返却

汚れや破損などの状態を確認して、総合教育センター1階保管場所に返却してください。

返却時は元通りの収納をお願いします。



また、ボードにあるチェック表に
チェックをお願いします。

汚れがないか、数がそろっているかなどの確認をしてから、
返却をお願いします。

ボタンや飾りなどが取れていたら、修繕をお願いします。

また、返却後1週間以内に「韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書」に必要事項をご記入の上、原本を教育委員会事務局教育政策室人権・多文化共生教育担当者に集配便にてご提出ください。

4 楽器等の運搬

(1) 運搬方法について 楽器等の運搬については、次の方法があります。

ア 公用車（トラックのみ）を使用する場合

グループウェアかわさきの施設予約》共用車予約（庁舎管理課）》トラック 1 から予約をし、使用してください。

イ 自家用自動車を使用する場合

「自家用自動車等の使用に関する取扱いについて（令和 7（2025）年 4 月教育委員会事務局職員部給与厚生課）」を御参照ください。

ウ タクシーを使用する場合

「タクシーの使用に関する取扱いについて（令和 6 年 4 月総務企画局人事部総務事務センター）」を御参照ください。

ご不明な点は、教育政策室人権・多文化共生教育担当（200-3758）までお問い合わせください。

(2) 運搬にあたってのお願い

楽器等の保管は、市の施設を利用しています。また、次に使用する学校のためにも、迷惑をかけないように、丁寧な使用と原状復帰をお願いいたします。

特に、勤務時間が終わってから、総合教育センターへの貸出・返却を行わないようお願いいたします。やむを得ず勤務時間内に返却が難しい場合には、速やかに管理職の先生を通して、直接、**総合教育センター総務室**にご連絡をお願いします。

※学校間で貸し借りをする場合も同様です。

- ・貸出用具は、川崎市教育委員会の所有物です。また、民族楽器や民族衣装等は、いずれも入手しにくいものです。楽器等を運搬、使用する際には、借用者の責任において万全のご配慮をお願いいたします。
- ・破損、汚れ等が起こった場合には、直ちに、教育委員会事務局教育政策室人権・多文化共生教育担当者までご連絡ください。
- ・原則として、学校間での又貸しは認めておりません。ただし、実施時期が近接しているため、使用日の翌日に総合教育センターに返却することができないといった理由により、許可する場合があります。その際には、学校間で楽器等の運搬日時を調整していただき、「韓国・朝鮮楽器等借用書」の特記事項に、運搬日時及び運搬を行う学校を明記してください。

Ⅲ．実施にあたってのお願い

・ 楽器の搬出・搬入の際の門の開閉、体験場所までの楽器の運搬のお手伝い、講師の方への対応など、事業の実施について学校内で教職員の共通理解を図っておきましょう。

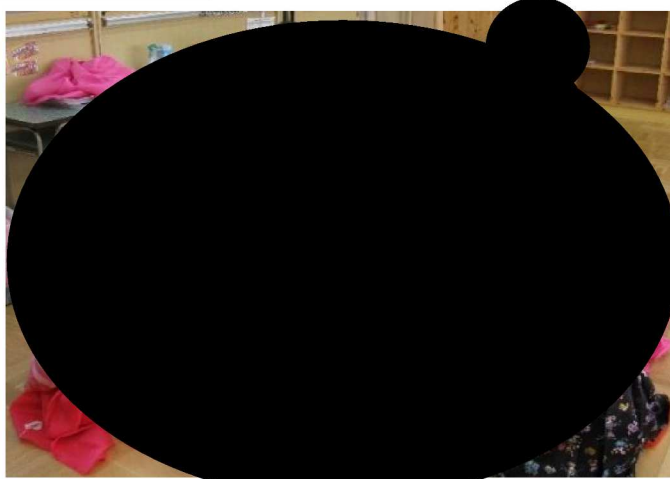
・ 事前に、机を動かしたり、掃除をしたりして体験ができる準備をしておきましょう。

講師の方がいらしてから準備を始めると、児童生徒のための体験の時間が短くなってしまいます。



・ 韓国・朝鮮の衣装は、毎年、クリーニングに出された清潔なものです。

次の学校の児童のためにも、教室の掃除をしっかりと行い、児童が衣装を脱ぎ着したり床に座ったりしても汚れないようにしましょう。大切な衣装ですので、ていねいに扱いましょう。パジをはくときはうわばきを脱ぐようご指導お願いします。



・ 衣装の体験が終わった後は、ていねいにたたんでからケースにしまうよう指導をお願いします。



提出書類①

年（令和 年） 月 日

た ぶ ん か き ょ う せ い じ ぎ ょ う け い か く し ょ
多文化共生ふれあい事業計画書

でんわ /FAX がっこうめい
電話 学校名〔 〕
たんどうきょうゆめい こうちょうめい
担当教諭名〔 〕 校長名

じっしにちじ ねん れいわ ねん がつ にち ようび
1. 実施日時 : 年（令和 年） 月 日（ 曜日）
じっしじかんたい ごぜん ご じ ふん じ ふん
実施時間帯 : 午前 ・ 午後 時 分 ～ 時 分
きょうか たんげんめい
教科・単元名〔 〕

たいしょうじどうせいと がくねん ねん やく めい
2. 対象児童生徒 学年 〔 1 2 3 4 5 6 年 〕 約 名
その他 〔 〕

くるま はんにゆうぐち
3. 車の搬入口

かつどう たんげんもくひょう
4. 活動のねらい（単元目標）

かつどう なが てんかい
5. 活動の流れ（展開）

①（ : ～ : ）全体会 場所：

例：進行（ふれあい事業実行委員）

- ・講師の方の自己紹介
- ・「三年とうげ」の読み聞かせ（TV・PCの準備）

②（ : ～ : ）コーナーに分かれてのワークショップ（前半）

たん とう 担 当 こうし おなまえ 講師のお名前	ない よう 内 容 がっき いしやう あそび ことば こうえん 楽器・衣装・遊び・言葉・講演など	かつどうばしょ 活動場所 おんがくしつ 音楽室など	じどう せいとにんすう 児童・生徒人数 ぜんはん こうはん 前半・後半
			・
			・
			・
			・
			・
			・

③（ : ～ : ）コーナーに分かれてのワークショップ（後半）

④（ : ～ : ）全体会 場所：

※仮のものを、事前打ち合わせの際にお持ちください（手書きでもかまいません）

実施日の3週間前までに、教育委員会人権・多文化共生教育担当には原本を提出してください。

実施日の3週間前までに、講師にはコピーを提出してください。

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

展開例

6 活動の流れ（展開例）

・事前の活動（具体的に、単元構想等も入れてください）

・当日の活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10:30	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ ・講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。
10:45 から 11:15	2. グループにわかれて活動する。 音楽グループ （担当： ） ・民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 ・舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 民族衣装グループ （担当： ） ・民族衣装を着させていただく。 ・どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。 伝承遊びグループ （担当： ） ・韓国の伝承あそびをやってみる。 民話・ことばグループ （担当： ） ・韓国・朝鮮語であいさつをする。簡単なことばを教わる。また、ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。 ・自分たちで調べた民話の紹介。民話を聞かせていただく。 3. 学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。	・総合学習実行委員会が司会・進行していく。 ・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 ・体育館の前半分が音楽グループ、後半分が民族衣装グループとする。 ・韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。
11:20 から 11:50	・活動場所の移動（移動時間は5分） ・後半グループで2～3を行う。	・ハンゲル文字の拡大コピーなど、用意できる範囲で準備する。
12:00	4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・各グループでふりかえりをする。 ・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。 ・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

・事後の活動（振り返りや共有、まとめの学習等を具体的に）

提出書類②

SAINS-WEB や classroom にデータがあります。

年 月 日 ()

韓国・朝鮮楽器等借用書

校種・学校番号

川崎市教育委員会事務局教育政策室
人権・多文化共生教育担当課長 様

学校名

校長名

担当者名

借 用 期 間	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()
借用希望日時	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()
返却希望日時	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()
借 用 物 品 (品名・数量)	●楽器 ☐ チャンゴ _____ 台 ☐ ソゴ _____ 台 ☐ プク _____ 台 ☐ チン _____ 台 ☐ ケンガリ _____ 台 ●遊び道具 ☐ コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1 ケース ☐ トゥホ _____ 台 ●衣装 ☐ 男子衣装 1 ケース ☐ 女子衣装 2 ケース ※ パチ (チェ)・矢等の数を事前にご確認ください。
使 用 目 的	
そ の 他 特 記 事 項 (他校との調整等)	

※多文化交流 KfV・国際交流協会・韓国総合教育院を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 TEL 200-3758

韓国・朝鮮楽器等借用結果報告書

川崎市教育委員会事務局教育政策室

人権・多文化共生教育担当課長 様

校種・学校番号

学校名

校長名

担当者名

借 用 期 間	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()
返 却 日	年 月 日 ()
借 用 物 品 (品名・数量)	●楽器 ☐ チャンゴ _____ 台 ☐ ソゴ _____ 台 ☐ プク _____ 台 ☐ チン _____ 台 ☐ ケンガリ _____ 台 ●遊び道具 ☐ コンギ、チェギ、ユンノリ、ペンイ 1 ケース ☐ トゥホ _____ 台 ●衣装 ☐ 男子衣装 1 ケース ☐ 女子衣装 2 ケース ※ バチ (チェ)・矢等の数を事後にご確認ください。
使 用 物 品 の 状 況	☐ 異常なし ☐ 異常あり…☐破損 ☐汚れ ☐紛失 ☐その他 () それは…☐最初からあった ☐今回生じた 対処は…☐修繕した (クリーニングした) ☐その他 ()
そ の 他 特 記 事 項 (他校との調整等)	

※多文化交流 KfV・川崎市国際交流協会を通じて、韓国・朝鮮の文化を学ぶ場合に必要

提出先：教育委員会教育政策室 人権・多文化共生教育担当 Tel 200-3758

2025 (令和7) 年度「多文化共生ふれあい事業」説明会

にち じ 2025 (令和7) 年 5 月 13 日 (火) 15:00~

(受付開始 14:30)

かい じょう かわさきしきょういくかいかん だいかいぎしつ
会 場 川崎市教育会館 大会議室

- 1 開会あいさつ 教育政策室人権・多文化共生教育担当課長 北所 邦美

じっしだんたい しょうかい たぶんかこうりゅう
実施団体の紹介・多文化交流KFV [redacted] さん

かわさきし かん
・川崎市ふれあい館 [redacted] さん

かわさきしこくさいこうりゅうきょうかい
・川崎市国際交流協会 [redacted] さん

かながわかんこくそうごうきょういくいん
・神奈川韓国総合教育院 [redacted] さん

- 2 多文化共生ふれあい事業の事務手続き説明

- 3 団体と各実施校の打ち合わせ

- 4 その他

れいわ ねんど がっこう なか たぶんか こうりゅうかい かいさい
「令和7年度 学校の中でできる多文化ふれあい交流会」の開催について

よていにちじ れいわ ねん がつ にち きん じ ぶん きょういくかいかん おんらいん
(予定日時) 令和8年1月30日(金) 14時30分~ 教育会館・オンライン

せいしき にちじとう き がつじょうじゅん かくがっこう つうち そうふ
(正式に日時等が決まりましたら1月上旬に各学校に通知を送付します)

じ む たん とう きょういくいいんかいじむきょくきょういくせいさくしつ じんけん たぶんかきょうせいきょういくたんとう
【事務担当】教育委員会事務局 教育政策室 人権・多文化共生教育担当

でんわ TEL 200-3758

令和7年度 学校の中でできる多文化ふれあい交流会

2026 (令和8)年1月30日 (金) 14:30~16:30

13:50~発表者接続チェック

Web会議システム Zoom 及び川崎市教育会館

ZOOM ID 824 1783 7628
パスコード 470962

〇 開会 (ZOOM への入室、受付は14:10~開始)

1 あいさつ

教育委員会事務局 教育政策室

14:30~14:40

人権・多文化共生教育担当課長 北所 邦美

2 学校からの実践報告と講師からのコメント

(1) 坂戸 小学校 本田 小百合 先生

『事前の動機づけと丁寧な準備による目的と相手を大切にしたい実践』

講師：川崎市ふれあい館 [] さん

(2) 新小倉 小学校 齋藤 照哉 先生

『身近な外国のものから世界へと興味を広げていく実践』

講師：多文化交流KFV [] さん

(3) 向丘 小学校 竹澤 夏純 先生

『違いを楽しむ気持ちを育み、もっと知りたい学びたい意欲につなげた実践』

講師：神奈川韓国総合教育院 [] さん

(4) 大戸 小学校 花村 奈三恵 先生

『テーマを絞って文化を学び、総合的な学習の時間と関連付けた実践』

講師：川崎市国際交流協会 [] さん

3 これからの「多文化共生教育」を考える

16:05~16:20

(1) グループに分かれての情報交換 (今年度実施してみたこと、発表を聞いて次年度以降取り組んでみたいこと、勤務校での多文化共生の取り組み事例紹介、今後の課題など)

(2) まとめ

教育委員会事務局 教育政策室

16:20~16:30

人権・多文化共生教育担当指導主事 根田 もゆる

〇 閉会

〇 振り返りアンケート入力各自 (1週間以内をお願いします)

令和7年度 多文化共生ふれあい事業実践報告

向丘小学校

- 1 実施日時 令和7年12月2日（火）
- 2 教科等 国語 「三年とうげ」
- 3 対象児童 第3学年102名
- 4 活動場所 1階アリーナ、2階向魂ルーム（多目的室）、3階特別活動室、4階3年1組教室
- 5 活動のねらい
 - ・講師の方々の説明を聞き、ふれあいを楽しむ。
 - ・韓国や朝鮮文化を体験し、多文化への理解・関心を深める。

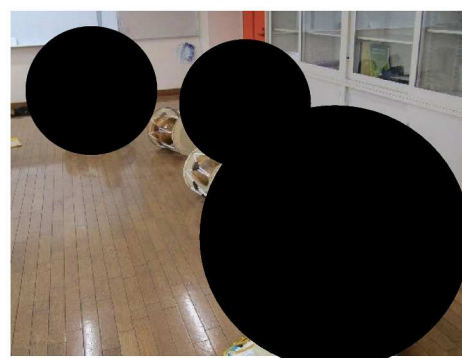
6 活動の流れ

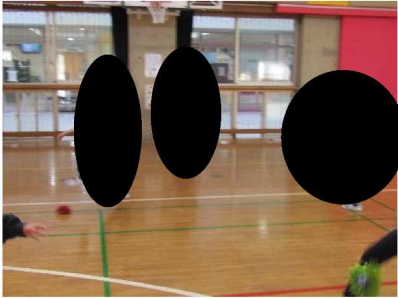
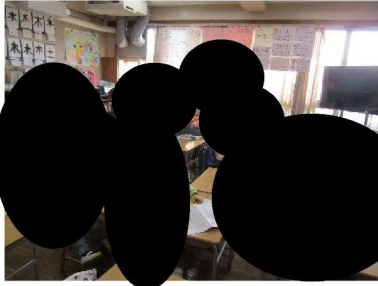
【事前の活動】

○国語の学習で「三年とうげ」を読み、その舞台背景となっている韓国への興味をもつ。

【本時の学習活動】

時間	活動の流れ（展開）、教師の支援等
10：30	1，向魂ルームで全体会をする。 ○講師の先生方の紹介 ○実行委員によるあいさつ ○講師の方による講話 ・韓国の食文化を写真とともに紹介 ・事前の打ち合わせで、話題にしてほしいことを伝える。 ○三年とうげ読み聞かせ（劇） ・韓国語で読み聞かせをしてもらい、韓国語の雰囲気や物語の世界観を改めて共有する。
〈前半〉	
11：05	2，グループに分かれて活動をする。
～	
11：35	楽器グループ（特別活動室） ○チャンゴ、ソゴ、プク、チン、ケンガリの演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。
〈移動〉	
11：35	民族衣装グループ（向魂ルーム） ○民族衣装の説明を聞き、実際に着てみる。
～	
11：40	
〈後半〉	
11：40	
～	
12：10	



12 ; 10	伝承遊びグループ (アリーナ) ○遊びごとに分かれて、韓国に伝わる様々な伝承遊びをやってみる。 ことばグループ (3年1組教室) ○あいさつなどの簡単な言葉を知る。 ○ハングル文字を教わり自分の名前などを書いてみる。 3, 向魂ルームで全体会を行う。 ○学年全体でふりかえりを行う。 ○実行委員によるお礼の言葉とお別れのあいさつ。		
---------	---	---	---

【その後の学習活動】

- 体験を通した文化背景の理解をもとに三年とうげの学習をすすめる。
- 他の国についても知りたい、という児童の意見から、国語「この本、読もう」で、世界の民話や昔話を読み他の国の文化にも関心を深める。
- 総合的な学習の時間でも、「多様性」を一つのテーマとして取り扱っている。異文化を知ることを自分の学習へ繋げた児童もいた。

7 児童の感想

初めて韓国の楽器を触って、日本の楽器と似ているところもあって、楽しかった。

ハングルで名前を書けた。文字の形が不思議だった。

違う国の文化を知れてよかった。来年の総合の学習で、他の国の文化について調べてみたい。

食事とか遊びとか、日本と似ていることもあれば、違うものもあってびっくりした。

8 おわりに

国語科「三年とうげ」の学習を通して、物語の背景にある文化に興味を持ち、今回の学習を迎えた。

全体での食文化や挨拶についての講話に始まり、グループごとの活動では楽器の演奏、民族衣装の試着、伝承遊び、そして言葉と、体全体を使った体験を通して児童の多文化への理解と関心が大きく深まった。教科書で学んだ物語の中の世界が、講師の方々との交流を通して生きた文化として児童の心に残ったと思われる。

3年生は、総合的な学習の時間で蚕を育てた経験から、命の大切さや多様性について学習を続けている。学んできたことに加えて、この体験をきっかけに、韓国の文化だけでなく世界の多様な文化に興味を向け、「もっと知りたい」という探求心をさらに育んでいきたい。異なる文化をもつ人々が共に生きる大切さを、多様な学習活動や日常生活と関連付けながら、深めていきたい。

令和7年度 多文化共生ふれあい事業実践報告

川崎市立坂戸小学校

1. 実施日時 2025年11月13日（金） 10時25分～12時10分
2. 教科 総合的な学習の時間 単元名「世界の国からこんにちは」
3. 対象児童 3年生 145名（4クラス）
4. 活動場所 体育館・視聴覚室・多目的室・音楽室・3年2組の教室
5. 活動のねらい 総合的な学習「せかいの国からこんにちは」の導入として韓国の文化に触れ楽しく活動することで、他国の文化に関心を持ち、その魅力や多様性を感じることができる。

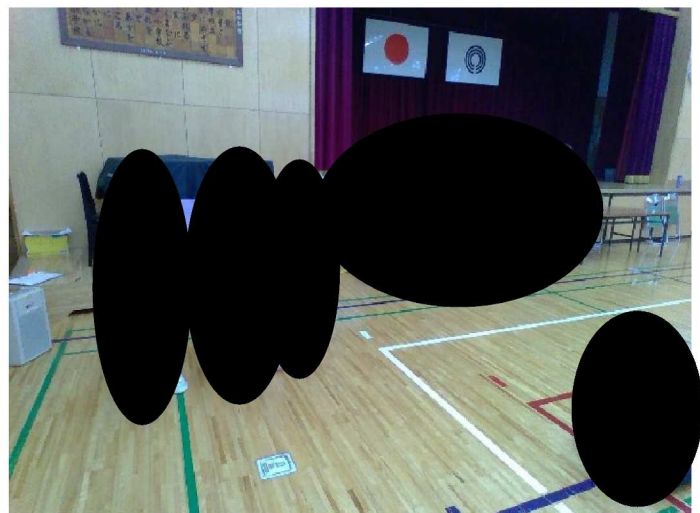
6. 本時までの活動

実施にあたり、事前にふれあい館に行き、講師の[REDACTED]さんと、[REDACTED]さんと打ち合わせを行った。活動の目的や児童の実態を伝え、多文化の児童も自国の文化に誇りをもち、また楽しめる活動になるようにと話し合った。今回は日本の隣の国である韓国にしばらく文化について学べるよう、はじめの会の際、体育館で民話「赤手ぬぐいのおくさんと七人の仲間」を聞き、前半・後半でグループに分かれて2つの体験学習を行うように計画した。また、その後の活動にもつなげていけるように学習計画を伝えた。3年生全児童が聞く民話の活動では、担任が事前に「3年とうげ」「フンブとノルブ」「赤手ぬぐいのおくさんと7人のなかま」のお話を読ませて頂き、児童の実態や活動の目的に合ったものを選んだ。児童が体験する「伝統音楽」「民族衣装」「伝承遊び」「ユンノリ」「言葉」について、何をどういった形で体験すると、韓国の文化により親しむことができ、興味をもつことができるかを考え、アドバイスをいただきながら話し合い、計画を立てた。

児童には、まず活動の目的と活動内容を伝えた。日本の隣の国でありながら、韓国について実はあまり知らないことがあることを実感できるよう投げかけた。その後、児童の興味・関心もとにして、5つのグループに分けた。前半・後半それぞれ違う活動とし、5つ中2つ体験できるように整えた。

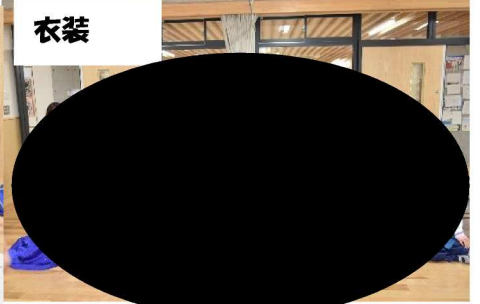
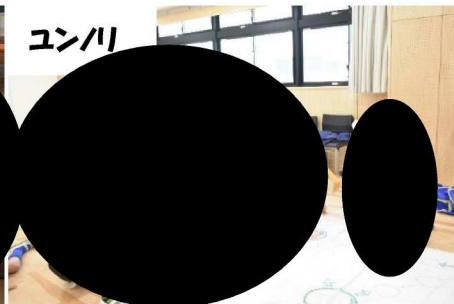
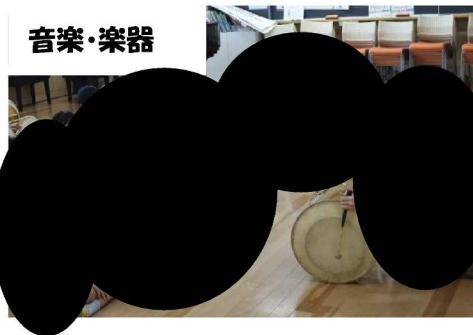
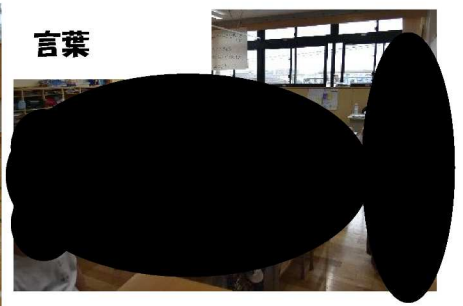
ゲストティーチャーによる学習が実りのあるものとなるように事業計画を見直し、実施チェックリストを確認しながら準備にあたった。当日の教職員の配置と流れの確認、グループの担当教職員への名簿配布、各活動場所にタイムスケジュールの掲示を事前に行うとともに、児童の右胸には各々の体験グループを書いたテープを貼ることで、スムーズに前半・後半の移動を行うことができた。

また、各クラスから実行委員を立て2週間前から、何度も練習をした。インフルエンザが流行り、実行委員の中でも欠席者が出たが混乱なく行えた。



7. 活動の流れ

9:55	- 実施団体の方々のご来校・準備。 - 校長室に来訪していただく。 (前日にガムテープの上に前半・後半の活動名を書いたものを右肩に貼らせた体育着を着ていく。)	車両門を開け駐車場、エレベーターまでの誘導、楽器を運ぶ手伝い (教職員1)(教職員2)
10:15	児童が廊下に並び移動し、10:20までに体育館にクラスごとに並ぶ。	各担任、トイレ済ませて場所移動する。
10:25	- 今日の時間、活動を確認する。 - あいさつ - 講師の方の紹介 - 民話・・・(赤手ぬぐいのおくさんと七人の仲間)	- 最初の出会いを大切にしたいという気持ちを伝えておく。 - 実行委員会が司会・進行していく。
10:50	各場所に移動する。(5分間)	
前半 10:55 ～ 11:20	- グループにわかれて活動する。 音楽グループ(担当:教員) - 民族楽器の演奏の仕方を教えてもらい、一緒に演奏する。 - 舞踊の方法を教えてもらい、リズムに合わせて体を動かしてみる。 民族衣装グループ(担当:教員・他1人) - 民族衣装を着させていただく。 - どんな時にこの衣装を着るのか、日常生活の様子や年中行事などの話を聞く。	- 各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 - 一人2グループ体験できるように行う。 - 韓国・朝鮮の音楽や衣装、言葉がきっかけになりほかの国についても調べてみたいという気持ちをもたせたい。
11:20	後半の場所へ移動開始	
後半 11:25 ～ 11:50	- 伝承遊びグループ1・体育館(担当:教員) - 伝承遊びの仕方を教えてもらう。 - 韓国の伝承あそびをやってみる。 - 伝承遊びグループ2・視聴覚室(担当:教員) - 伝承遊び(ユンノリ)の仕方を教えてもらう。 - 韓国の伝承あそびをやってみる。 - 言葉グループ(担当:教員) - 韓国・朝鮮語であいさつをする。 - 簡単なことばや会話を教わり、話をする。 - ハングル文字を教わり、自分の名前をかいてみる。	- 机を下げ、掃き掃除をしておく。 - 児童は事前に体操着に着替えておく。 - GIGA端末でテレビに姿を映して、自身で見られるようにする。
11:50	体育館へ移動する。	写真や動画を撮るなどし、記録を残しておく。
11:55	- 講師の先生の話 - 講師の先生の思いや願いについて話を聞く。 - 学年全体で今日の発表について質問・感想を出し合う。 - お礼の言葉とお別れのあいさつをする。	ハングル文字の拡大コピー、学習用の用紙など、用意できる範囲で準備する。
12:10		- 実行委員会の司会で、終わりの会をする。 - 活動がきっかけになり、他の国についても調べてみたいという思いをもてるように言葉がけなどの支援をする。 - 本時で学んだことを次時につなげるために、振り返りカードに書く。



(体験活動中の児童の様子)

8. 活動を終えて

韓国の民話「赤手ぬぐいの奥さんと7人のなかま」は、“みんな違ってみんないい。一人一人が大切である。”というお話だった。音楽に合わせて登場人物の人形が出てきたり、話の途中で前に出たい児童を参加させてくれたりと楽しく聞くことができた。日本の昔話と似ているところもあると感じた児童もいて、韓国の文化に関心をもつきっかけとなった。

5つのグループに分かれての体験学習では、どのグループも楽しんで活動する姿が見られた。

音楽グループでは、韓国の打楽器を中心に韓国の基本的なリズムを習得し、様々な楽器で演奏した。児童は韓国の楽器がそれぞれ自然界のものを表していることを知り、驚いていた。日本の楽器と韓国の楽器の違いやそれぞれのよさを感じている児童もいた。

衣装グループでは、衣装の名前や着方を教えてもらい児童はわくわくした様子で着替えていた。伝統的な衣装や座り方などを知ることで、さらに児童の興味・関心が広がっていった。

伝承遊びグループでは、チェギチャギを蹴ったり、こまやコンギの遊び方を教えてもらい、遊びに夢中になっていく児童の姿が見られた。「ルールや遊び方が簡単なので、とても楽しかった」「チェギチャギを作る材料がそろったら、自分でもつくってみたい」という感想も聞かれた。

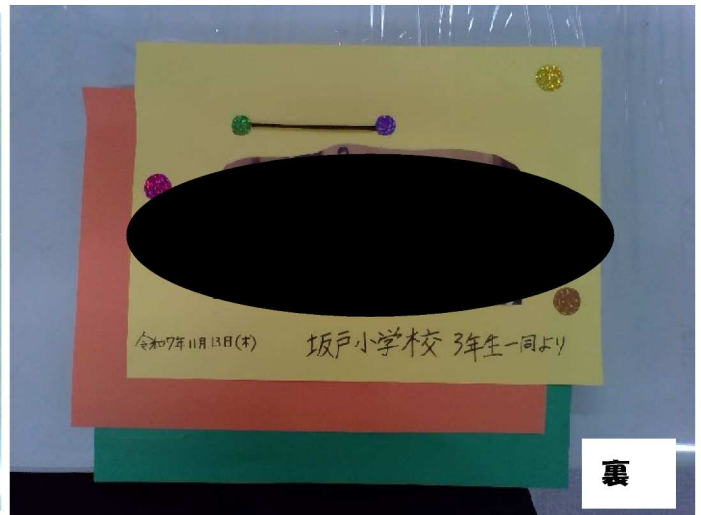
言葉グループでは、簡単な挨拶や自己紹介を言ったり書いたりした。ハングル文字表をもとに、自分の名前をハングル文字で書く体験では、書きあがった名前を授業後に嬉しそうに担任に見せにくる児童がたくさんいた。また、「もらったハングル文字表を使ってはやく覚えて、みんなに教えたい」と感想を伝えている児童もいて、次時への学習にもつながる姿が多く見られた。終わりの会の挨拶を韓国語で伝えることができ、児童は満足そうだった。

ユンノリグループでは、手作りの大きなユンノリを使って、韓国版すごろくを2チームで対戦して遊んだ。ルールが少しずつ加えられることで面白さが増し、意欲的な児童がたくさんいた。3回戦もやりたがる児童がたくさんいた。

また、体験させてくださったことに関しての感謝のお手紙をまとめて、ふれあい館の方に送付した。



表紙



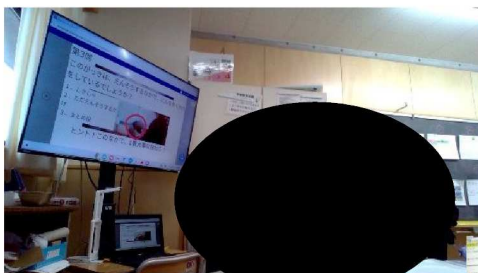
裏

9. その後の学習

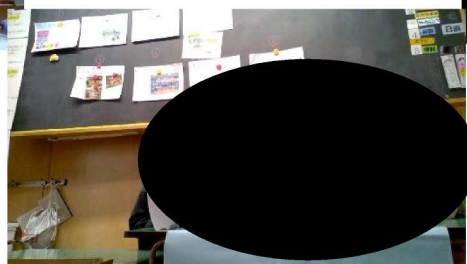
各クラスで「音楽」「衣装」「遊び」「言葉」「ユンノリ」というグループで体験したことを振り返りクラスの友達と伝え合った。グループで、インターネットや本等を使ってさらに深めた。劇やクイズ、ペープサートを使いながら発表に取り組んだ。発表をすることで、韓国の文化についてより広く知ることができたのではないかと感じる。

その後、「アジア」に視野を広げ、それぞれが調べたい国と調べたいことを決めた。その後、グループ化し、GIGA 端末のミライシードを使って、何を伝えたいかを確認し合い、スライドにまとめ発表した。

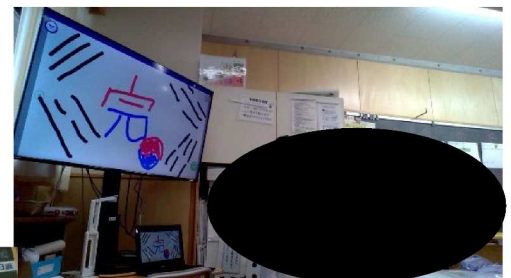
児童は、日本と近くのアジアの国にも、それぞれ日本と似ているところや違うところがあることに気づくことができた。その後「世界」へと目を向け、さらに興味をもった国と日本を比べながら自分のテーマについて調べる活動へ広がっている。同じテーマのグループで発表の仕方を考え、学習のまとめとして保護者に向けた発表会をする予定である。



スライド



小さい劇場



ギガ・クイズ

令和7年度多文化共生ふれあい事業実施報告

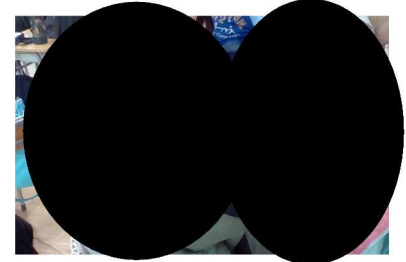
川崎市立新小倉小学校

- 1 実施日時 令和7年11月13日（木）
- 2 教科等 総合的な学習の時間「世界の国とこんにちは」
- 3 対象児童 第3学年 82名（3クラス）
- 4 活動場所 みらいホール、2F 多目的教室、3F 多目的教室
- 5 学習のねらい

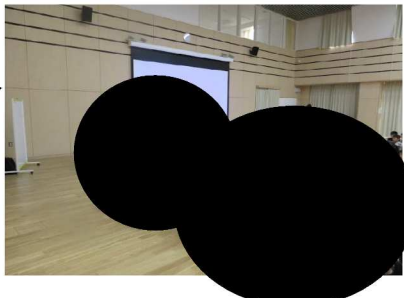
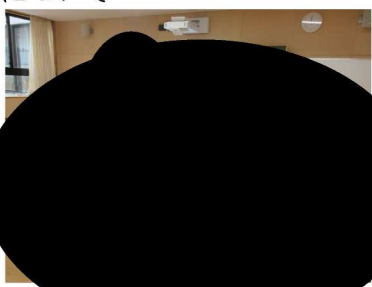
身近な地域や世界に目を向け、様々な文化や価値観をもつ人々が共に生きていることを知り、違いを尊重しながら暮らしていこうとする意欲をもつ。

6 本時までの学習

社会科の学習で、スーパーに並べられている食材は世界のさまざまなところから運ばれて来ていることを知った。その学習を振り返り、「自分の身の回りの物はどこからきているのか」を調べる活動を行った。衣服や文房具を調べると、ほとんどが外国製であり、私たちの生活は知らず知らずの内に世界とつながり、支えられていることに気づいた。この気づきをもとに、「外国のことについてもっと知ろう」という課題を設定した。まずは日本の近くのを調べようと、ゲストティーチャーを招き、話を聞いたのが本時の活動となる。



7 本時の学習活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
11:05	1. 今日の時間、活動を確認する。 - あいさつ - 講師の方の紹介 	（事前）講師の方の控室の準備 教員による司会・進行。
11:15 ～ 11:40	【前半の活動】 2. グループにわかれて活動する。 <中国グループ> - 中国の衣・食・住について - 漢字のクイズ  <ベトナムグループ> - 国の紹介 - バンブーダンス	各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。 【準備物】 ☐GIGA 端末 ☐マグネット ☐ホワイトボード ☐TV ☐GIGA 端末 ☐TV

	(トラバー5セット)	
	<韓国グループ> ・文化の紹介 3. 学習のふりかえりをする。 ・ふりかえりカードに記入する。	□GIGA 端末 □TV ・各グループでふりかえりをする。
11:45 ～ 12:10	【後半の活動】 ・活動場所の移動（移動時間は5分） ・後半グループで2～3を行う。	・参加グループ名簿を前後半に分けて用意する。
12:15 ～ 12:35	4. 学年全体で今日の発表について感想を出し合う。 ・お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・教員による司会で、終わりの会をする。

<児童のふりかえりより>

- A さん「今回の学習で日本以外の国のことを知りました。（中略）韓国の話を聞けなかったので韓国のことを調べたいです。」
- B さん「外国には日本と似ているところもあれば違うところもありました。だからといっておかしいわけではなく、その国のことだと受け入れることが大切だと思いました。」
- C さん「日本の近くにあっても日本と文化が違うことにびっくりしました。」
- D さん「日本とは違う外国の文化を知ることができてうれしかったし、自分からもっと外国について調べたいと思いました。」

8 その後の学習活動

多文化共生ふれあい事業で、ゲストティーチャーの方から外国の文化について聞いたことで、外国や外国と日本とのつながりに、さらに興味をもった様子だった。そこで、他に外国とのつながりはないかと、給食について調べることにした。調べてみると、給食には、外国の献立がたくさんあることに気づいた。また昔と今の給食を調べたところ、和食中心から、洋食が取り入れられるようになったり、箸からスプーンが使われるようになったりしていることに気づいた。給食にも、たくさんの国とのつながりがあることがわかったので、次は、日本とつながりのある国の中から一つを選び、その国の文化や日本とのつながりについて調べることにした。調べたことは国語「わたしの町のよいところ（書く）」の学習に関連させ、まとめていく。

9 おわりに

2025年10月23日(木)

★きょうのこんだて★
ごはん タッカルビ(NEW)
わかめとコーンのスープ ぎょうにゅう

こんだてのわらいしんこんだての
「タッカルビ」について

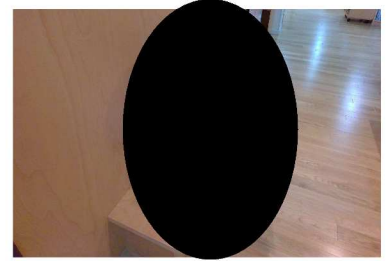
☆きょうしよくクイズ☆
きょうしよくいんかい が かんがえました！

タッカルビは、どのくのに
りょうりでしょうか。
①ちゅうごく
②かんこく
③にほん

外国にゆらいがあるきょう食のこんだて Part 1 (川崎市)

メニュー	国名	メニュー	国名
ハッシュドビーフ	イギリス	ムニエル	フランス
ビーフシチュー	フランス	タンドリーチキン	インド
きのこのストロガノフ	ロシア	シチュー・ポタージュ	フランス
スパゲッティ	イタリア	ボークビーゼス	アメリカ
フライドポテト	ベルギー	チリコンカン	メキシコ
グラタン	フランス	ボルシチ	ロシア・ウクライナ
シェパースパイ	イギリス	クラムチャウダー	アメリカ
ラザニア	イタリア	ミネストローネ	イタリア
ハンバーグ	ドイツ	スコッチブロス	イギリス

本校の学校教育目標の一つに「視野を広げ多様性を認め合う」という項目がある。この目標の達成に向けて、多文化共生についての学習は、重要な役割を果たすと考え。本校は外国につながりのある児童も多く在籍する。外国の文化や日本との違いに触れ、共に手を取り合って進む力を育んでいきたい。



令和7年度 多文化共生ふれあい事業実践報告

川崎市立大戸小学校

1. 実施日時 令和7年10月17日（金）
2. 教科等 総合的な学習の時間「みんなに届け！これが大戸の菊だ！！」
3. 対象児童 第5学年 126名 （4クラス）
4. 活動場所 ホール 5年生各教室
5. 学習のねらい

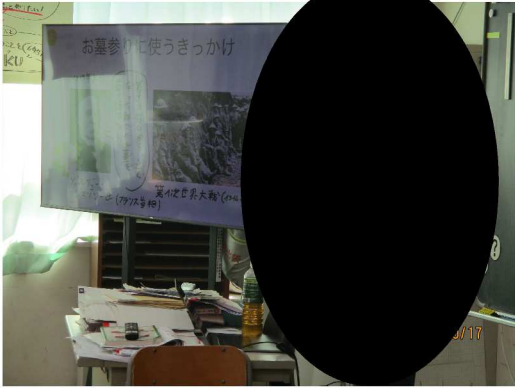
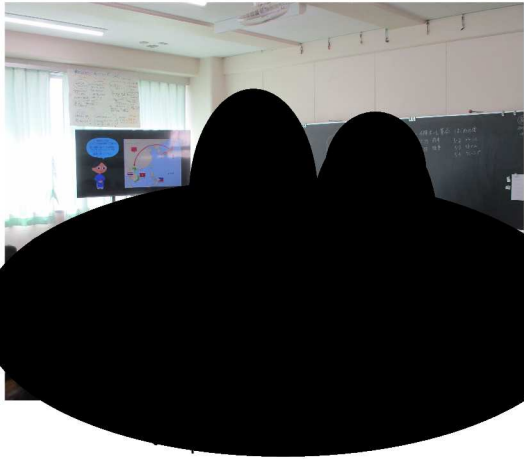
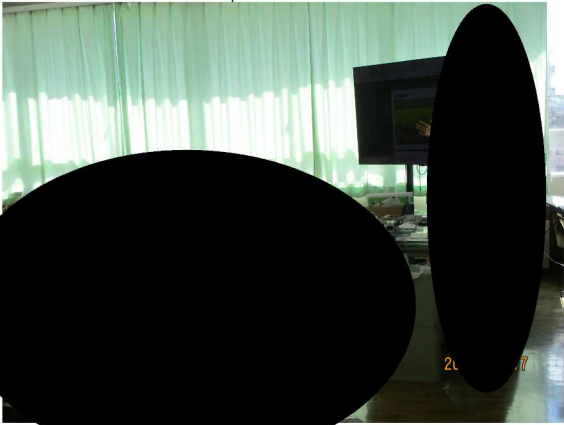
総合的な学習の時間で「大戸の菊の魅力」について、地域の方に菊の育て方を教えていただきながら、魅力について探究している。その中で、日本の中で菊は特別な意味をもっていることがわかった。そこから、日本以外のいろいろな国ではどのように菊と関わっているのか、日本（大戸）の菊と比べながら、大戸の菊の魅力をさらに探究する。

6. 単元での位置づけ

探究活動（時数）	学習活動
探究活動1 「大戸の菊の魅力って何だろう？」 7時間	・昨年度の5年生が開いた菊フェスについて振り返る。 ・6年生に菊の魅力についてインタビューをする。 ・インタビューで聞いたことを、整理する。 ・菊花会の人に、菊への思いについて話を聞く。 ・菊花会の人から聞いた話を整理する。 ・自分たちで、実際に菊の栽培をする。（苗植え） ・菊栽培の活動の見通しをもつ。

探究活動 2 「菊花展に関わっている人達は、どんな思いをもっているのだろうか？」 3 7 時間	・七五三で大戸神社に行った人の人数を調べ、七五三で大戸神社に地域の人に来てくれるには、どうしたらいいか考える。 ・映像づくりのプロに映像づくりで大事にすること、映像の魅力、映像づくりにかける思いについて話を聞く。 ・映像の作り方を教えてもらおう。(ワークショップ) ・シナリオを作って、交流する。 ・取材をする。 【多文化ふれあい事業】 日本以外の国の菊についての話を聞くことで、菊の魅力を新たに発見したり、日本の中においての菊の魅力を再認識したりする。 ・撮影・編集をする。 ・編集の仕方わからないところをゲストティーチャーに聞く。 ・出来上がった映像を保育園や幼稚園、就学時検診の際に映像を流してもらえないか交渉する。 ・出来上がった映像をみてもらう。 ・見てもらった人に感想をもらう。 ・動画づくりについてまとめる。
探究活動 3 「大戸の菊へのみんなの思いを、もっとたくさんの人に広めよう！」 2 6 時間	・菊の花を地域の人に広めるほかの方法を考える。 ・地域のどこに置かせてもらうか考える。 ・菊を置く場所の許可をとり、菊を地域に置きに行く。(10か所) ・大戸小菊花展を開くための準備をする。 ・大戸の菊をもっとたくさんの人に知ってもらうことができないか考える。 ・KWN コンテストに参加するために、映像の作り方をゲストティーチャーに話を聞く。 ・昨年度の菊の取り組みの様子を6年生に話を聞く。 ・どんな想いをこめた動画にするのか話し合う。 ・想いを伝えるために動画に何を入れたいのかアイデアを出す。 ・動画に入れる内容を整理・分析する。 ・動画に必要な情報を集める。(取材) ・大戸の菊の魅力が伝わるシナリオを考える。 ・撮影、取材をする。 ・編集をする。 ・完成したものの上映会をする。(菊フェス) ・見てもらった人に感想、評価してもらう。 ・学習のまとめをする。

7. 本時の学習活動

時間	活動の流れ（展開）	教師の支援と留意点
10：50	1. 今日の時間、活動を確認する。 ・あいさつ講師の方の紹介	・最初の出会いを大切にしたい。 ・総合実行委員会が司会・進行していく。
11：00 ～ 11：25	2. グループにわかれて活動する。 ・自分たちが作った菊花展（大戸神社で行われている菊の展覧会）についての菊の動画を見てもらう（8分程度） ・動画の感想をいただきながら、講師の方の国では、菊とどんな関わりがあるのかのお話を聞く。	・各グループに教師がつき活動がスムーズに進むようにアドバイスする。
	 フランスグループ	
	 マレーシアグループ	
11：30 ～ 11：55	・活動場所の移動（移動時間は5分） ・後半グループで2～3を行う。 3. お礼の言葉とお別れのあいさつ。	・実行委員会の司会で、終わりの会をする。

8. 児童の学習のふり返し

・菊は、日本の中で天皇家の紋章として使われたり、パスポートのマークになっていたりと、日本の花の印象が強かったけど、マレーシアでは、お風呂に入れたりお茶として飲んだりすると聞いて、生活の中で使っている国があることを知って、菊の使われ方がいろいろあることがわかりました。菊の奥深さを知れました。

・フランスでは、お墓に飾る花というイメージが強いことから、日本と同じように特別な花として使っている国があり、親近感がわいた。他の国でも大切にされている菊のことをもっと知りたくなった。

・ベトナムでは、菊をお正月に飾ることもあると聞き、日本との違いを感じました。いろいろな国で愛されている菊の花を、もっと大切にしていきたいと思いました。

9. その後の学習活動（日常生活に活かすこと等）

外国の方の話を聞くまでは、「日本の花」というイメージが強くあったが、フランス・ベトナム・マレーシアの方から話を聞き、いろいろな国で「菊」は親しまれていて、さまざまな使われ方があるということを知ることができた。その中で、「大戸の菊」の魅力を伝えるということが、地域に伝えるということに近い範囲の話から、もっとたくさんの人に知ってもらいたいという意欲へとつながった。ゲストティーチャーにきていただいた講師の先生からも、「大戸の菊をもっと見たい、知りたい」と言ってもらえたことで、改めて「大戸の菊」のよさを探求し、広めていきたいという想いを強くすることができた。たくさんの人に地域をこえて知らせるために、コンテストに出すということを目指にすることもでき、総合的な学習の時間の活動を主体的に進める児童の姿が見られた。